

2022

玄友





オリジナルウェア
ブリッツ



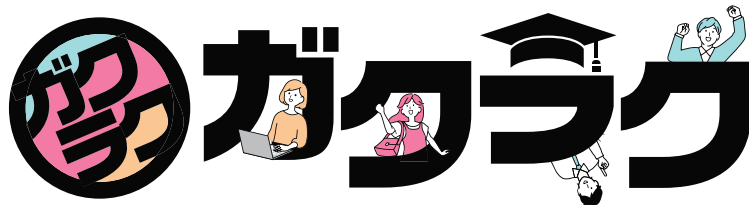
サークル合宿・旅行
オアシス



就職支援事業
就職エージェント九州

ネオ倶楽部は 学生・若者を 応援しています。

学生のためのオンラインコンテンツ近日公開
公式 LINE にて案内いたします！



株式会社ネオ倶楽部

〒810-0801

福岡市博多区中洲 5-6-24 第6 ガーデンビル 5F

TEL : 092-282-5571 FAX : 092-282-5572

Web : <https://neo-club.jp>



公式 LINE

令和4年度
(2022年度)

九州大学ラグビー部 部誌

九州大学ラグビー部



楢円球を
ときには
小さなボールに
もちかえて
緑の芝生を
歩いてみませんか!!

OB諸兄のふるってのご参加を
待っています。

玄友会ゴルフ

【コンペ開催】 年3回程度(3月、6月、11月など)

幹 事 大野 慶樹(平成4年卒)

副幹事 伊藤 大河(平成25年卒)

玄友 2022 目次

●九州大学ラグビー部部歌	7	
●クラブソング&エール	11	
●巻頭言	OB 会会長 昭和 48 年卒 俵 輝美	17
●先輩寄稿		
「九大ラグビー部先駆者たちの「東征そして西征の軍」について」		
	昭和 52 年卒 秋月 誠一	21
「部長の仕事と責任		
—— 部長としてやってきたことの紹介と九大ラグビー部への想い ——」		
	前ラグビー部部長 佐藤 浩之助	24
「2025年」		
	平成 6 年卒 川尻 伸一郎	29
「ウェブサイトのデザインを通じて見えてきたこと」		
	平成 29 年卒 緒方 胤浩	31
●名刺広告（関東・関西・その地の地区）		37
●令和 4 年度総括		
「2022 年シーズン総括」	監督 近木 俊介（平成 21 年卒）	49
「今年度のシーズンを終えて」	主将 淡路 翔太	50
●令和 4 年度年間行事		55
●令和 4 年度全戦績		60
●部員紹介		
4 年生（ひとこと）		81
3 年生		94
2 年生		96
1 年生		98
●名刺広告（九州地区）		103
●歴代部長・歴代 OB 会長		113
●OB 会		
OB 総会議事録		117
OB 会規約		121
OB 会役員名簿		128
●編集後記		129

● 會員名簿

◆ 名簿	133
◆ 五十音順一覽	144
◆ 物故者一覽	154

九州大学ラグビー部 部歌

♩ = 88

まつみどりなる は こそ きの ゆう ひは はゆる そでがうら

きしべのなみに うそぶけば ちどりなくなる すなはまの

はるのひかりは のどかにて ここにつどいし われらかな

とうせいのぐん いまなりぬ とうせいのぐん いまなりぬ

部 歌

一、松緑なる箱崎の

夕日は映ゆる袖ヶ浦

岸辺の波にうそぶけば

千鳥なくなる砂浜の

春の光はのどかにて

ここに集いし我等かな

二、夏草もゆる筑紫野の

したたる緑目に染めて

多々良が浜におりたてば

昔を偲ぶ古戦場

移る月日は変れども

ここに鍛えし我等かな

三、秋も暮れゆく宝満の

月をみ空に仰ぐ時

戦いここに幾度か

血潮に燃ゆる男の子らが

苦練の跡も清くして

東征の軍今成りぬ

東征の軍今成りぬ



吉田しんいち歯科医院

歯科・歯科口腔外科・小児歯科

歯科健康診査・歯科健康相談

【診療時間】

◆月～土

9:00～13:00

14:00～18:00

※日曜・祝日 休診

駐車場完備

県立体育館前

油木バス停前(長崎市油木町11-8)

TEL.(095)841-7040



F U K U O K A

www.tricolor-rugby.com

ラグビーショップ

トリコロール 福岡店

〒812-0026 福岡市博多区上川端町11番283号
野中ビル2F

TEL.(092)291-2020 FAX.(092)291-2010

E-mail: fukuoka@tricolor-rugby.com

<http://www.tricolor-rugby.com>



クラブソング&エール

K.U.R.F.C Club Song

Rush on, you brave fifteen

Lyric by T. Shibata

music by S. Aratani

Waltz Lento

Chords: C#M7, A7, Dm9, D-G, G7, Fine.

Rush on, you brave fif-teen, rush on, Rush on, you
call the
calm de-

Chords: C#M7, Dm9, G7, Dm9, C#M7

brave fif-teen rush on, You're not-the ones to fear con-cus-
days, you boys, re-call, When, run-ning a-bout in mud-and-
light on you will fall, When, man-y years lat-er lean-ing on the

Chords: C, (C#M7) Fisuz (fi), F, Dm9

-sion, So fight, Kyu dai, fight, and give of your most To get-the
all, You dreamed a-against the-eve-ning-sky The glo-ry
well, These brave mo-ments your-mind re-peats Of that swerve, of that

Chords: F#m, C, 1.2, 3.

ball right under the post. 2) Re-
of the win-ning try. 3) A fents!
tack-le oh-what

D.C. al Fine

Feb. 1980

Shunji Aratani

K.U.R.F.C yel

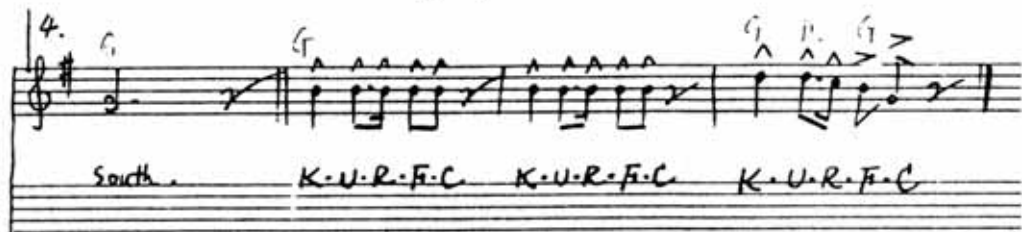
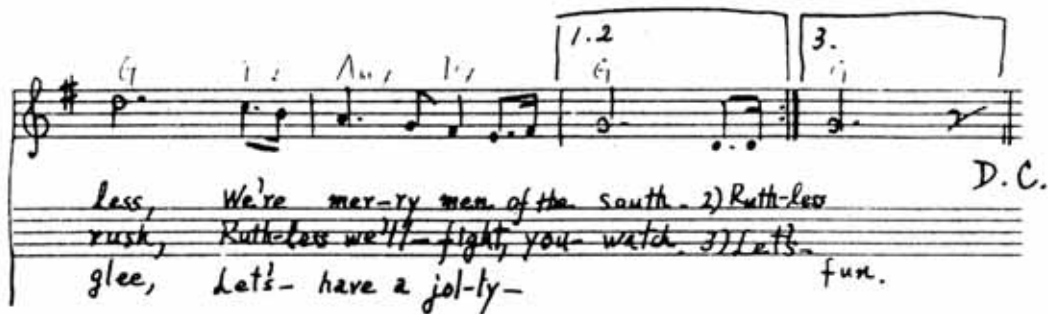
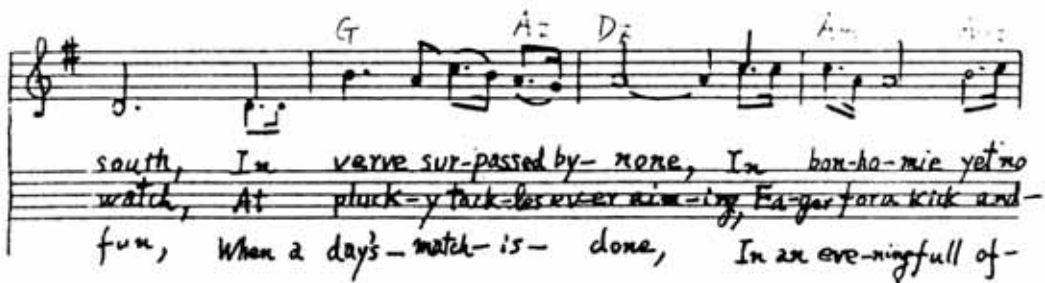
We're merry men of the south

Lyric by Toshihiko Shibata
music by Shunji Aratani

alla Marcia



alla Marcia...



Shuji Arata

Feb. 1980

K · U · R · F · C Club Song

1. Rush on, you brave fifteen, rush on,
You're not the ones to fear concussion,
So fight, Kyudai, fight, and give of your most
To get the ball right under the post.
2. Recall the days, you boys, recall,
When, running about in mud and all,
You dreamed against the evening sky
The glory of the winning try.
3. A calm delight on you will fall
When, many years later leaning on the wall,
Those brave moments your mind repeats,
Of that swerve, of that tackle, oh what feats!

K · U · R · F · C Yell

1. We're merry men of the south,
In verve surpassed by none,
In bonhomie yet no less,
We're merry men of the south.
2. Ruthless we'll fight, you watch,
At plucky tackles ever aiming,
Eager for a kick and rush,
Ruthless we'll fight, you watch.
3. Let's have a jolly fun,
When a days match is done,
In an evening full of glee,
Let's have a jolly fun.
4. 1 番の繰返し

Club Song

1. つっこめ 度胸の15人
衝突などは 何するものぞ
九大がんばれ 全力ファイトだ
ポストの下まで もっていけ
2. 思いおこせ あの練習の日々
泥にまみれて 駆けまわり
暮れなずむ空に夢見た
栄光の 決勝トライ
3. いく年のちぞ 垣根にもたれ
静かな喜びにひたり 繰返す
めくりめく その時々の思い出
あの身のかわし あのタックル われながらの早業

Yell

1. おれたちゃ南の ごきげん野郎
気合のよさじゃ ひけはとらぬ
きっぷのよさは それ以上
おれたちゃ南の ごきげん野郎
2. 見てろとことん 戦いぬくぞ
切れ味するどい タックル決めて
すきあらば キックアンドラッシュ
見てろとことん 戦いぬくぞ
3. 愉快地に1杯 やろうじゃないか
昼の試合が 果てたなら
宵パーティは 呉越同舟
愉快地に1杯 やろうじゃないか

卷頭言

OB会会長 俵 輝美

巻頭言

九州大学ラグビー部 OB 会会長

昭和 48 年卒 俵輝美

昨年度は、チーフコーチ・フィジカルコーチ・栄養管理士等の皆さんを外部から招聘しフルシーズンで指導を受け、チーム強化を図った九大ラグビー部として初めての試みの一年でした。

折しも、九州学生リーグが一部リーグチーム数を 8 校から 6 校に集約し、九大ラグビー部は二部リーグでのスタートとなる中、淡路組は「リーグ戦全勝・一部リーグへの昇格・地区対抗出場・定期戦全勝」の目標をかかげ、部員一丸となりチーム力向上を目指すとは動しました。

春から秋へとチームの地力は格段の向上を遂げ、リーグ戦全勝の目標は達成したものの、あと一步の差で残る目標は未達に終わり、現役の皆さんには悔いの残るシーズンであったろうと思います。

新チームは、昨シーズンの課題を分析し、今年度どのようなチームとしてシーズンを戦うのかを皆さん自身で議論を詰め、目標を共有し、各コーチの知見を取り入れ、その達成のための個人の練習強度・チーム力向上改善策等を決定し、徹底的に実践いただくことを期待します。

卒部する皆さんにはラグビー部の歴史を繋いで頂いたことに心より感謝するとともに、ラグビーを通じ培われた野性的知性と感性をもって幾多の人生の扉を開き、挑戦し続ける人生を送られんことを期待します。

2. 会員の皆様へ

会員の皆様には現役支援に格段のご協力を頂きありがとうございます。

コーチ招聘への寄付・現役への食糧や栄養剤の寄付等の経済的支援や試合観戦者増など当会の物的・精神的支援に現役の皆さんから熱い感謝が寄せられていることをご報告させていただきます。

但し、会費納入比率は東大・京大の 70% 台に比べますと当会は 30% 台と低位に留まっています。加えて、会費を支払って頂いた方の三分の一が規約上の「任意支払者」であり、2000 年卒以降卒会員の納入比率は低く、今後現役支援の先細りが危惧される事態であります。我々の「グラウンドでの青春の日々」が幾多の先輩の支えなしには成り立たなかったことを思い起こして頂き、皆様の会費支払の協力を重ねてお願いいたします。

3. 2023年度総会議題について

2023年度総会に於いて、通常議題に加え「100周年記念事業の概要並びに募金のお願い」と「九州大学ラグビー部OB会の名称変更」をご審議頂くよう役員会で準備を進めております。

「100周年記念事業」は「ここに集いし等かな」を標語とし、2025年の記念式典開催までに多くの方に主体的かつ積極的にご参画・協力頂き、この100年九大ラグビー部をつないで頂いた先輩諸氏を始めご助力頂いた多くの方に感謝し、次の100年への橋渡しの事業となるよう考えて参ります。

ii) 現役活動に関する総務渉外の関連業務や練習支援業務に於ける女性部員の活躍は皆様ご存じのとおりであります。現在、OB会の女性会員は約50名に上り今後もその会員数は増加してまいります。女性会員の積極的な会活動への参画を促し、OB会活動の一層の活性化を図るためにも実態に即したOB会名称に変更いたしたく考えます。

250名を超える会員の方がリレーブログに各人各様の九大ラグビー部を描写されています。多くの方がグラウンド内外での様々な悲喜や苦楽さらに愚行すらが、年月を経て人生に於ける「SOMETHING ESSENTIAL」へと醸成され、振り返ると自身を豊かにしてくれていると九大ラグビー部に在籍したことへの感謝を述べられています。

この「かけがえのないもの」を我々と共有し、次の100年へと九大ラグビー部のバトンを渡していただく現役の皆さんを支援すべくOB会活動に積極的に参画していただくことをお願いし挨拶とさせていただきます。

以上

先輩寄稿

九大ラグビー部先駆者たちの「東征そして西征の軍」について

昭和 52 年卒 秋月誠一

1. 経緯

九大ラグビー部 100 周年事業の一つである「記念誌作成」チームに参加し、最初に尾宮リーダー（S57）から私に与えられた課題は、70 周年記念誌の大正 14 (1925) 年～昭和 8 (1933) 年分を 1000 字程度に再編集するというものでした。

そこで再編集のため該当部分を読み直してみると、その期間のラグビー部の活動は、大正 14 (1925) 年に九大ラグビー部が産声を上げてから、昭和 8 (1933) 年にかけて京大・東大・京城大と交流を広げていく成長の過程であると思われました。

当たり前ですがラグビーには対戦相手が必要です。今なら協会が対戦相手を決定していますが、当時は協会もなく力量を試すに相応しい対戦相手を自分たちで開拓しなければなりませんでした。

そのためには京都・東京・京城（現ソウル）へ遠征する必要があります。今なら新幹線や飛行機で手軽に行けますが、当時の先輩方はどれくらいの時間と費用をかけて遠征していたのだろうかに興味がわいてきました。そこで京都鉄道博物館に行き資料室に保管してある大正 14 (1925) 年と昭和 5 (1930) 年の時刻表で、先輩方は急行で 3 等（当時は 3・2・1 等があった）を利用したと仮定して、その所要時間と運賃（乗車賃・急行料金・税金の合計）を調査してみました。

2. 調査でわかったこと

① 博多—京都間

九大-京大の最初の試合は大正 15 (1926) 年 4 月 25 日、九大ラグビー部が来福し九大 G で行われ、2 回目の試合は昭和 4 (1929) 年 1 月 5 日に京都で行われています。

時刻表では、当時、博多→京都の所要時間は約 16 時間 30 分（関門トンネルが無いので門司・下関間は連絡船利用）で、費用は 8.02 円（今の 1,400 倍くらいの貨幣価値らしい）でした。

② 博多—東京間

九大-東大の最初の試合は昭和5(1930)年12月28日に花園で初めて行われ、2回目は昭和6(1931)年12月30日に東京の明治神宮競技場で行われています。そのために必要な博多→東京は、約27時間30分で14.72円でした。一日以上汽車に揺られ移動していたことになります。

③ 博多-京城間

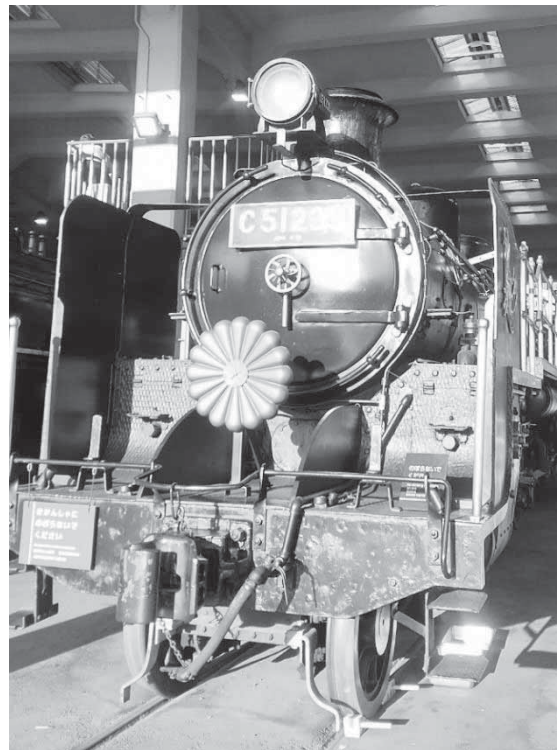
九大-京城の最初の試合は昭和7(1932)年10月9日に九大Gで行われ、2回目は昭和8(1933)年に京城で行われています。

博多→京城は今なら海外遠征ですが、当時は国内扱いで博多→門司(鉄道)、門司→下関(連絡船)、下関→釜山(船)、釜山→京城(鉄道)と乗り継ぎ、合計約23時間で10.02円でした。これも鉄道・船を乗り継ぎ一日かけて移動していたことになります。

当時はもちろん蒸気機関車で、乗り心地や車内の設備など現在に比べるまでもないと思われます。しかし他に選択肢が無いので、当時の人たちはそれを当たり前とっておられたのでしょう。

ちなみに私は2年生の時の京大戦(昭和49(1974)年)の後、お金がないのと朝一番の授業に出るため、大阪→博多の夜行急行で帰ったことがあります(当時試合後は現地解散で帰りは各自が手配していました)。夕方大阪駅を出発し4人掛けの堅い座席で11時間30分かけて早朝博多に着いたとき、体の節々がギシギシ悲鳴を上げたことを覚えています。それををはるかに上回る長旅なので、遠征の手配や試合に備えての体調管理がどんなに大変だったかと思われます。

また京都鉄道博物館には多くの蒸気機関車が展示してあります。その中に当時の東海道・山陽道を走っていたC51型機関車（写真で菊の紋はお召列車を示しています）があります。この前に立っていると、この蒸気機関車に引かれた列車に意気軒昂に乗り込む当時の先輩方の姿が想像され、感慨深いものがありました。



3. まとめ

九大ラグビー部の先駆者の先輩方は、自分たちの力量を試す対戦相手を求めて、東征そして西征（京城大の場合）の軍を成し、京都、大阪、東京そして京城へと勇躍出発し、今なら考えられない長時間の移動をものともせず試合に臨まれていたのです。

そのエネルギーになっていたのは新しく始まったラグビーへの情熱と、長時間の移動の苦労を共にすることでも強まる絆によるものではないでしょうか。

戦後再開され今も続く、東大・京大との定期戦には、100年近く前の先輩方の強い思いが込められていることを忘れてはいけないと改めて思っています。

4. 追として、記録の大切さ

冒頭述べましたように尾宮リーダーの指示に従い再編集の作業を行うにあたり、1967年からの玄友に掲載された森田秀次郎さん（S5）の「九大ラグビー憶出の記」にも目を通しました。森田さんの記憶は素晴らしく、また当時の様子が生き生きと描かれており、この記事が創世記のことを知る上で重要な資料だったのは間違いのないと思います。

改めて記録しておくことの大切さを感じた次第です。これから作成していく100周年記念誌は各世代の方達の貴重な記録と記憶を、後世に伝えて行く大事な資料になるはずです。そのためにも作業チームの一員として頑張っていきたいと思っています。

以上

部長の仕事と責任

—— 部長としてやってきたことの

紹介と九大ラグビー部への想い ——

前部長 佐藤 浩之助

部長の仕事というのは、恐らく、考え方・捉え方によっていろいろ幅があるのかと思います。狭く考えれば、大学の部活動として対外的に責任が発生する際の役割がある以外、さほど必要がないのかも知れません。しかし、幅広く積極的に考えれば、いろいろな活動があり得るのかとも思っています。

私は、1996年に九州大学に赴任し、定年退職の2009年春まで、またその後の特任教授退任の2013年まで、約17年奉職しました。そしてその間、ラグビー部部長としては2002年度途中から2010年度（2011年3月）まで、またそれ以前の顧問の時期も含めると10数年ほど、部から仰せつかり関わらせていただきました。恐らく勝手な想いなのでしょうが、個人的には役割を幅広く捉え、熱い想いで積極的に活動をさせていただいてきました。

しかし、その後東京に移り、関東でのOB会に出席させていただいても、当然のことながら私がラグビー部に関わらせていただいた事実を知る方はとても少なく、出席率の低い影の薄い(?)—OBのような存在であったような気がします。

そこで、ラグビー部100周年を迎えることでもあり、OBの方々とのコミュニケーションを多少とも図る意味で、約10数年の間に部長およびその後の立場として行ってきた事がらを、簡単にまとめさせていただきたいと考えました。あくまで、勝手な想いで活動をしてまいりましたので、出過ぎたこと・やり過ぎたこともあったのかと思いますが、もともと何事にも夢中で取り組む性向(?)もあり、また「九大ラグビー部への熱い想い」の結果だにご理解いただき、ご容赦いただければと存じます。

(1) 新キャンパスのグラウンドに向けて

1) 学内委員会

当時（2003～2005年頃?）、学内では伊都の新キャンパスの構想が議論されていました。ある時、応用力学研究所からの委員として学内委員会に出席していた際、グラウンドの使用計画に話がおよびました。その時は「アメフト、サッカー、ラグビーのグラウンド」はそれぞれ

別々に（計3面）計画されていてその事自体は大変幸いなことでしたが、問題はその大きさでした。計画では、上記の順に大から小になっていたため、即座に発言を求め、公式ルールではアメフットが1番小さいこと、サッカーとラグビーでは主なフィールドはほぼ同等だがインゴールの分だけラグビーが大きいことを明快に説明したところ、委員の皆さんが『なるほど。フーン！』と納得していただき、その場で「ラグビー、サッカー、アメフット」の順に変更していただきました。

しかしながら、その後どのような議論が交わされて「計3面」が「1面」に縮小されてしまったか定かではありませんが、責任を感じると同時に、誠に残念でなりません。

2) 学外の関係者も含めた形での意見交換会

その後、新キャンパスにおけるグラウンド計画のあり方について、学外の関係者も含めた形での意見交換会が何回か開催されました。各部の部長や関係者は、学外の関係者（OB など）も出席が可能とのことで、当時副会長(?)だった大和博明さん（昭和39年卒）に出席をお願いし、何回か粘り強く議論させていただきました。大和さんには大変積極的に発言していただき、私も全部の会議に出席して発言し、大学側の理解も大いに進んだのではないかと考えています。

しかしながら、これも最終的にはさほど良好な結果に結びつかなかったのかと思われ、責任を感じるとともに誠に残念でなりません。

(2) 当時の箱崎グラウンドの使用に関すること

1) グラウンドの砂について

ある時、現役の学生から相談の連絡が入りました。大学が、箱崎グラウンドを改修するとのことで、自分たちラグビー部への連絡もなく「砂の入れ替え」が行われて、その結果『とても目の粗い砂になってしまった。セービングやタックルをするとケガの心配がある。どうしましょうか』との話で、すぐに夕方行ってみるとその通りでした。そこで翌日学生課に連絡をし、ラグビーのプレーの要点とグラウンドの砂に必要な特性を説明しながら、工事業者に対して「砂工事のやり直し」の交渉を私が直接行うことを了承いただきました。そして私の時間節約のため、筑紫キャンパスの応用力学研究所の仕事場（高温プラズマ研究センター）に業者の方に砂のサンプルを持って出向いていただき、「やり直し工事」の交渉を進めました。

結果として、すぐに目の粗い砂を取り除いていただき、スムーズに

工事が再度行なわれ、何とか砂でケガをしないようなグラウンドとなり事なきを得ました。今でも、あの交渉の時の砂のサンプルは、小さなカプセルに収まって私のロッカーに入っております。

2) 大学の冬休み中のグラウンド使用について

その年、ラグビー部は好成績をあげ、全国地区対抗大会への出場が決まりました。大学は冬休みに入ると、各所の門を閉じます。これは理解できるのですが、困ったことが起こりました。私が部長を退任してしばらく経った12月に、当時の監督さんから電話がかかってきました。『地区対抗大会出場前の練習を箱崎グラウンドで行いたい、冬休みのため大学のグラウンド使用許可が下りない。現部長は今出張中なので、前部長の佐藤さんから、大学に交渉をしてもらえないか』とのこと。私は、もちろん即座に喜んで引き受けました。

翌日、内心は「大学の部活動のあり方に対する無理解」に怒りが爆発しそうになるのを抑えながら、大学の学生部の方と話し合いをし、結果として理解を得て「冬休みのグラウンド使用許可」をいただきました。

蛇足ではありますが、後年、新キャンパスへの移転が開始され箱崎全体の工事が始まった頃、「箱崎グラウンド」にもブルドーザーが入ってきて当時の面影が無くなってしまったのを目の当たりにした時、胸が締めつけられる想いになったことを思い出します。

(3) 「好成績を上げた部」並びに「永年の部活動への貢献の方」の学内顕彰に対する推薦申請

学内には、年に1回、その年に好成績をあげた「部」を表彰する制度があります。対象の範囲は、例えば全国大会での優勝や国立大七大会の優勝ですが、ラグビーは残念ながら七大会には参加していません。以前、全国地区対抗大会に出場できた年はもちろん提案書を作成して申請しましたが、七大会に参加していない我々ラグビー部はどうしたものかと深く考え、対東大と京大の2つの定期戦に勝利した年には、「実質上の七大会優勝（と等価）」であるとの論理を構築して作文し、大学に申請してきました。それらの年には、結果として箱崎の講堂で表彰を受けることとなりました。

また、永年の間（～10年）部活動に尽力をしていただいた学外の方々に感謝し学内顕彰する制度もあるのですが、当時、OB会会長などでラグビー部に尽力された方々についても推薦文を作成して申請し、講堂で表彰していただけてきました。

(4) 合宿への参加と試合等での激励

ラグビー部からお役目（部長・顧問）を仰せつかった時以来、関わらせていただくからには「グラウンドに顔を出す」のが基本であり本来の姿だと考えてきましたが、実際には、勤務が応用力学研究所（筑紫キャンパス）のため、箱崎の練習にはなかなか顔を出すことができず、大変心苦しく思っていました。

そこで、土日の試合や夏合宿にはできる限りグラウンドに足を運び、直接の激励や応援に力を注ぎました。特に夏合宿には、恐らく海外出張で不在の夏以外はほとんど参加させていただき（湯布院、菅平、北海道）ましたし、グラウンドではスパイクを履いて一緒に走るようにしてきました。（そのお蔭なのか、学生の人達から「アニキ！」と呼ばれていたこともあったようです。）それはともかく、これらの事がどこまで役に立ってきたのかはよく分かりません。しかしながら、少なくとも、練習や試合での「集中力」の重要性や「自信を持つこと」の大切さは、多少とも伝えられてきたのかと思っています。そして、僭越ながらその効果は、数年前までの「対東大定期戦 13 連勝」に、僅かながらですが寄与してきたのではないかと内心思っております。もちろん、13 連勝の原動力の大半は選手・部員自身の力量と努力、そして当時の大野慶樹監督の指導の賜物ですが、その当時部長として立ち会うことができた事も含め、大変嬉しく有難く感じているところです。

以上、ラグビー部に関わらせていただいた「約 10 年プラス a」の間に部長として行ってきた事がらについてまとめてみました。このように振り返ってみますと、必ずしもいい結果に至ったことは少なく、反省することのほうが多かったようにも思えますが、しかし、熱い想いで九大ラグビー部の皆さんとつき合ってきたのは確かだと考えています。

高校時代が未経験で大学からラグビーを始めましたが、比較的早くにレギュラーになり、2 年 3 年の時には慶応大・明治大・東京教育大（現筑波大）・立教大・成蹊大などへの久々の勝利に貢献し、そして私立大からもマークされるようなプレーヤーになれたのは、日々の無我夢中の練習やシーズンオフでの計画的な自主トレ、また工夫を重ねたプレーなどが基礎にあったからではないかと思っております。大学 1・2 年の頃、帰宅途中の電車では練習で疲れ果てて吊革にぶら下がるようにつかまり、前の席が空くと崩れ落ちるように座っていたことや、自主トレの 400 m インターバル、右回りの 400 m トラックランニング、合宿中の左手での食事などのことが思い出されます。また比較的后年ですが、試合前の「意図的

な集中力向上の方法」なども、自身が積み上げた貴重なノウハウかと感じています。

当時、これらのことや、自身で長年蓄積してきたラグビーに対する大切な考え方を、グラウンドや合宿でのつき合いを通じて、少しずつですが学生の人達に伝えることができたのかなと思っています。

九大ラグビー部の目指すところは、ゆくゆくは大学選手権出場かと思いますが、当面の目標は、定期戦の全勝と全国地区対抗大会への出場・優勝ではないかと思っています。是非とも、この目標実現に、これまで以上に集中力を高め、かつ自信を持って立ち向かって欲しいものです。

今後とも、「九大ラグビー部への熱い想い」で発展を祈っております。



株式
会社 **アワ・キッチンシステム**
一般建設業 福岡県知事（般-3）第65993号



代表取締役社長

栗 勤

本社 〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3-15-12

TEL:092-580-8558 FAX:092-580-8560

Email:awa@crest.ocn.ne.jp

外食店舗・企画・設計・施工
空調換気設備設計・施工

焼肉無煙ロースター設計・製作・施工
総合厨房設備設計・製作・施工

「2025年」

平成6年卒 川尻伸一郎

「2025年」は KURFC の皆様ならご承知の通り記念すべき100周年を指します。これについてはおそらくこの玄友でも多数の話題がとびかっていることと思いますが、私の場合もう一つ別の側面があるので少しお話ししたいと思います。

私は現在「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会」という団体に出向しております。この組織は何かというと来る「大阪・関西万博」の主催者団体でして官民合わせて500人ほどの出向者（2023年1月時点）で構成されております。ちなみに「大阪・関西万博」は2025年4月13日から6か月間に渡り開催されますので、実はラグビー部100周年（2025年5月）は万博の期間に開催されます。

さて、万博と言えば昭和世代の方であれば1970年の大阪万博、平成世代なら2005年の愛知万博（愛・地球博）が頭に浮かぶと思います。前回の大阪万博は1969年の東京オリンピックと相まって日本の高度経済成長を加速化させたイベントでした。ファストフード、ファミレス、缶コーヒー、動く歩道、テレビ電話、左側通行、カプセルホテル、民間警備会社、などは大阪万博から始まったのですが、今の私たちの暮らしに馴染みあるものばかりです。つまり万博は50年以上先の未来をみつめていたことになり、なかなか先見性に富んだイベントだったのだと感心します。来る2025年万博も同じく50年後、100年後を見据えたイベントとして準備しており、わくわくする未来社会を描く仕事として意気に感じながら取り組んでおります。一方、わくわくする未来には大きなお金がかかるのも事実です。私は財務部に所属しているのですが、数千億円規模の予算を相手にするのはなかなか厄介であり国家プロジェクトの難解さと格闘しながら、これまた日々取り組んでおります。ともあれ、歴史に刻まれる万博となるよう一生懸命準備しておりますのでぜひ楽しみにお待ちください。

さて、もう一つの「2025年」。九大ラグビー部100周年ですが、ただいま実行委員中心に色々準備が行われています。残り2年でありますます盛り上げてゆかねばならないですね。

しかし、100周年といってもどうしたらいいのかわからん、という方も多いと

思います。まず100年という言葉だけみると単純にすごいなあと思いますが、実は自分たちもそのうちの4年間を構成しているのだと考えてみると、自分たちも実は「すごい」の一部であることに気づきます。そうしたら「すごい」の一部として有り続けるために「すごい」をより大きくせねばならないと考えます。その為に自分はどのような関わり方ができるのか、という意識が芽生えてきたらしめたもの。プロデュースする立場か、サポートするのか、自分にできる形で携わればよいのです。

では、どのような関わり方ができるのか？前段で万博についてつらつらと述べました。万博の定義には、「“達成された進歩”と“将来の展望”を示す」と書かれてありますがこれは私たちにも親和性が高いメッセージです。達成された進歩＝伝統、将来の展望＝未来とすると、私たちは既に伝統を構成している一員でありますのであとは未来についてサポートすればよいのです。そして、未来とは現役であり、これから KURFC の仲間になりうる世代全体です。つまり私たちがなすべきは、現役の活動をサポートし、仲間を増やす、突き詰めると私たちのマンパワーで KURFC の価値を高めるという事だと思います。現役が評価され、沢山の後輩が社会で活躍する、おれもそこの一員バイ、と。こんなわくわくする未来っていいですね。ここで忘れてはならないのが、ワクワクする未来にはカネがかかる。博覧会のみならず万国共通の真理とあきらめて会費を地道にはらう、というオチでいかがでしょうか。

まずは「2025年」をおおいに祝いましょう。そして KURFC の未来のために、各自ができる事を考える機会にしてくだされば幸いです。

では、「2025年」、元気でお会いできることを楽しみにしております！

以上

ウェブサイトのデザインを通じて見えてきたこと

平成 29 年卒 緒方胤浩

現在の九大ラグビー部公式ウェブサイトを作りました、緒方です。昨年より、創部 100 周年記念とその後に向けた活動、そして現役チームの強化活動の一環として、改めてウェブサイト刷新の役割を承っております。この度は、現役マネージャーからの依頼を受け、恐れ多いですが、寄稿させていただきます。

私は中学、高校とラグビーを続けていましたが、入学当初はラグビーを少し休もうと思い、芸術工学部のビーチフットボールサークルに入りました。ビーチフット自体は楽しかったし、練習場所が家から近かったので、概ね悪くありませんでしたが、“やっぱり” タックルできないことがもどかしく、夏を過ぎた頃からラグビー部の練習に参加し始めました。

とはいえ、キャンパス間の移動時間が長く、なかなか練習に行けないこともありましたが、マイペースに楽しく部活を続けられました。そのおかげで今もこうして玄友会の活動に参加できているので、マイペースを許容してくれた先輩方や同期、後輩にはとても感謝しています。卒業する年のシーズンでは地区対抗戦にも出場でき、九大ラグビー部の現役プレイヤーとして過ごした時間は、非常に充実していました。

卒業後、京都工芸繊維大学の大学院に進学し、今年 9 月にデザイン学の博士課程を修了する予定です。ですので、ウェブサイトのデザインを通じて、玄友会の活動に参加し、九大ラグビー部の繁栄に微力ながら貢献しようという気持ちでいます。

ということで、ここでは、デザインの観点からクラブスポーツについて考えたことを書き連ねてみます。

まず初めに、デザインとは何か？を（念の為）説明しておきます。あくまでこれは一つの定義に過ぎませんが、以下のようにデザインは説明されます。

“特定の環境で、目的を達成するために、さまざまな条件のもと、基本的な要素を組み合わせ、ある要求を満足させる人工物の仕様を創造すること”^①

デザインは“イケてる”モノを造形する、おしゃれに設る、彩る、等のためのスキルやツール、あるいはセンスであると思われがちです。実はそれだけではなく、考え方や行為そのもののなのです。そして、(OB の皆さんはご存知と思いますが、) ブランド構築やイノベーション創出に活用する手法として経産省からも報告された

「デザイン経営宣言」や、アイデア創出のための「デザイン思考」などの方法論にまで展開されています。特に高度経済成長期以後、人々の購買意欲を掻き立てるために“良い”カタチの商品を作り、買いたくなるように“良く”見せるための広告を作ることに貢献してきたデザインですが、そのクリエイティブな思考プロセスをビジネス全般、その他の仕組みづくりにも活用できるのではないかと幅を広げて、さまざまに拡張しているような状況にあります。

さて、ウェブサイトデザインする、ということを改めて整理してみると、——特定の環境で、目的「応援したくなる・入部したくなるクラブになること」を達成するために、さまざまな条件「OBの立場から」のもと、基本的な要素「OB各位の叡智や関係性、現役の声」を組み合わせ、ある要求「現役の活動が正しく発信できる・クラブに関わる情報を集約すること」を満足させる人工物「ウェブサイト」の仕様を創造すること

という具合になります。一方、およそ10年前、私が学部生の頃に作成した現行のウェブサイトのデザインにおいては、その内容は全く異なるものでした。

——特定の環境で、目的「現役の活動を発信すること」を達成するために、さまざまな条件「芸工生の立場から」のもと、基本的な要素「緒方のリソース」を組み合わせ、ある要求「操作しやすく、更新しやすいツールを使うこと」を満足させる人工物「ウェブサイト」の仕様を創造すること

今になって振り返ると、手段が目的化してしまった側面があるかと反省しています（ビジョンが無い、弱い…とも言える）。また、当時は自分がうまく更新できれば成り立つような仕組みで作ったために、適切に引き継ぎができなかったり、玄友会の活動報告を包摂する余白がなかったり、各種SNSとの接続がなかったり…といった課題が、10年の時を経て浮き彫りになりました。そうした課題を解決するために、仕組みの設計から見直しつつ、使いやすさや見た目の美しさも2020年代に相応しいウェブサイトをデザインすることが今回の私に託された役目です。

余談ですが…皆さんはヴェネチアFCというサッカークラブをご存知ですか？現在イタリア2部リーグの、有名とはいええないチームなのですが、近年、ブランディングに力を入れている事例としてよく取り上げられます。具体的には、デザイン会社がユニフォームやロゴ、ウェブサイト、グッズなどを制作したおかげで、それらが世界でいま最もクールだと評されます。そのデザイン会社は高級ファッションブランドを多数手がける「ビューロー・ボルシェ（Bureau Borsche）」というドイツの会社です。グッズ販売の収益や（個人を含む）スポンサーからの寄付によって、クラブの運営体制が整ったり、地元の文化遺産修復に貢献できたり、といった好循環が生まれているようです。それはそうとして、デザインの切り口からブランディ

ングを推進したことで、それまでサッカーに興味が薄かった人々を知名度の低いサッカー клубに迎え入れるきっかけが作られたことこそが、このチームにとっての最大の利益だったといえます。15 年ほど前、雑誌『WIRED』の創刊編集長を務めたケヴィン・ケリーが「1000 人の忠実なファンがいれば、クリエイターは生きていける」^②と言いましたが、今では 100 人でも十分に生きていけるほど、その土壤が広がっているとよく言われます。クラブスポーツとクリエイターは、もちろん別物ですが、学生の成長や強豪校への勝利、有名選手の輩出、コミュニティ提供など、九大ラグビー部から生まれるコンテンツを生成し、それを享受し、応援するという関係性においては、共通項を見出せるのではないのでしょうか。現在、玄友会メンバーは 100 名以上いるわけなので、九大ラグビー部を生かすことは全然できるはずなのです。

ただし、これには注意すべき点があると考えています。それは継続性、つまり一過性の盛り上がりにならないことです。2016 年、早稲田大学ラグビー蹴球部のブランディングを“著名な”デザインオフィス「nendo」が担当し、その一環としてユニフォームをデザインした、というニュースがありました。クラウドファンディングによって資金を募り、将来的には会員だけのサロンのようなものも行いたいとの構想を発表しましたが、結局その話は空中分解し、ユニフォーム自体も 100 周年を迎えた 2018 年には旧来のクラシックなデザインに戻ってしまいました。この件についてはニュースやブログ記事で得られる程度の情報しか知らないの、あくまで推察ですが、財政難を理由にクラブファンでユニフォームを販売するような状況にもかかわらず、デザイン料を毎年捻出すること自体が想定されていなかったのでは？など、継続性の検討が不十分だった可能性が窺えます。

この話を踏まえて、ウェブサイトデザインするということが一過性のものにならないよう、継続性を念頭においた仕組みの設計から再構築していくことが重要だと考えています（そしてこれは自戒の念でもあります…）。仕組みとは、どういったステークホルダーがいて、どうクラブに関与しているかの可視化も含むと（勝手に）考えています。やはり透明性は重要で、いくらデザインを取り入れて改革しようとも、工芸品や雑貨の製造・小売業を営む中川政七商店の（現）会長が奈良クラブというサッカーチームの社長に就任し、ブランディングに携わったものの、旧体制からの継続的な動員者数水増し問題を改善できず（見過ごし）、たった 1 年で辞任させられたニュースみたいなことになると元も子もありません。（そんなことは当然ないと思いますが！デザイナーが変えられない部分という意味で）

ウェブサイトデザインするのは、あくまでメディアを作るということに過ぎず、

それを介した九大ラグビー部という組織が繋がることが重要だと考えています(そして、そんなことを総務部会の先輩方と話しています)。これから、100周年記念行事やそのための準備、その後の活動など通じて、より多くの玄友会メンバーが「スクラムを組む」ようになることを期待しています。

そのためにもウェブサイト制作、がんばります！

2023年1月 緒方胤浩

① http://www.design.kyoto-u.ac.jp/smalltalk/smalltalk_01/

② <https://kk.org/thetechnium/1000-true-fans/>



信頼の製品、
信頼の技術。

麻生セメントは、あなたの街の安心をカタチにします。

私たちが大切にしている4つの価値観 | 安全第一 | 人材育成 | お客様志向 | 業績志向 |

 麻生セメント
WE DELIVER THE BEST

名刺広告
(関東・関西・その他の地区)



London Japanese RFC
ロンドンジャパニーズ
ラグビーフットボールクラブ 日本会

会長
藤野 宏 (昭和39年卒)
President
Hiroshi Fujino

Tel (090) 8948-3137
E-mail: gino13aries@docomo.ne.jp

(昭和40年卒)

井上 康 昭

(札幌市在住)

東海大学 理学研究科 客員研究員 (昭和43年卒)
東京大学 新領域創成科学研究科 非常勤講師
プラズマ理工学国際会議 ICPP 国際共同議長

理学博士 佐藤 浩之助

九州大学 名誉教授
核融合科学研究所 (元 名古屋大学プラズマ研究所) 名誉教授

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保 1-15-8
E-mail satcho@triam.kyushu-u.ac.jp

TEL/FAX 0422-57-8009
携帯 090-3199-0019

(昭和46年卒)

佐藤 慶 則

(昭和47年卒)

佐藤 徹 法

(昭和47年卒)

松岡 繁

がんばれ KURFCフィフティーン

昭和47年卒

池水 直行

上田 光一

久我 秀昭

坂元 哲巳

佐藤 徹法

波多野 博

久野 哲

松岡 繁

(昭和47年卒)

上 田 光 一

(昭和48年卒)

俵 輝 美



九州大学ラグビー部OB会
(玄友会)

関西支部長 秋月誠一 (S52年卒)

自宅 〒607-8242 京都市山科区勤修寺柴山 8-17
TEL : 090-2017-1136
E-mail s_akitsuki33@yahoo.co.jp

(昭和54年卒)



森田 直弘 工学博士

システム技術本部
要素技術部 空力技術課

川重岐阜エンジニアリング株式会社
〒504-0971 岐阜県各務原市川崎町2番地
Tel (058) 382-5346 Fax (058) 382-1519
E-mail : morita_naohiro@khi.co.jp

(昭和54年卒)

田 原 義 彦

KIOXIA

(昭和55年卒)

百富 正樹

執行役員
技術統括責任者

キオクシア株式会社

108-0023 東京都港区芝浦三丁目1-21 田町ステーションタワーS
Tel: 03)6478-2304
masaki.momodomi@kioxia.com

(昭和55年卒)

監査役

納屋 健太郎

都 輸送株式会社

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-5-17
オゾン3ビル2F
Tel: 0465-21-5531 Fax: 0465-23-2951
E-mail: k.naya@mytnet.jp
http://www.mytnet.jp/

健康にアイデアを
meiji

MYT
MIYAKO YUSO
TRANSPORTATION
CO., LTD.

TAKENAKA

(昭和55年卒)

常務執行役員

川 添 卓 司

技術士(建設部門)



株式会社 竹中土木

〒136-8570 東京都江東区新砂1丁目1番1号
tel: 03-6810-6210 fax: 03-6660-6300
E-mail: kawazoe-t@takenaka-doboku.co.jp
https://www.takenaka-doboku.co.jp/

JHTA

(昭和55年卒)

理 事
港湾物流戦略室長

久 米 秀 俊

一般社団法人日本港運協会

〒105-8666
東京都港区新橋6丁目11番10号 港運会館
電 話 (03)3435-8835(7階直通)
(03)3432-1050(代表)
F A X (03)3435-8836
E-mail: h_kume@jhta.or.jp

(昭和55年卒)

森

肇

ARTERIA

緩やか情報通信プラットフォーム

取締役専務執行役員CCO

有田 大助

(昭和57年卒)

アルテリア・ネットワークス株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番6号

住友不動産新橋ビル

TEL: 03-6722-5604

E-mail: daisuke.arita@arteria-net.com

URL: <https://www.arteria-net.com>

アルテリアグループ全社でISO 9001 / ISO 27001の認証を取得しています



(昭和57年卒)

国武幸伸

(昭和57年卒)

源島良一



代表取締役
社長

原

浩

八丈島空港ターミナルビル株式会社



(昭和59年卒)

〒1001-0001
東京都八丈島八丈町大賀町二八三九番地二
電話番号(0499) 111111 (代)
FAX (0499) 111111
E-mail: hat@hat-bldg.co.jp

 東京港埠頭株式会社

常務取締役

原

浩

(昭和59年卒)

技術士(建設部門)
労働安全コンサルタント(土木)

〒135-0064

東京都江東区青海二丁目4番24号

青海フロンティアビル10階

TEL 03 (3599) 7300 FAX 03 (3599) 7491

URL: <https://www.tptc.co.jp/>

E-mail: harahi@tptc.co.jp



(昭和60年卒)

デジタル庁

江崎 浩

Chief Architect

070-8706-3627

HirEsaki@digital.go.jp

www.digital.go.jp

東京大学 大学院 (昭和60年卒)
情報理工学系研究科 教授

江 崎 浩

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
E-mail: hiroshi@wide.ad.jp
TEL (03) 5841-7465
FAX (03) 5841-6702 / 7465
http://hiroshi.hongo.wide.ad.jp/hiroshi/

(昭和60年卒)



勝田化工株式会社
営業技術部

市場開発室

室 長 玉 井 徳 人

〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎5丁目40番1号
電話 048-922-3381(代)
FAX 048-922-3385
E-Mail: y.tamei@katsuta-chem.co.jp

(昭和60年卒)

専務執行役員

武 藤 和 博

日本アイ・ビー・エム株式会社
パナソニック・エンタープライズ事業部長

〒530-1005
大阪府大阪市北区中之島三丁目二番四号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト
TEL (06) 6449-1230



東ソー物流株式会社

(昭和60年卒)

取締役 兼 上席執行役員
技術・安全本部長
兼 業務改革推進本部長 兼 業務改革推進室長
兼 カーボンニュートラル推進室長
事業本部担当 RC委員会委員長

吉 村 哲 也

山口県周南市野村1丁目23番15号 〒746-0022
TEL (0834) 63-0081 FAX (0834) 63-0935
E-mail: t.yoshimura@tosoh-logi.co.jp
URL: http://www.tosoh-logi.co.jp

支 社 東京、四日市、大阪、中国(上海・広州・瑞安)、シンガポール

IK 稲畑産業株式会社 (昭和60年卒)



コンパウンド統括室

黒 川 洋 一

〒103-8448 東京都中央区日本橋室町2-3-1
携帯: 070-7823-1943 (050-3819-5070)
TEL 050-3684-4048 FAX 03-4330-3172
E-mail: kurokawa.yoichi@inabata.com

(昭和60年卒)



鹿島建設株式会社 中国支店

支店次長 田 丸 圭 一

〒550-0001 広島市南区段原南一丁目三番五
TEL 082-553-3712
FAX 082-553-3711
E-mail: tamaki@doiconstruction.com



(昭和 63 年卒)

黒川 昌子

(平成 1 年卒)



安藤ハガマ



RE100
CLIMATE GROUP | 4COP

経営戦略本部
副本部長

古川 幸則

博士(工学)
技術士(総合技術監理部門・建設部門)

株式会社 安藤・間

〒105-7360 東京都港区東新橋1-9-1
TEL: 03-3575-6099 FAX: 03-3575-6013
E-Mail: furukawa.yukinori@ad-hzm.co.jp
<https://www.ad-hzm.co.jp/>

グリーン購入法適合用紙使用

FUJIFILM
Value from Innovation



フォトエリア事業部
エリア営業部長

西 元 宏 (平成 1 年卒)

E-mail: hiroshi.nishimoto@fujifilm.com

富士フイルム イメージングシステムズ株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-32 富士フイルムグリーンビル
Tel. 03-6417-3792 (内線・フイルム) Fax. 03-6417-3800



(平成 2 年卒)

大 島 正 浩

100 周年記念事業に向けて海外在中者名簿の充
実を目指しております。

もしも先輩・後輩・同期の方々の、連絡先を御
存知でしたら教えていただければ幸いです。

oshima1001@yahoo.co.jp



SOMPO ホールディングス

安心・安全・健康のテーマパーク

シニアマーケット事業部
スマートコミュニティ室
特命部長兼室長

中村 成志 (平成 3 年卒)

SOMPOホールディングス株式会社

Tel: 070-7783-6541
E-mail: shigeshi.nakamura@sompo-hd.com
<https://www.sompo-hd.com/>



KOBELCO

中四国支店長

堀 内 憲 二 (平成 3 年卒)



株式会社 神戸製鋼所

〒732-0057
広島市東区二葉の里3丁目5番7号 (GRANODE広島8階)
Tel: (082)258-5301 / Fax: (082)258-5309
(四国事務所)
〒760-0023
高松市寿町2丁目2番7号 (いちご高松ビル7階)
Tel: (087)823-7444 / Fax: (087)823-7333
E-mail: horiuchi.kenji@kobelco.com



(平成4年卒)

大成建設株式会社 東京支店

土木部
技術部プロジェクト室
次長

水島 智

東京都新宿区西新宿6-8-1 〒163-6008
(新宿オックスター)
TEL 03-5381-5495 (内6473)
FAX 03-5381-5593
携帯 080-1039-5127
E-mail: mizushima@ce.taisei.co.jp
ホームページ: <http://www.taisei.co.jp/>

 **TAISEI**
For a Lively World

危国に残る仕事

経務局
財務部
資金管理課

課長代理

川尻 伸一郎
(平成6年農学部卒)

公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会

〒559-0034
大阪市住之江区南港北1丁目14-16
大東府味酒庁会43階(受付)

TEL: 06-6625-8658
FAX: 06-6625-8663
MOBILE: 050-3495-7470
MAIL: Kawaiji@expo2025.or.jp
<https://www.expo2025.or.jp/>

 **EXPO2025** 

(平成7年卒)

 **JSR**

工場長
事業環境安全課長

藤 俊和

JSR ARTON製造株式会社

千葉県市原市千種海岸5 〒299-0108
Tel. 0436-78-5522 Fax. 0436-78-5848
E-mail: Toshikazu_Tou@jsr.co.jp

可能にする。
化学を。

(平成8年卒)

DENSO
Crafting the Core

大隈 亨
Toru Okuma
應用サーマルシステム技術部長

株式会社デンソー
本社
〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1
Tel 0566-61-3281 Fax 0566-25-4711
toru.okuma@jp.denso.com
<https://www.denso.com/jp/ja/>

(平成8年卒)

 **JSR**

精密電子研究所
先端電子材料開発室

西村 秀樹

JSR株式会社

四日市研究センター
三重県四日市川尻町100 〒510-8552
Tel. 059-345-8196 Fax. 059-345-8275
E-mail: hideki_nishimura@jsr.co.jp

支払サービス部 給付金G
課長代理

 **NISSAY**

峯 和史
消費生活アドバイザー
個人情報保護士

日本生命保険相互会社
〒541-8501 大阪府大阪市中央区今橋3-5-12
東館7F
Tel. 06-6209-1031
E-mail: mine05349@nissay.co.jp
URL: <https://www.nissay.co.jp>

(平成10年卒)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

管理統括部環境・安全部
部長
畑田 真宏
(平成 14 年卒)

无锡村田电子有限公司
〒214028 中国江苏省无锡市无锡出口加工区B区行创1路6号
☎ (0510)85282111 ext.1773 ☎ 15190311773
✉ masahiro_hatada@murata.com



Marubeni (平成 17 年卒)

総務部
プロジェクト推進室
主任
森 山 秀 一

丸紅株式会社
〒100-8088
東京都千代田区大手町一丁目4番2号
Tel : (03)3282-2114
Fax : (03)3282-4241
E-mail : moriyama-shuichi@marubeni.com
www.marubeni.com/jp/



(平成 19 年卒)

NOMURA

法人課
課長
高橋 英樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会監査アナリスト

野村證券株式会社 京都支店
〒600-8006 京都府京都市下京区四桑通堀町角
TEL 075-255-1796(直通) 075-221-7211(代表) FAX 075-211-7248
E-mail takahashi-ogawa@jp.nomura.com
E-mailによるご注文や投資相談は承ることができませんので、ご了承ください。



(平成 24 年卒)

沖 藤 拓 真

MUFG (平成 26 年卒)

鶴田 勇氣
部長代理

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
事業法人第三部
〒100-8127 東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
tsututa-yuuki@sc.mufg.jp

Tel : 03-6742-6985
Fax: 03-6742-1915
www.sc.mufg.jp



MUFG (平成 26 年卒)

世界が進むチカラになる。

犬塚 貴文
調査役

株式会社 三菱UFJ銀行
営業本部
営業第六部 第四グループ
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1
takafumi_inutsuka@mufg.jp

Tel : 050-3844-3609
Fax : 03-3240-8884
www.bk.mufg.jp



H
29
卒

緒
方
胤
浩

全国の書店、Web サイトなど
にて発売中です！

『フードデザイン』
著者：緒方胤浩、水野大二郎
発行：ピー・エヌ・エヌ
定価：本体 2,600 円＋税

H
29
卒

緒
方
胤
浩

池田 僚輔 （平成 30 年卒）

エンジニアリング・技術研発本部
発電ユーティリティエンジニアリング部
エンジニア

東洋エンジニアリング株式会社
〒275-0024 千葉県習志野市西浜 2 丁目 8 番 1 号
携帯：070-8808-0811
Fax: 047-454-1867
E-mail: ryosuke.ikeda@toyo-eng.com
<https://www.toyo-eng.com/jp/>

Your Success. Our Pride.

東京海上日動 （平成 30 年卒）

TOKIO MARINE
NICHIDO

東京新都心支店
主任（開拓第二チーム）
入木田 一輝

東京海上日動火災保険株式会社
東京都渋谷区代々木2-11-15
新宿東京海上日動ビル5階 〒151-8560
Tel: 03-3375-8505(代表) Fax: 050-3385-6768
KAZUKI.IRIDA@tmnf.jp 携帯：090-1543-1953

To Be a Good Company

(平成31年卒)

入木田 みなみ

YASKAWA

営業本部 食品農業営業部
営業課

三谷 直輝 (平成31年卒)

株式会社 安川電機

〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号

ニューピア竹芝サウスタワー8階

Tel 03-5402-4905 Fax 03-5402-4581

携帯 070-7662-6570

Nacki.Mitani@yaskawa.co.jp

www.yaskawa.co.jp www.e-mechatronics.com

i-Mechatronics

NRI
未来開発
Break up the Future.

野村総合研究所

上野 叡智

アプリケーションエンジニア
保険デジタルサービス事業部

(令和2年卒)

Share the Next Values!

Tel.090-3509-0661 (携帯)
E-mail: e2-ueno@nri.co.jp
https://www.nri.com

株式会社 野村総合研究所
〒220-0012
横浜市西区みなとみらい4-4-1
横浜野村ビル

第ハビジネスデザイン局
第五アカウントチーム
ビジネスプラナー

(令和2年卒)

梅 嵯 歌 音

株式会社 博報堂

〒107-6322 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー

M: 080-4830-6115

kanon.umezaki@hakuhodo.co.jp

・HAKUHODO・

読売新聞西部本社

(令和4年卒)

記者 内田 詩乃

山口総局 〒753-0077 山口市熊野町1-10

ニューメディアプラザ山口8階

Tel.083-922-1042

Fax.083-933-1103

携帯 080-8574-8324

E-mail: uchi2740@yomiuri.com

令和四年度 総括

2022年度 シーズン総括

監督 平成 21 年卒 近木俊介

九州学生リーグの再編に伴い、前年度 A リーグ 7 位だった九州大学は 2022 年シーズンを B リーグでスタートすることとなりました。必然的に「1 部昇格」が東大・京大との定期戦の勝利とあわせ、チームの 3 大目標となりました。

2022 シーズンは「LINK」をスローガンに掲げ、学年や立場に関係なく、チーム内のコミュニケーションを活発化し、組織としての一体感を高めようという試みも行われました。しつこく蔓延する新型コロナウイルスや社会の流れで人と人との関係性が年々希薄になっている気がしますが、学生たちが自ら掲げたこの

「LINK」というスローガンは、実に九大ラグビー部らしく素晴らしいものだったと私は思っています。

プレイヤーから厚い信頼を得ているメディカルトレーナー兼コーチの大庭さん、毎月東京から指導に来ていただいているディレクター・オブ・ラグビーの藤森さん、スクラム強化に欠かせない存在となっている FW コーチの岩本さん。プレー面の指導を行う 3 人のコーチをはじめ、グラウンドに足を運んでくれる諸先輩方、多大な支援をいただいた OB の皆様など、今シーズンはさまざまな形で九大ラグビー部に関わってくれる方が増えた印象です。冒頭で書いた目標こそ残念ながら達成できませんでしたが、チームがいい方向に向かっていることは間違いありません。

節目の 100 周年を迎える 2025 年まであと 2 年。

しばらくチームから遠ざかっていた OB・OG の皆様も、これを機にもう一度九大ラグビー部に“LINK”していただき、現役一同の後押しをしていただければ幸いです。

最後に卒業する 4 年生の皆様。4 年間本当にお疲れ様でした。

ラグビーという最高のスポーツを通して、また会える日を楽しみにしています。

今年度のシーズンを終えて

主将 淡路翔太

令和4年度九州大学ラグビー部主将を務めさせていただきました淡路です。今年度も、OB・OGの皆様をはじめとする多くの関係者の方々にご支援・ご声援をいただきました。心よりお礼申しあげます。

今年度は「リーグ予選全勝し、地区対抗進出」「定期戦全勝」という2つの目標を掲げチーム作りを行ってまいりました。1つ目の目標の「リーグ予選全勝し、地区対抗進出」について、今年度はリーグ編成が行われて、九大はBリーグスタートとなりました。1部リーグだった時のプライドをもって、圧倒してリーグ戦予選を戦い抜くことを決めました。本戦で勢いをつけるために、一つ一つの試合を大切にしていきました。2つ目の目標の「定期戦全勝」についてAチームとBチームは両方優勝することに決めました。AチームのみでなくBチームの勝利まで含めた理由として、チーム一丸となって闘うことを大切にし、日々の練習で意識していたからです。また、昨年度、東大戦と京大戦は敗北しているため、その屈辱を晴らすために勝利にこだわりました。

本年度はチーム全員が戦術を理解し、頭を使ってラグビーするために、①スペースアタック②コンタクトスキル③ハンドリングの3つを特にフォーカスし練習を行ってきました。練習にあたっては、ディレクターの藤森さん、メディカルコーチである大庭さん、アドバイザーの堀内さん、スクラムコーチのガンさん、栄養士の斎藤さん、多くの方々からの意見を参考に進めてきました。また、練習試合を多く組み、ミーティングを増やし、練習を積極的に行ってきました。スローガンの「LINK」を大切に、チーム一丸となって、選手とスタッフリスペクトをし、勝利を掴み取るために懸命に練習を進めてきました。

結果としては、リーグ戦予選は全勝し、本戦では準決勝で敗退しました。東大戦では1トライ差で敗北、京大戦ではAチームは3トライ差で敗北、Bチームは圧勝しました。僅かな差の結果で勝ち切れなかった悔しさはありますが、選手は一生懸命奮闘してくれて嬉しいです。あと少しの壁を越えきることができなかったのは、フィジカルであると考えます。来年度はチームで切磋琢磨しながら積極的に筋トレに取り組んでいくことを望みます。OB・OGの皆様をはじめとして、沢山の方々に、お米、プロテイン、補食等の差し入れとご協力をいただきありがとうございます。お陰様で、日々の練習、増量をエネルギー出して頑張ることができました。来年度はさらに活気のある代になるので、今後ともよろしくお願いします。

今年はスローガンの「LINK」を掲げて、チーム一丸となって闘う、選手とスタッ

お互いにリスペクトをすることで、チーム力向上を図りました。学年隔てなく、チームの皆は思いっきりやってくれました。そのおかげで、この一年間は、ラグビーだけでなく、運営やラグビーに対する姿勢などの面で皆の成長が感じられました。コーチや監督、OB・OGの皆様のサポートのおかげで、九大ラグビー部が暖かい環境となっているのを身に染みて感じています。誠にありがとうございます。良い文化を作りあげることができたと感じたので、来年度にも繋げていくことを願います。現役部員はこれから様々な状況に直面すると思いますが、周囲の人達を大いに頼りながら進んでいってください、応援しています。

最後に OB・OG の皆様、改めまして多大なるご支援ご声援をありがとうございます。創部 100 周年に向け、今後とも九州大学ラグビー部をよろしくお願いいたします。





弁護士法人 堀内恭彦法律事務所

代表弁護士
堀内 恭彦

(昭和 63 年卒)



日本ラグビーフットボール協会 規律委員会
九州ラグビーフットボール協会 理事
福岡県ラグビーフットボール協会 理事
女子7人制ラグビー「ナナイロブリズム福岡」 アドバイザー

〒810-0042

福岡市中央区赤坂 1 丁目 13 番 10 号 赤坂有楽ビル 8 階

TEL 092-751-7355 **FAX** 092-751-7356

 yasu15@aurora.ocn.ne.jp

 <https://horiuchi.law/>

令和四年度年間行事・全戦績

令和4年度年間行事

月	日	現役	OB 会
3	7	シーズンイン	
5	14	入部式	
	29		OB 総会
7	10	東京大学定期戦 於東京大学駒場キャンパスラグビー場	
8	6	夏季練習開始	
9	10	九州学生リーグ（予選）	
	17		
	24		
10	8		
	15		
11	13	九州学生リーグ（順位決定戦）	
	26		
12	18	京都大学定期戦 於九大総合 G	
	23	次年度幹部決め	
1	28		新年会

☆東大戦☆



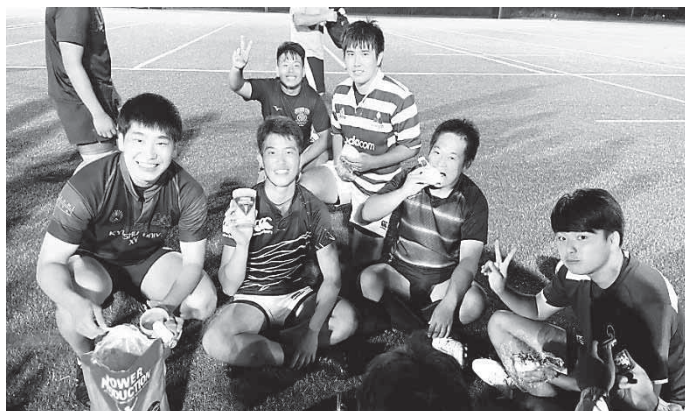
悔しさの残る試合と
なりましたが、
久しぶりの東京での開催に
たくさんの方に足を運んで
いただき、とても励みに
なりました。
また、懇親会にも多くの
OBの方に来ていただき
ました！



☆練習風景☆

練習後はおにぎりとプロ
テインで体づくりをして
います。

日頃からのご支援ご声援
ありがとうございます。



普段から部員同士が
たくさんコミュニケーションを
とることで、質の高い練習を
行うことができました。



☆リーグ戦☆



リーグ戦期間はた
くさんのことを学び、
個人として、チーム
として成長するこ
とができました。



☆京大戦☆



A 戦は負けてしまいましたが、
B 戦では勝つことができました。
雪の中にもかかわらずたくさん
の応援ありがとうございました！



令和4年度 全戦績一覧

*30分ゲーム

月日	試合形態	対戦相手	場所	結果(左:九大)	
*4月30日	練習試合	西南学院大学	田尻G	●	0-21
*4月30日	練習試合	鹿児島大学B	田尻G	○	14-12
*4月30日	練習試合	鹿児島大学A	田尻G	●	0-21
*5月1日	練習試合	西南学院大学	田尻G	○	35-5
*5月1日	練習試合	鹿児島大学	田尻G	○	14-10
5月28日	練習試合	西新ブルズ	九大総合G	○	74-5
6月11日	練習試合	九州産業大学	九大総合G	○	35-5
**6月18日	練習試合	大分大学	九大総合G	○	30-0
**6月18日	練習試合	熊本大学	九大総合G	○	15-0
**6月25日	練習試合	広島大学	九大総合G	●	5-10
7月10日	定期戦	東京大学	東大駒場G	●	12-19
8月20日	練習試合	福岡銀行	古賀G	●	0-70
8月31日	練習試合	西南学院大学	田尻G	●	5-17
9月10日	公式戦	大分大学	湯布院SC	○	71-6
9月17日	公式戦	宮崎大学	九大総合G	○	94-0
9月24日	公式戦	長崎大学	長崎市松山R場	○	85-14
10月8日	公式戦	熊本大学	九大総合G	○	48-5
10月15日	公式戦	志学館大学	鹿児島SR場	○	66-0
11月13日	公式戦	西南学院大学	福岡大G	●	7-33
11月26日	公式戦	熊本大学	田尻G	○	14-8
12月3日	練習試合	福岡銀行	古賀G	●	12-50
12月18日	定期戦	京都大学A	九大総合G	●	14-38
12月18日	定期戦	京都大学B	九大総合G	○	24-12

**コンバージョンなし

東大戦

7月10日 東京大学駒場キャンパスラグビー場

●12-19

【九大】

1.松尾 修
2.淡路
3.大家
4.黄
5.佐藤
6.川口
7.久保田
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.犬丸
12.梶谷
13.松尾 優
14.得丸
15.西田
16.岡
17.野間
18.三枝
19.後藤 正
20.檜原
21.森本
22.江藤
23.神谷

九大			東大	
前半	後半		前半	後半
0	2	T	0	3
0	1	G	0	2
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
0	12	計	0	19
12		合計	19	

【九大 入替】

後半0分	1→16
後半0分	3→17
後半13分	5→19
後半18分	11→22
後半24分	9→21
後半34分	6→18

【東大 入替】

後半0分	5→16
後半0分	7→17
後半15分	2→20
後半20分	13→22
後半27分	1→19
後半27分	3→18
後半35分	15→23



【東大】

1.後藤
2.安富
3.笹俣
4.岩下
5.塩谷
6.内藤
7.宮田
8.財木
9.鈴木
10.玉代勢
11.橋野
12.西久保
13.廣瀬
14.國枝
15.桑田
16.河内
17.三方
18.池上
19.領木
20.関戸
21.佐川
22.杉井
23.吉村

【前半】 九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-東大
				0 - 0



【後半】 東京大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-東大
7分	東大	17.三方	T	0 - 5
7分	東大	12.西久保	G×	0 - 5
23分	九大	8.中臣	T	5 - 5
23分	九大	15.西田	G○	7 - 5
27分	東大	17.三方	T	7 - 10
27分	東大	12.西久保	G○	7 - 12
32分	九大	21.森本	T	12 - 12
32分	九大	15.西田	G×	12 - 12
35分	東大	23.吉村	T	12 - 17
35分	東大	12.西久保	G○	12 - 19



代表弁護士

大 野 慶 樹

弁護士法人 大野慶樹法律事務所

〒810-0001

福岡市中央区天神 4 丁目 2 番 20 号 天神幸ビル 3 階

T E L. 092-714-3450 F A X. 092-714-3460

E-mail: kenju.ohno@ohnolaw.jp

<http://ohnolaw.jp>

リーグ戦

【九大】

1.岡
2.淡路
3.松尾修
4.黄
5.檜原
6.久保田
7.川口
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.犬丸
12.梶谷
13.松尾優
14.得丸
15.山田
16.三枝
17.大家
18.野間
19.佐藤
20.後藤正
21.森本
22.神谷
23.阿左美

九大			大分大	
前半	後半		前半	後半
4	7	T	0	0
4	4	G	0	0
0	0	PG	2	0
0	0	DG	0	0
28	43	計	6	0
71		合計	6	

〔九大 入替〕

後半0分	3→18
後半9分	13→22
後半12分	14→21
後半16分	11→23
後半21分	2→17
後半21分	5→19
後半21分	7→20
後半26分	9→16

〔大分大 入替〕

後半19分	3→16
後半34分	11→21



【大分大】

1.檜木
2.吉田
3.相垣
4.足立
5.神谷
6.相原
7.百田
8.渡辺
9.菊楽
10.山上
11.馬越
12.藤井
13.大木
14.中州
15.薬師寺
16.岡本
17.富永
18.益田

〔前半〕九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-宮大
13分	九大	13.松尾	T	5 - 0
14分	九大	10.荒川	GO	7 - 0
19分	九大	14.得丸	T	12 - 0
20分	九大	10.荒川	GO	14 - 0
29分	九大	8.中臣	T	19 - 0
30分	九大	10.荒川	GO	21 - 0
33分	大分大	9.菊楽	PG	21 - 3
35分	九大	9.阪本	T	26 - 3
36分	九大	10.荒川	GO	28 - 3
40分	大分大	9.菊楽	PG	28 - 6

〔後半〕大分大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-京大
3分	九大	8.中臣	T	33 - 6
5分	九大	10.荒川	G×	33 - 6
8分	九大	1.岡	T	38 - 6
9分	九大	10.荒川	GO	40 - 6
10分	九大	12.梶谷	T	45 - 6
12分	九大	10.荒川	G×	45 - 6
20分	九大	10.荒川	T	50 - 6
21分	九大	10.荒川	GO	52 - 6
27分	九大	21.森本	T	57 - 6
28分	九大	10.荒川	GO	59 - 6
32分	九大	19.佐藤	T	64 - 6
33分	九大	10.荒川	G×	64 - 6
40分	九大	1.岡	T	69 - 6
40分	九大	10.荒川	GO	71 - 6

【九大】

1.岡
2.淡路
3.松尾修
4.檜原
5.黄
6.久保田
7.川口
8.中臣
9.阪本
10.森本
11.犬丸
12.梶谷
13.松尾優
14.山田
15.西田
16.三枝
17.大家
18.野間
19.後藤正
20.吉川
21.阿左美
22.荒川
23.得丸

九大			宮大	
前半	後半		前半	後半
8	6	T	0	0
7	5	G	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
54	40	計	0	0
94		合計	0	

〔九大 入替〕

前半35分	11→23
後半0分	3→18
後半19分	7→20
後半19分	2→17
後半19分	5→19
後半19分	14→21
後半26分	15→22
後半36分	8→16

〔宮大 入替〕

後半19分	5→16
後半24分	3→17



【宮大】

1.永樂
2.日田
3.柄澤
4.河野
5.石原
6.鶴村
7.椿武
8.待山
9.熊
10.今井
11.金丸
12.初田
13.関麟
14.井上
15.藤波
16.西村
17.小島

〔前半〕 九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-宮大
2分	九大	2.淡路	T	5 - 0
3分	九大	15.西田	G×	5 - 0
9分	九大	11.犬丸	T	10 - 0
10分	九大	15.西田	GO	12 - 0
14分	九大	8.中臣	T	17 - 0
15分	九大	15.西田	GO	19 - 0
20分	九大	7.川口	T	24 - 0
21分	九大	15.西田	GO	26 - 0
23分	九大	14.山田	T	31 - 0
24分	九大	15.西田	GO	33 - 0
26分	九大	10.森本	T	38 - 0
27分	九大	15.西田	GO	40 - 0
37分	九大	6.久保田	T	45 - 0
38分	九大	15.西田	GO	47 - 0
40分	九大	6.久保田	T	52 - 0
40分	九大	15.西田	GO	54 - 0

〔後半〕 宮崎大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-宮大
3分	九大	5.黄	T	59 - 0
4分	九大	15.西田	GO	61 - 0
8分	九大	9.阪本	T	66 - 0
9分	九大	15.西田	GO	68 - 0
11分	九大	6.久保田	T	73 - 0
12分	九大	15.西田	GO	75 - 0
18分	九大	2.淡路	T	80 - 0
19分	九大	15.西田	GO	82 - 0
24分	九大	9.阪本	T	87 - 0
24分	九大	15.西田	G×	87 - 0
31分	九大	17.大家	T	92 - 0
32分	九大	22.荒川	GO	94 - 0

【九大】

1.大家
2.淡路
3.野間
4.檜原
5.黄
6.後藤正
7.川口
8.中臣
9.阪本
10.森本
11.得丸
12.神谷
13.松尾
14.山田
15.西田
16.三枝
17.久保田
18.佐藤
19.吉川
20.江藤
21.寶田
22.梶谷
23.後藤宗

九大			長崎大	
前半	後半		前半	後半
8	5	T	0	2
6	4	G	0	2
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
52	33	計	0	14
85		合計	14	

〔九大 入替〕

後半0分	5→18
後半11分	14→20
後半11分	13→22
後半18分	8→19
後半20分	9→21
後半30分	2→17

〔長崎大 入替〕

後半0分	9→22
後半0分	5→16
後半30分	7→18

【長崎大】

1.上村
2.永野
3.寺田
4.本村
5.吉永
6.最上
7.高木
8.芝山
9.中野
10.松尾
11.唐澤
12.中村
13.中島
14.山本
15.古賀
16.横山
17.佐々木
18.宮崎
22.黒田



〔前半〕 九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大ー長崎大
3分	九大	3.野間	T	5 - 0
3分	九大	15.西田	GO	7 - 0
10分	九大	11.得丸	T	12 - 0
11分	九大	15.西田	GO	14 - 0
17分	九大	2.淡路	T	19 - 0
18分	九大	15.西田	GO	21 - 0
25分	九大	5.檜原	T	26 - 0
26分	九大	15.西田	G×	26 - 0
29分	九大	11.得丸	T	31 - 0
30分	九大	15.西田	GO	33 - 0
32分	九大	14.山田	T	38 - 0
33分	九大	15.西田	GO	40 - 0
36分	九大	6.後藤	T	45 - 0
37分	九大	15.西田	GO	47 - 0
40分	九大	9.阪本	T	52 - 0
40分	九大	15.西田	G×	52 - 0

〔後半〕 長崎大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大ー長崎大
5分	九大	15.西田	T	57 - 0
6分	九大	15.西田	GO	59 - 0
15分	九大	12.神谷	T	64 - 0
16分	九大	15.西田	GO	66 - 0
20分	九大	11.得丸	T	71 - 0
21分	九大	15.西田	G×	71 - 0
28分	九大	23.後藤	T	76 - 0
29分	九大	15.西田	GO	78 - 0
33分	長崎大	15.古賀	T	78 - 5
34分	長崎大	10.松尾	GO	78 - 7
38分	長崎大	22.黒田	T	78 - 12
39分	長崎大	10.松尾	GO	78 - 14
40分	九大	21.寶田	T	83 - 14
40分	九大	15.西田	GO	85 - 14

【九大】

1.岡
2.淡路
3.野間
4.黄
5.檜原
6.後藤正
7.川口
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.後藤宗
12.梶谷
13.松尾優
14.山田
15.森本
16.三枝
17.久保田
18.北川
19.高森
20.吉川
21.神谷
22.江藤
23.西田

九大			熊大	
前半	後半		前半	後半
6	2	T	0	1
4	0	G	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
38	10	計	0	5
48		合計	5	

【九大 入替】

後半5分	9→21
後半16分	11→23
後半19分	7→19
後半29分	10→22
後半33分	1→16

【熊大 入替】

前半7分	6→19
後半0分	15→21
後半16分	3→23
後半29分	1→16
後半35分	7→18

【熊大】

1.大田
2.重岡
3.前田
4.勝間
5.中山
6.隈
7.野中
8.西野
9.深田
10.倉重
11.竹之内
12.佐藤匠
13.戒田
14.長谷川
15.柴田
16.藤本
17.佐藤武
18.森
19.園田
20.武田
21.畑
22.尾崎
23.小柳



【前半】九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-熊大
12分	九大	7.川口	T	5 - 0
13分	九大	10.荒川	G×	5 - 0
18分	九大	2.淡路	T	10 - 0
19分	九大	10.荒川	G○	12 - 0
24分	九大	14.山田	T	17 - 0
25分	九大	10.荒川	G×	17 - 0
29分	九大	2.淡路	T	22 - 0
30分	九大	10.荒川	G○	24 - 0
34分	九大	8.中臣	T	29 - 0
35分	九大	10.荒川	G○	31 - 0
39分	九大	2.淡路	T	36 - 0
39分	九大	10.荒川	G○	38 - 0

【後半】熊本大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-熊大
5分	九大	2.淡路	T	43 - 0
6分	九大	10.荒川	G×	43 - 0
17分	九大	15.森本	T	48 - 0
18分	九大	23.西田	G×	48 - 0
40分	熊大	14.長谷川	T	48 - 5
41分	熊大	9.深田	G×	48 - 5

【九大】

1.岡
2.淡路
3.野間
4.檜原
5.黄
6.久保田
7.川口
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.得丸
12.梶谷
13.松尾 優
14.山田
15.森本
16.三枝
17.大家
18.松尾 修
19.吉川
20.高森
21.神谷
22.江藤
23.西田

九大			志學館	
前半	後半		前半	後半
5	5	T	0	0
4	4	G	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
33	33	計	0	0
66		合計	0	

[九大 入替]

後半19分	3→18
後半19分	7→19
後半25分	2→17
後半25分	10→23
後半25分	14→22
後半34分	9→20
後半34分	11→21

[志學館 入替]

後半0分	9→20
後半17分	7→16
後半18分	4→19
後半25分	2→18
後半30分	1→17



【志學館】

1.織田
2.丸田
3.黒木
4.竹原田
5.住吉
6.上村
7.森尾
8.福島
9.寺師
10.重井
11.上野
12.牧
13.竹原
14.谷
15.松元
16.上飯屋
17.三野
18.當田
19.川路
20.徳満
21.山ノ口
23.江川

[前半] 志學館大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-志學館
4分	九大	6.久保田	T	5 - 0
5分	九大	10.荒川	GO	7 - 0
11分	九大	1.岡	T	12 - 0
12分	九大	10.荒川	GO	14 - 0
24分	九大	11.得丸	T	19 - 0
25分	九大	10.荒川	GO	21 - 0
28分	九大	2.淡路	T	26 - 0
29分	九大	10.荒川	G×	26 - 0
35分	九大	11.得丸	T	31 - 0
36分	九大	10.荒川	GO	33 - 0

[後半] 九州大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-志學館
4分	九大	12.梶谷	T	38 - 0
5分	九大	10.荒川	GO	40 - 0
19分	九大	13.松尾	T	45 - 0
21分	九大	10.荒川	GO	47 - 0
24分	九大	2.淡路	T	52 - 0
25分	九大	10.荒川	GO	54 - 0
36分	九大	20.高森	T	59 - 0
37分	九大	23.西田	GO	61 - 0
41分	九大	22.江藤	T	66 - 0
42分	九大	23.西田	G×	66 - 0

【九大】

1.岡
2.淡路
3.野間
4.檜原
5.黄
6.川口
7.吉川
8.高森
9.阪本
10.荒川
11.後藤 宗
12.梶谷
13.松尾 優
14.山田
15.森本
16.三枝
17.久保田
18.大家
19.後藤 正
20.中臣
21.神谷
22.江藤
23.西田

九大			西南	
前半	後半		前半	後半
0	1	T	1	4
0	1	G	1	3
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
0	7	計	7	26
7		合計	33	

〔九大 入替〕

前半18分	13→22
前半21分	22→13
後半17分	5→17
後半21分	1→18
後半35分	6→19

〔西南 入替〕

前半24分	3→18
前半26分	18→3
後半17分	7→19
後半19分	9→21
後半20分	14→23
後半24分	11→22
後半28分	13→20
後半31分	3→18



【西南】

1.川野
2.堀之内
3.峰松
4.中島
5.下川
6.西山
7.熊原
8.安藤
9.半澤
10.宮原
11.末田
12.結城
13.小谷
14.清水
15.川上
16.上原
18.脇谷
19.竹下
20.宿里
21.藤川
22.伊藤
23.梅畚

〔前半〕 西南学院大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-西南
5分	九大	10.荒川	PG×	0 - 0
16分	西南	15.川上	T	0 - 5
16分	西南	15.川上	GO	0 - 7



〔後半〕 九州大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-西南
2分	西南	13.小谷	T	0 - 12
2分	西南	15.川上	G×	0 - 12
16分	西南	1.川野	T	0 - 17
17分	西南	15.川上	GO	0 - 19
18分	西南	14.清水	T	0 - 24
20分	西南	15.川上	GO	0 - 26
24分	九大	14.山田	T	5 - 26
25分	九大	10.荒川	GO	7 - 26
40分	西南	10.宮原	T	7 - 31
41分	西南	15.川上	GO	7 - 33

【九大】

1.岡
2.淡路
3.野間
4.佐藤
5.川口
6.吉川
7.久保田
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.後藤宗
12.梶谷
13.江藤
14.山田
15.森本
16.三枝
17.大家
18.松尾
19.檜原
20.後藤正
21.神谷
22.西田
23.犬丸

九大			熊大	
前半	後半		前半	後半
1	1	T	1	0
1	1	G	0	0
0	0	PG	0	1
0	0	DG	0	0
7	7	計	5	3
14		合計	8	

【九大 入替】

後半21分	11→23
後半23分	9→21
後半32分	5→19
後半33分	3→18
後半33分	1→17

【熊大 入替】

後半14分	1→16
後半21分	4→19
後半23分	11→23



【熊大】

1.藤本
2.重田
3.前田
4.園田
5.勝間
6.森
7.野中
8.西野
9.深田
10.倉重
11.畑
12.佐藤臣
13.戒田
14.長谷川
15.竹之内
16.大田
17.佐藤武
18.福澤
19.松本
20.武田
21.林
22.海老澤
23.小柳

【前半】九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-熊大
14分	熊大	14.長谷川	T	0 - 5
16分	熊大	10.深田	GX	0 - 5
26分	九大	9.阪本	T	5 - 5
28分	九大	10.荒川	G	7 - 5

【後半】熊本大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-熊大
6分	熊大	15.竹之内	PG	7 - 8
13分	九大	9.阪本	T	12 - 8
15分	九大	10.荒川	G	14 - 8

弁 護 士

くま けい し
隈 慧 史 (平成 22 年卒)

紫 牟 田 国 際 法 律 事 務 所

〒812-0018

福岡市博多区住吉1丁目2番25号

キャナルシティ・ビジネスセンタービル9階

T E L. 092-263-8705 F A X. 092-263-8706

<https://www.smt-law.jp/>

E-mail: k.kuma@smt-law.gr.jp

京大戦

12月18日 九大総合グラウンド

京都大学 A ●14-38

京都大学 B ○24-12

【九大】

1.岡
2.淡路
3.松尾 修
4.檜原
5.黄
6.吉川
7.川口
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.後藤 宗
12.梶谷
13.松尾 優
14.犬丸
15.神谷
16.北川
17.久保田
18.大家
19.佐藤
20.高森
21.森本
22.江藤
23.西田

九大			京大	
前半	後半		前半	後半
1	1	T	4	2
1	1	G	2	2
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
7	7	計	24	14
14		合計	38	

【九大 入替】

後半16分	3→18
後半16分	6→17
後半30分	9→21

【京大 入替】

前半32分	11→24
後半11分	2→16
後半17分	1→17
後半21分	5→20
後半27分	3→18
後半27分	6→21
後半31分	7→22
後半31分	24→25
後半35分	16→19



【京大】

1.和氣
2.渡邊
3.佐藤
4.佐竹
5.草野
6.高原
7.笹井
8.中山
9.野澤
10.大鶴
11.萩野
12.日野坪
13.村上
14.伏見
15.久家
16.朝比奈
17.宮田
18.横山
19.安川
20.宮崎
21.吉田
22.正岡
23.新家
24.宮原
25.佐野川谷

【前半】 京都大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-京大
3分	京大	13.村上	T	0 - 5
3分	京大	10.大鶴	G×	0 - 5
11分	京大	7.笹井	T	0 - 10
11分	京大	10.大鶴	G×	0 - 10
22分	京大	9.野澤	T	0 - 15
22分	京大	10.大鶴	G○	0 - 17
25分	九大	8.中臣	T	5 - 17
25分	九大	10.荒川	G○	7 - 17
38分	京大	14.伏見	T	7 - 22
38分	京大	10.大鶴	G○	7 - 24

【後半】 九州大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-京大
4分	京大	6.高原	T	7 - 29
4分	京大	10.大鶴	G○	7 - 31
9分	九大	2.淡路	T	12 - 31
9分	九大	10.荒川	G○	14 - 31
30分	京大	10.大鶴	T	14 - 36
30分	京大	10.大鶴	G○	14 - 38

【九大】

1.大家
2.久保田
3.松尾修
4.佐藤
5.後藤正
6.高森
7.川口
8.黄
9.森本
10.永田
11.福元
12.江藤
13.寶田
14.阿左美
15.西田
16.久國
17.北川
19.檜原
21.後藤宗
23.犬丸

九大			京大	
前半	後半		前半	後半
3	1	T	1	1
2	0	G	1	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
19	5	計	7	5
24		合計	12	

【九大 入替】

後半0分	7→16
後半0分	8→19
後半9分	14→23
後半18分	1→17
後半21分	17→1
後半23分	11→21

【京大 入替】

後半0分	1→16
後半0分	2→17
後半0分	3→18
後半0分	4→21
後半0分	5→19
後半0分	6→23
後半0分	7→22
後半0分	8→24
後半0分	12→25
後半0分	13→26



【京大】

1.松井
2.鈴木
3.安田
4.根鈴
5.小向
6.中武
7.園田
8.橋本
9.新家
10.山口
11.森下
12.宮原
13.佐野川谷
14.土屋
15.平井
16.梅園
17.朝比奈
18.横山
19.飛鳥
20.宮崎
21.吉田
22.正岡
23.西山
24.田村
25.五十嵐
26.尾崎
27.久家
28.野澤

【前半】 京都大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-京大
14分	九大	2.久保田	T	5 - 0
14分	九大	15.西田	GO	7 - 0
22分	九大	2.久保田	T	12 - 0
22分	九大	15.西田	G×	12 - 0
28分	京大	13.佐野川谷	T	12 - 5
28分	京大		GO	12 - 7
31分	九大	1.大家	T	17 - 7
31分	九大	15.西田	GO	19 - 7

【後半】 九州大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-京大
10分	九大	9.森本	T	24 - 7
10分	九大	15.西田	G×	24 - 7
30分	京大	10.山口	T	24 - 12
30分	京大		G×	24 - 12

部員紹介

お世話になっております。本年度主将を務めさせていただきました、淡路です。OB、OGの皆様には多大なるご支援ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。今年は特に、お米、プロテイン等の支援をしていただきありがとうございました。これから九大はもっと盛り上がっていくことを願います！

さて、自分の大学ラグビーについて振り返ろうと思います。最初はラグビーかアメフトで迷っていました。その時に富本先輩の長文と熱意のある勧誘で引き込まれました。彼のおかげで私は密な四年間を送ることができました。先輩たちにはいっぱい可愛がってくださり幸せでした。ラグビーだけではなく、お酒の飲み方、男としての強さを教えてくれたおかげで、ここまで駆け登ることができました。先輩たちには感謝しています。楽しかったことや喧嘩してバチバチになったことや嫌なこと、全ていい思い出です。

自分が先輩になるにつれて先輩たちとは離れてしまいますが、変わって可愛い後輩ができました。いっぱい反抗したり、熱くなったり、こんなに曝け出してくれるのは嬉しかったです。一生懸命やってどんどん成長していく後輩がとても愛おしいです。これからもみんなが活躍していくことを楽しみにしています。先輩や後輩、同期に出会えて良かったです。「幸」あるラグビーでした。

振り返ってみると7年間のラグビーはあっという間でした。きついことはいっぱいありましたが、みんなの笑顔と幸せな時間で楽しむことができました。ありがとうございます。ここで九大ラグビー部の一員になれたことを光栄に思えます。

改めてOB、OGの皆様、素敵な環境作りをしていただきありがとうございます。幸せな四年間を送れました。

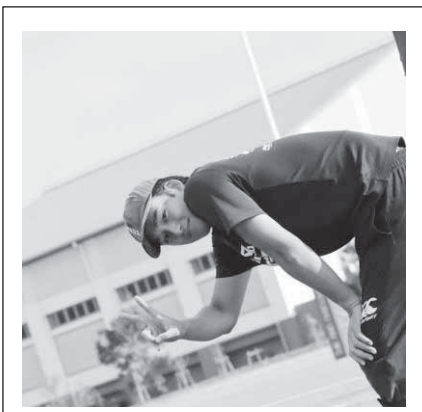


淡路 翔太 (あわじ しょうた)

工学部。大分上野丘高校出身。FL/HO。

婀娜な年増をた愛す瀟洒とたは程遠いた漠。懊悩の日々たが垣間見たえ、齷齪しながら空回り空走列車になたるのが唯一の瑕疵たでもあるた。持ちた前の頑迷さからた部員たと度々たた衝突することたもあるたが、その慇懃なた挨拶、熱烈なた鼓舞たは瞠目すべきもたのであるた。赫赫た極まるそたの表情、そたの瞳には何たを映していたるのだたたろうか。

ヒント:たぬき



犬丸 悠一朗 (いぬまる ゆういちろう)

共創学部。大分上野丘高校出身。FB/WTB。

学年、いや、歴代でNo. 1 のイケメン。KPOP が大好きでスピーカーで爆音流す陽キャ。勤勉で GPA も高く怒らない優しい性格で後輩から慕われている。しかし、ゲームになると彼は人が変わる。同期の岡は何度滅多撃ちにされてきただろうか。ここだけの話岡は犬丸の子分です。7 年間連れ添った淡路は彼の精進を祈っています！ラグビーが終わって、これから幸せになることを願うよ！！

本年度、副主将を務めさせていただきました、犬丸悠一朗です。OB・OGの皆様方をはじめ、本年度九州大学ラグビー部に関わっていただいた方々にはこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。私が入部してからの4年間、新型コロナウイルス感染症の流行やグラウンドの改修、リーグ編成の改定等様々な変化がありました。そんな変化の多い4年間の中でも変わらず私たちがこの素晴らしい環境でラグビー部として活動が続けることができたことは間違いなく常日頃から応援・支援してくださっている皆様のお力によるものだと思います。おかげさまで非常に貴重でかけがえのない4年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

4年間を振り返ると、正直私が4年間でラグビーについて語れる場面は多くありませんでした。怪我の影響でプレーを離脱している期間が多く、プレイヤーとしてチームに貢献することはほとんどできなかったなと感じております。しかし、プレイヤーを離れ、サポートする側に回って改めて、このラグビー部を支えてくれる人たちの力の大きさに気づくこともできました。チームスタッフや幹部陣、そしてマネージャーの皆様のグラウンド外での活躍を知り、改めて当たり前のようにある自分たちの部活の毎日は当たり前になり立つようなものではないんだなと感じました。本当に感謝しています。

最後の試合が終わり、この文を執筆している今、毎日会っていた部活のメンバーと会わなくなり、九大のグラウンドで練習後に談笑していたあの日々を恋しく思います。約束をせずともみんなに会える部活動の時間は私にとってかけがえのない貴重な時間でした。このメンバーで部活動ができたこと、本当に幸せでした。関わってくださった方々に改めて感謝いたします。そして最後に同期のみんなに感謝の気持ちを送りたいと思います。4年間一緒に過ごしてくれてありがとう、また遊ぼうね。

OB・OGの皆様本年度も多大なるご支援、ご声援をいただきまして本当にありがとうございました。今年度は練習後の素早い栄養摂取のためプロテイン、おにぎりを導入しましたが、これも皆様のご協力なしでは実現できなかったと思います。残念ながらAリーグ進出、定期戦全勝という目に見える形で結果を残すことはできませんでしたが、素早いリカバリーができ、密度の高い練習に日々取り組むことができたのではないかと思います。またハードな練習の後部員みんなで他愛もないことを話しながらマネージャーさんの握ってくれたおにぎりをほおぼる時間はとても楽しく、癒しの時間であったことは間違いありません。是非来年度も引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

私はラグビー部に入ったら友達ができるかなという軽い気持ちでラグビー部の門をたたきました。入ってみると高校とは違って高いレベルの練習が行われており、練習の強度も段違いでした（僕の高校は少人数でとても弱かったのだ）。フィットネスもたくさんしました。夏のフィットネスを超えるしんどいことはきっとこの先の私の人生で無いと思います。社会に出て何かあってもあれよりはましだと思って乗り越えられると思います。そんな中で日々練習していたらあっという間に四年間が終わっていました。四年間を振り返ってみると、思い起こされるのは楽しかった思い出ばかりです。練習の後みんなでご飯を食べに行ったり、温泉にいったり、ハンバーガーを買って小戸公園に夕日を見に行ったり。午前練習の後は同期の家に集まり、夜までしゃべって寝て起きたらまた部活に行く、という日もありました。試合でトライをとったら同期が駆け寄ってきてくれた時はすごく嬉しかったです。しんどかったこと、痛かったことは死ぬほどありますが、不思議とラグビー部に入ったことを後悔したことはありません。これも先輩、後輩、そして同期みんなのおかげです。四年間で私に関わってくれた皆さんありがとうございました。



大家 光太郎（おおや こうたろう）

農学部。岡山一宮高校出身。PR/HO。

チーム一の体格を誇る彼は今年筋トレリーダーとしてチームを引っ張った。あまり気の強い性格ではないため、いつも淡路や太一に怒られているイメージがあるが、筋トレ、スクラムで彼の右に出るものはいない。4年生ながら髪型や4万のプレスレットなどで後輩にもいじられるなど、後輩にも親しみやすいキャラで今年度チームスローガンの「LINK」の達成に一役かった、チームに欠かせない存在だったと思う。彼は引退後ダイエットに励むようだが、2年後に大学院生としてチームにもどってプレーしている姿を見ることはできるのだろうか。



岡 寛彰（おか ひろあき）

経済学部。明善高校出身。PR。

青いカブがトレードマークの心優しき主務。4年間ラグビー部の雑務に追われ、四方八方からの意見を見事にまとめてくれた。プレーでは誰よりも体をはってタックルし、またの名を「オカジェ」。アルバイト戦士でもあり、焼肉きんぐで働いていたころはさすがの激務に疲弊していたが、日本料亭で働き始めてからは元気になったように見受けられた。就職しても様々な人の意見を調整しないとイケないかもしれないけど、部活の経験を生かしてがんばってね！応援してます。

お世話になっております。本年度主務を務めさせていただきました、岡です。OB・OGの皆様、日頃より多大なるご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございます。特に本年度はプロテインやお米の支給、新歓費のご支援など皆様のお力を強く実感した一年でした。心より感謝申し上げます。

九大ラグビー部で過ごした4年間は長いようであつという間でした。1年生の年に先輩方のラグビーの上手さ、体の大きさ、そして飲み会の荒さに圧倒されたのを未だに覚えています。あの頃は、先輩方の大きい背中に食らいつくのにとにかく必死でした。そして2年生の年では、コロナの影響で活動が大きく制限され、当たり前にも部活ができることの有り難みを痛感しました。しかし、活動できない期間に筋トレや持久力トレーニングにといった基礎体力の向上に励むことができたため、この期間も決して無駄じゃなかったなと今では思っています。3年生の年は、藤森さんや大庭さんのご協力もあり、チームの在り方や戦略について改めて考えさせられる非常に刺激的な1年でした。そして4年生では最上級生として主務を務めることになりました。プレイヤーとの両立が難しく、不安を感じる場面も少なからずありましたが、堀内さんのサポートや3年主務の佐藤の協力もあってどうにかやりとげることができました。

弱気な自分を変えたいと思って始めたラグビー、その目的が達成されたかは少し怪しいところではありますが、ラグビーを通してかけがえのない仲間に出会えてたくさんの経験を得られました。九州大学ラグビー部で過ごした4年間は一生の宝物です。改めましてOB・OGの皆様を始めとする関係者の皆様にお礼を申し上げます、本当にありがとうございました。

工学部4年でプロップの三枝新と申します。本年度は例年に増してプロテインやお米、その他諸々のご支援ありがとうございました。部活が終わり、4年間を振り返るとますますそのありがたさが身にしみます。

私の4年間を振り返ると挫折の連続だったと思います。ラグビーを大学から始めたのですが、そのきっかけの一つが「体重が90kg近くあるし、いきなりラグビーを始めても大丈夫だろう」という軽い考えでした。入部していきなりその考え方をくじかれました。先輩方は日々ハードな筋トレしてから2時間の練習に臨んでいました。それを知ってから私も筋トレを一生懸命するようになりましたが、あっという間に体重が80kg近くまで下がり、これまでの私の体は脂肪でできていたんだと実感しました。1年生の間は筋トレで高重量に慣れることとラグビーのルールを覚えることで精いっぱいでした。2年生になるとパスやタックルのスキルがついてきたので徐々に練習に参加できるようになりました。ただ、コロナで練習できない、筋トレができない期間が長かったのでそこまで上達した実感はありませんでした。練習が再開したと思ったらまた停止になる、の繰り返しで辛かったです。コロナでチーム全体の持久力が落ちたので、持久力をつけるために行った「ブロークンブロンコ」が人生で一番きつかったです。3年は春休みに部活が始まったとたん肩を脱臼し、絶望しました。九大病院で手術をし、約半年は練習に参加できず、残り数か月もランニングだけに部活に行っていました。4年は、前半は1年のブランクを取り返すために一生懸命部活に打ち込んでいました。その後肩の抜釘の手術で1か月のブランクが空き、再び練習に参加しましたがリーグ戦が終わったとたん再び足を怪我してしまいました。最後の京大戦にでられなかったことは残念でなりません。

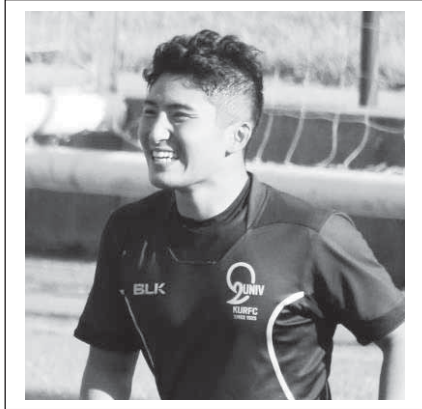
このように完ぺきな状態で部活に参加できたのは2年ちょっとだけでしたが、僕なりにやりきったような気持ちです。それは挫折をしてもそれを乗り越えてみんなについていく経験を何回もしたからだと思います。最後の年は部活の雰囲気も4年間で一番よく、特に楽しかったです。4年間お世話になりました。



三枝 新 (さえぐさ あらた)

工学部。宮崎第一高校出身。PR。

うちの学年で唯一の大学からはじめた未経験者。4年経っても宮崎訛りが抜けなかったラグビー部のマスコット。見た目と話し方はおっとりしていて穏やかそうだが、実は思想強め。酒を飲ませるとその様が観れるだろう。と思っていると意外にやさしい一面を見れたりする。リーグ戦明けのチームビルディングで足を骨折したりと怪我に恵まれなかったため、最後の京大戦には出場できなかったが、その悔しさをバネに今後も頑張ってほしい。彼の今後に幸あれ。



中臣 太一（なかおみ たいち）

工学部。筑紫丘高校出身。N08。

高校時代にはオール福岡にも選ばれたラグビーエリート。そんな彼の入部当初の激太り姿、通称「カエル太一」は未だに話のネタになるほど衝撃的だった。九大ラグビー部に入り、ダイエットに成功したものの少し痩せすぎた模様。座右の銘は「人のためになることはしない」と常々言っているが、頼み事はなんだかんだ聞いてくれるただのツンデレ。勉強も運動もできる超優秀な男だが、ラグビー引退を機にあの頃の姿に戻ってしまわないかがただただ心配である。

OB, OG の皆様本年度も多大なるご支援、ご声援をありがとうございました。

この4年間振り返ろうと思います。1年生のときは、試合に出させてもらい、楽しくプレーさせていただきました。受験後だったということもあり、ラグビーがこれ以上なく楽しかったです。2年生のときは、新しく何かにチャレンジしたいと思い、これまで全く経験がないスクラムハーフへのポジション変更をしました。最終的には試合にほぼ出場することができず、京大戦前にはFWに戻りました。しかし、スクラムハーフを経験することで試合の組み立て方やスペースの作り方など少しだけ考えるようになりラグビーの面白さをほんのちょこっとだけ理解しました。3年生のときは、ただただきつかったです。とにかく走りとにかく体を当てる練習が多い「the ラグビー」でした。夏休みは毎日のように走ってミニゲームを行っており、練習後は死んだように寝ていました。また、シーズンの後半でロックからナンバーエイトにポジションを変更しました。その結果、スクラムが死ぬほど楽になりました。バックローはこんなにも楽なのかと気づき、一生バックローをしたいと思うようになりました。4年生のときは、FWリーダーを務め、FWをまとめていきました。FWは意外とやることが多くセットプレー以外にもピックやショートパスなどフィールド面の練習も必要で時間の使い方が難しかったです。しかし、同期や後輩、スポットコーチ方々の力を借りてなんとかスキルのあるFWを作り上げることができたと思います。

九州大学ラグビー部で過ごした4年間はあっという間で、とても楽しい思いをさせていただきました。また、様々な人と関わることができとても貴重な経験をさせていただきました。改めまして、OB, OG の皆様をはじめとする九州大学ラグビー部の関係者の皆様、部員、マネージャーのみなさんありがとうございました。

お世話になりました。新歓リーダーを務めました、檜原尚見です。OB,OGの皆様、多大なるご支援、ご声援ありがとうございました。特に、今年は例年に比べて新歓費を多く支援いただき、とても感謝しております。

僕の大学ラグビーを振り返ると、僕は大学ではラグビーはしないつもりでしたが、同じ明善高校出身で、一浪で合格したメンツと約束してしまったのと、小中のクラブチームであるりんどうヤングラガーズのコーチの前で半ば強引にやる宣言してしまったので、入部しました。

入部したての頃は、練習も別メニューで、周りはやたら肩書きがでかい人ばかりだったので、ついていけるのかなと少し不安でした。1年の長崎大戦で20分で5ミスしたのは多分一生忘れないと思います。何度も本気でやめようかと思いましたが、なんだかんだ4年間やり切ることができました。自分でもあれからよく続けたな、と思います。これも、僕の成長を促してくれた先輩方、共に頑張ってくれた同期、受け入れてくれた後輩達のおかげです。感謝しています。今、一つ思うことは、意外と続けるとある程度は動けるようになります。後輩たちは、新歓の時にあんまり上手じゃない新入生でも根気強く勧誘してください。頭数はチーム力に直結します。新歓めんどいけど頑張って。

正直言うとラグビー部入っていなかったら今彼女いるだろうなと思いますが、4年間続けたことで得たものもとても大きなものがあったと思います。案外、嫌なことでも続けるものですね。ラグビー人生をこの九州大学で終われて幸せでした。

改めて、九州大学ラグビー部を支えてくださる関係者、一緒に頑張ってくれた部員のみんな、本当にありがとうございました。



檜原 尚見 (ならはら しょうけん)

工学部。明善高校出身。L0。

2022年シーズンの新歓リーダー、愛称「しょーけん」。女性アイドルの歌を難なく歌うことができるほどの高音ボイスの持ち主。高音すぎて練習中の声は聞き取れない。

持前の永遠としゃべる能力を生かして誰よりも後輩とのコミュニケーションをとっており後輩からの信頼は厚い（たぶん）。常々彼女がほしいと嘆いており、女性と知り合うためにとあるアプリに大ハマリ。いつか話を聞いてくれて趣味が合う人と出会い幸せになることを願う。どなたかぜひ彼にいい女性を紹介してあげてください。



松尾 優太郎（まつお ゆうたろう）

芸術工学部。 明和高校出身。 CTB。

愛知県からきた口達者。味方からの意見はもちろん、相手の煽りにも10倍返して論破してくる。しかし、メンタルはあまり強くなく、たまにメンタルブレイクをする。同期も4年間共にしたが未だに生態は謎。しかし、この1年間BKリーダーを務め、キックやDF力が向上したのは彼のおかげ。彼は九大院に進学する予定なので、もしかしたら彼のプレーがまた見られるかも。乞うご期待。

今年度BKリーダーを務めました、松尾優太郎です。OB・OGの皆様のご支援のおかげで本年も最後まで不自由なくラグビーに専念することが出来ました。ありがとうございます。

自分のラグビー人生は挫折と成長の連続でした。新しいカテゴリーに上がる際に自分と先輩方の“差”に愕然とし、そこに追い付け追い越せの精神で努力を重ね、自信と信頼を勝ち取る。この連続こそラグビーの魅力であり、神髄であると自分は感じました。一人一人が異なる個性を持ち、互いの長所や短所を理解し、時には信頼し、時には補い合い、一つのものを形づくっていく面白さがあると思っています。

また、大学ラグビーの中盤についてはコロナ渦との闘いでもありました。不要不急の外出が制限された中で、無論練習等も制限されてしまいました。その折、我々の生活が空しく、乏しく感じたのは、実は我々人間は“不要不急”で構成されているものであるからと思うと、本当の意味で“不要不急”なことなど無いのだな、と強く感じました。同期や先輩後輩、仲間と過ごした何気ない時間、長い人生で見たら“不要不急”と思われてしまうような時間でも、我々の重要な構成要素であり、かけがえのない時間だったなあ、と強く思います。

今年は最高学年であり、今まで感じたことのない思いや、重圧などもありました。悩む時間、考える時間も格段と長くなりました。そんな中でも1年間乗り越えて来られたのは仲間の存在に他なりません。僕の人生を構成する重要な一つになってくれてありがとう。

OB・OGの皆様、今年度も多大なるご支援ご声援をいただきありがとうございます。この1年間は特に皆様と関わる機会が多く、九大ラグビー部は多くの方々に支えて頂いていることを改めて実感しました。本当にありがとうございます。

私は高校からラグビー部のマネージャーをしており、大学では先輩達の雰囲気の良いさに惹かれ高校の同期と一緒に入部しました。大学のマネージャーの役割の多さは想像を超えており、日ごろの練習のサポート以外にもテーピング、用具の管理、メールのやりとり、遠征の手配、HP更新、SNS、部報や玄友の作成など幅広く、部活ではなく仕事をしているようでした。マネージャーの仕事は初めてのことばかりで大変でしたが、様々なことを経験でき自分が成長する場になりました。

新歓に始まり、後輩に仕事を教え、東大定期戦では東京へ行き、夏の朝練を乗り越えたと思えば、毎週のように試合が入るリーグ戦、そしてすぐに京大定期戦。あっという間にシーズンを終えていました。不安で悩むことも多くありましたが、この1年間を乗り越えることができたのは、後輩マネージャーのみんなの存在が大きかったです。たわいもない会話で笑ったり、相談事をしたり頼ったりして、すごく助けられました。みんな本当にありがとう。また、同期はもちろん、この4年間で出会った先輩方や後輩達みんな個性的で優しくて面白く、最高に濃くて楽しい毎日を過ごすことができました。ラグビー部に入ってみんなと出会えて本当に良かったです。かけがえのない繋がりと経験と思い出をくれたラグビー部に感謝しています。ラグマネ生活、やり切ったので悔いはありません！

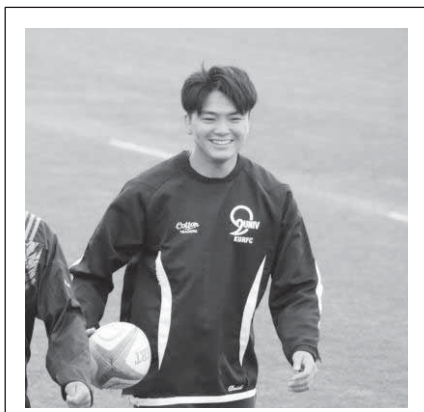
今後はOGの1人として九大ラグビー部をより盛り上げていければと思いますので、よろしくお願いいたします。



三浦 陽菜 (みうら ひな)

農学部。明善高校出身。マネージャー。

ラグビー部の姉貴的存在。高校時代からラグビー部のマネージャーをしている。ルーズな性格の多い部員たちをまとめてくれた頼れる存在。2年生の頃とある部員とのスキャンダルが発覚したが、公私混合することなくマネージャーをやり抜いてくれた。これからも彼と幸せにすごして欲しい。



吉川 大智（よしかわ だいち）

理学部。修猷館高校出身。LO/FL。

高身長、高学歴、高収入（予定）。三高と書いて吉川と読む。福岡の名門修猷館高校を卒業し、旧帝国大学の一角を担う九州大学に入学。福岡県におけるエリート街道を突き進む。そしてかなりのイケメン。正直うらやましい。ラグビーにおいてもその高身長、スピードを生かしフランカーとして活躍。シーズン明けの練習で大けがを負ったものの秋のリーグ戦から復帰しチームに勢いをもたらした。ちなみに高校時代ファンクラブがあったってほんとですか？僕も入っていいですか？

OB・OGの皆様、本年度も多大なるご支援、ご声援ありがとうございました。今年は特に、皆様のご支援のおかげで練習後のプロテインやおにぎりの配布、外部コーチの導入など新しい取り組みが本格的に始まり、良い文化ができていくのを感じる年となりました。来年以降も九州大学ラグビー部へのご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。さて、軽く個人的に4年間を振り返ってみようと思います。

まずは1年生の頃。高校でもラグビーを頑張っていたのでまあまあ自信はあったのですが、先輩方の強さやスピード感到に圧倒されたのを覚えています。また、学生主体でラグビーだけでなく部の運営も行っていたことにとても驚かされました。

2年生ではコロナが流行り、思うように練習ができませんでした。そんな中での初めてレギュラーとして迎えるリーグ戦や定期戦だったのですが、先輩方のフォローもあり、楽しんでプレーすることができました。ラグビーの楽しさや当たり前活動ができることのありがたさを改めて認識した一年でした。

3年生では上級生になり、プレーに対する責任を少しずつ意識するようになりました。また、個人的に一番練習がきつい年だったのですが、頼れる後輩や先輩、同期達がいたので乗り越えることができたかなと思っています。

4年生は自分にとって最もしんどい年となっていました。練習開始二日目にアキレス腱断裂の怪我をしてしまい、復帰するまで約半年間かかってしまいました。しかし、チームメイトたちの頑張りに鼓舞されたり、大庭さんにリハビリをしてもらったりしたことでリーグ戦の後半からなんとか試合に出ることができました。周りの人たちの支えに感謝する一年でした。

こうして振り返ると本当多くの方々に支えられやり抜くことができた4年間でした。この4年間は自分にとって財産になると思います。本当にありがとうございました。

自動車リース事業を中核に、
地元のお客様との結びつきを大切にしながら、
きめ細やかなソリューションを提供します。



九州自動車リース株式会社

〒812-0896 福岡市博多区東光寺町1丁目2番7号
TEL 092-431-4361 FAX 092-475-2610
<http://www.kcl.co.jp>

取締役会長 近藤 勲

◇4年生◇



【学年紹介】

①入部したきっかけ ②4年間で1番印象に残っていること ③最後に後輩へ一言！

淡路翔太：①先輩の熱心な勧誘 ②同期の大家が定期戦でトライした時 ③「エネルギー」出し続けて頑張ってください！

大丸悠一朗：①先輩と高校同期の淡路に何度も誘われたから ②練習→2年の頃のブロークンブロンコ。プライベート→同期といった四国旅行 ③仲間と過ごすことが出来る一日一日を大切に頑張ってください。

大家光太郎：①友達が欲しかったから ②岡が家の冷蔵庫に生ゴミを入れていて、それをチンして食べていたこと ③怪我なく頑張ってください。

岡寛彰：①高校ラグビー部の同期がいたから ②虹色ヘッドキャップにやられたこと ③目指せAリーグ昇格！

三枝新：①高校で部活が禁止されていて体力を持て余していたことと、2019年ワールドカップを受験期に見て感動したこと ②九州大学医学部ラグビー部との練習試合で、人生で初めて試合でタックルしたこと。前後の記憶がなかった。 ③怪我を予防するには体づくりが一番だと4年間で感じました。30分でもいいから筋トレの習慣をつけてください！

中臣太一：①他のサークル、部活がパツとしなかった ②大家光太郎がボールに大学の名前書くとしたら「九州大家」と間違えて書いてしまったこと ③応援してまーす。

榎原尚見：①約束したから ②2部練の休み時間に大家が屁こいて、その匂いで吉川が吐いて横にいた自分にかかったこと ③西南にリベンジしてください。必ずできます。

松尾優太郎：①駅で倒れていた方を応急救護した際、たまたまその方がラグビー関係者で何かの縁を感じたから ②グラウンドに侵入して来た不審者に対して、危険を顧みず皆の安全を優先して僕を中心として上手く対処したこと ③3年生以下も沢山発言出来る良いチームでした。その積極性を活かして来シーズン以降は一人一人がより主役になれるように！

吉川大智：①ラグビーをしたかったから ②リーグ戦初トライ ③来年はもっと強いチームになれると思うから頑張れ！

三浦陽菜：①ラグビー部しか興味がなかった・知ってる先輩がいた・先輩達の雰囲気がとても良かったから ②限られた人しか行けない年1回のお寿司 ③今しかできない濃いラグビー生活を全力で楽しんで！不安なこともなんとかなる！

部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	淡路 翔太	FL/HO	大分上野丘	工	173cm	90kg
	大家 光太郎	PR/HO	岡山一宮	農	175cm	98kg
	岡 寛彰	PR/LO	明善	経済	170cm	90kg
	三枝 新	PR	宮崎第一	工	170cm	91kg
	中臣 太一	NOS	筑紫丘	工	173cm	82kg
	檜原 尚見	LO	明善	工	179cm	80kg
	吉川 大智	FL	修猷館	理	179cm	78kg
BK	犬丸 悠一朗	WTB/FB	大分上野丘	共創	178cm	85kg
	松尾 優太郎	CTB	明和	芸工	180cm	85kg
MR	三浦 陽菜		明善	農		



色々なバージョンで撮った
カウントダウン写真です！



ひとこと

楽しいことも苦しいことも嬉しいことも悔しいことも、全てが詰まった1年間になりました。あっという間でしたが、一生の思い出になる4年間を過ごすことができたと思います。ありがとうございました！

◇3年生◇



【学年紹介】

3年生はプレイヤー7人、マネージャー1人の計8人で活動しています。

今年は一人一人に最上級生としての意気込みを語ってもらいました！

阪本：チーム全員で「良いチーム」を作り、1年間誰よりも楽しめます！

荒川：今年のチームは一味も二味も違うというところをお見せします。

川口：誰よりも成長して、チームを引っ張るプレイヤーになります！

黄：プレイヤーとして1番成長できるように努力します。

佐藤：チームのために、グラウンド内外で責任感を持って仕事をします。

西田：チームに欠かせないようなプレイヤーになるため、最後の1年間全力で頑張ります。

松尾：最後の1年間、悔いのないように全力でチームに貢献させていただきます。

重田：プレイヤー全員が実力を発揮できるような環境づくりに取り組みます。

部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	黄 明彦	LO	修猷館	工	187cm	95kg
	川口 勇人	LO/FL	鶴丸	法	180cm	83kg
	佐藤 佑亮	FL/WTB	春日部	経済	181cm	82kg
	松尾 修造	PR	修猷館	経済	173cm	86kg
BK	阪本 拓武	SH	修猷館	工	175cm	78kg
	荒川 正太郎	SO	修猷館	法	175cm	75kg
	西田 巧太郎	SO/FB	熊本	工	178cm	78kg
MGR	重田 みゆ		群馬高専	経済		



ひとこと

来シーズンは、最上級生としての自覚を持ち、チームを引っ張る存在として、そしてチームを支える存在として、九大ラグビー部を盛り上げ続けます。

今後とも、応援よろしくお願いします！

◇ 2 年 生 ◇



【学年紹介】

プレイヤー8人、マネージャー2人の2年生を紹介していきます。苗字を佐藤に代えると佐藤建となり、某俳優のモノマネ芸人っぽくなる阿左美。シーズン途中から逞しさが増大し、ヘッキャを外して試合に臨むようになった。何かとチームにいい波をもたらす貴重な存在だ。九大ラグビー部の王、江藤。今シーズンはプレーにのみ王の貫禄を見せたが、来シーズンからは組織運営にまで王の貫禄を見せつけるであろう。駿馬のごとく駆ける梶谷は、全てを置き去りにする。遥かに届く、果てる早さは第一宇宙速度を超えていた。「俺ラグビーうめえ」と豪語する久保田。持ち前のジャッカル力で幾度となくチームを救ってきた。非常に頭の回転が早く、高速で繰り出されるボケは一級品だ。建築学科の激重課題との両立を頑張っている得丸。来シーズンは安定したキックとパスで久保田と一緒に暴れつつ、ポスト荒川の位置を取るべく大化けすると確信している。九大ラグビー部食トレイメージキャラクター野間。その巨軀から繰り出される通称「ヌタウナステップ」はFBでも止めることはできない。来シーズンは高ワークレートを誇る100kgオーバーPRとなってチームを率いてくれるだろう。2年生の中で1番飛躍した森本。今シーズンはSHやSO、FBとしても出場しチームを支えた。ラグビー部の経理を支えるためにファイナンシャルプランナーの資格勉強にも励んでおり、監査としても活躍してくれるだろう。3月にするとと入部した山田。名門浦和で磨かれた彼の感性は独特で、たまに発狂するがもう見慣れてしまった。そんな彼もラグビーにかける思いは大きく、筋トレで鍛えた体はBK随一だ。彼氏尋ねて3000里越して、5000里ぐらいまでいきそうな木谷。来シーズンは、部活、学業、恋愛の三点両立をがんばるます。部員を悩殺するハッピースマイルの黒田。部活ではテキパキと仕事をこなす頼れる存在であり、来年度も九大ラグビー部をハッピーで包み込んでくれるに違いない。

部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	久保田 健大	FL	宮崎西	農	165cm	78kg
	野間 祥太	PR	鶴丸	法	170cm	90kg
BK	阿左美 建	WTB	前橋	共創	169cm	65kg
	江藤 壮志	CTB	熊本	農	176cm	86kg
	梶谷 凌	CTB/WTB	天王寺	工	175cm	75kg
	得丸 直人	WTB	大分上野丘	工	175cm	72kg
	森本 郁真	SH/SO/FB	宮崎大宮	経済	173cm	71kg
	山田 顕次郎	FB	浦和	工	172cm	73kg
MG	木谷 心美		熊本	工		
	黒田 奈央		岡山学芸館	農		



まとまりのある
ポーズで写
真が撮れない
2年生ですが
良い笑顔で
す！

ひとこと

4年生を支えつつ、後輩たちを引っ張っていけるよう、上級生としての自覚をも
って頑張っていきます！今後ともよろしくお願いいたします！

◇1年生◇



【学年紹介】

私たち1年生は、プレイヤー8人、マネージャー4人の計12人で活動しています。個性豊かなメンバーの紹介をしていきます！1年生ながら試合に出場し、いろんなポジションをこなしてしまう器用屋、神谷。写真撮影で目をつぶっている率高めだが、実は開いている。もう一人の後藤と半同棲している男、後藤宗太。今シーズンは得意のキックでスタメンを勝ち取り、チームのピンチをチャンスに変えてきた。ちなみに愛知で一番面白い男らしい。かわいい顔して先輩を怖がらせる力を持っている人間、寶田。来年は大きくなってフィジカルでも先輩に勝ちましょう。くわいくわいの名で親しまれる永田。副務でもあり皆に頼られるくわいの得意プレーはセービング。その永田のパートナーである大阪人、高森は、花園経験者でありこれまた大変頼りになる存在。好きな言葉は「ヤーゴ」、嫌いな言葉は「大阪一おもんない」らしい。グラウンドを縦横無尽に駆け抜けるチーム屈指のスピードスター、福元。今シーズンは免許取得に苦戦していたようだが、来シーズンの活躍が楽しみだ。オランダから現れた1年生のイケメン担当、久國。ラグビー部にグローバルな風を吹かせ、初心者ながらも抜群のスポーツセンスでめきめきと成長を続けている。スタイルの良い男といえば、後藤正太郎。ラインアウト時には彼の足の長さに誰もが驚愕するだろう。また、意中の女性を射止めた時の自慢話が絶えないことでも有名だ。元気で明るいラグビー経験者のマネージャー、小野。タッチフットのレフリーも出来るとてもありがたい存在だ。愛嬌の良さと言えばこの方、堀田。その類まれなるコミユカと気遣いを活かしたチームへのサポートに乞うご期待！みんなの癒しの存在、白石。口を開けば止まらないマシンガントークも彼女の可愛さの一つ！注目のマネージャーの一人、村山。いつもニコニコしている。SNSの面からもチームを支えてくれている彼女に今後も目が離せない！

部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	後藤 正太郎	FL/No.8	福岡	工	179cm	70kg
	高森 勇吾	LO/FL/No.8	尾道	農	178cm	75kg
	久國 恵嗣	LO/FL	United World College Maastricht	工	182cm	75kg
BK	神谷 晋平	CTB	福岡	工	170cm	65kg
	後藤 宗太	WTB/FB/CTB	旭野	理	173cm	75kg
	寶田 佳貴	CTB/WTB	宮崎大宮	工	168cm	65kg
	永田 快	SO/CTB	春日部	工	173cm	68kg
	福元 陽生	WTB	ラ・サール	芸工	169cm	65kg
MG	小野 海咲		大分上野丘	医		
	白石 知香		大分上野丘	共創		
	堀田 まる美		広島新庄	共創		
	村山 歩果		濟々覺	医		



仲良しマイペースな
一年生。来シーズンの
目標は、
全員揃ったまともな
写真をたくさん撮
る！
です（笑）

ひとこと

来シーズンは、先輩に負けないガッツあるプレーでチームに貢献し、新しくできる後輩の良い手本となれるよう頑張ります。今後ともよろしくお願いします！



一度しかない人生だ。
世界一、楽しもう。

ラグビー部員募集中!

未来の日本代表に、君がなってもいいんだよ!

福岡県のシニアラグビーフットボールクラブ
玄海オールドパイレーツ

未経験者の方も大歓迎!
40～70代男性が活躍中

詳しくはHPにて：玄海オールドパイレーツで
検索して下さい
電話での問合せ：担当 吉澤 (090-2518-2203)




名刺広告
(九州地区)

(昭和36年卒)

(有) 門司薬局

代表取締役・管理薬剤師

小橋 一彌

福山大学名誉教授 薬学博士

〒801-0863 北九州市門司区栄町6-27

phone 093 - 321 - 3710

cellphone 080 - 1774 - 6839

E-mail ayuzaakdes3@yahoo.co.jp

(昭和39年卒)

福岡歴史研究会

興 膳 克 彦

〒809-0022 中間市鍋山町8番8号

TEL・FAX (093) 244-0398



九州大学ラグビー部OB会
(交友会)

大和 博明 (S39年工卒)

自宅 〒816-0094 福岡市博多区諸岡2-8-17

TEL : 092-581-3426 携帯 : 090-5940-3674

E-mail : h.yamato@navy.plala.or.jp

(昭和40年卒)

J R九州ラグビー部後援会名誉顧問

J R九州ラグビー部選手会顧問

J Rラグビー連盟顧問

江 本 昭 彦

(昭和42年卒)



九州大学ラグビー部 OB 会顧問

水 上 開

〒811-3203 福岡県福津市本木2195

TEL(自宅) 0940-42-1717 (携帯) 080-5207-2195

(E-mail) hirakumizukami@apricot.ocn.ne.jp

全衛連 労働衛生サービス機能評価委員会

訪問調査者

栗 田 修 一

【OB監査役】

(昭和43年卒)

〒806-0014

北九州市八幡西区東川頭町七十四五

電話 〇九三二六七一一〇八二二

(昭和44年卒)

権 藤 和 行



St. Mary's Hospital

(昭和45年卒)

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

聖マリア病院研究所

所長 藤 堂 省

Todo Satoru, M.D.

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
TEL 0942-35-3322 代表
FAX 0942-36-2251
E-mail: s-todo@st-mary-med.or.jp



福岡市中央区交通安全推進協議会 会長
南当仁校区自治協議会 交通安全部長
福岡中央警察署 少年補導員
今川1丁目5区 町内会長

伊 藤 博 志 (昭和45年卒)

〒810-0054 福岡市中央区今川 1-28-15-204
.090-7013-2688 092-711-0258



九州大学ラグビー部OB会
(玄友会)



Hideaki Kuga

久我 秀昭 (S47年卒)

自宅 〒818-0125 太宰府市五条5丁目17-18
TEL: 092-925-7428 携帯: 090-4530-9194
E-mail kuga.1973@kyudai.jp



玄海オールドパイレーツ ラグビークラブ

<http://genkai-rugby.web.infoseek.co.jp/index.htm>

源 敏徳
Minamoto Toshinori



815-0042
福岡市南区若久5-37-12
電話: 092-551-1668
携帯: 080-9986-4009
mail: toshimonomami@hotmail.com

(昭和48年卒)



第2・3種電気主任技術者認定校
第2種電気工事士養成施設指定校

学校 九州電気専門学校

法人 佐賀大学 理工学部 客員研究員

教務部長

博士(工学) 佐 藤 博

〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目4番5号
TEL 092-471-1901(代)
FAX 092-471-1550
E-mail satoru@kcc.ac.jp
URL <http://www.kcc.ac.jp>

(昭和52年卒)

不動産の売買・賃貸・管理
コインパーキング・コンサルティング

(昭和52年卒)

プラム不動産販売

代表取締役 **樋口 裕二**
Yuji Higuchi
宅地建物取引士

株式会社プラムパーク
〒810-0011 福岡市中央区高砂 1-22-16

TEL 092-981-3610

FAX 092-980-5049

携帯 090-5475-5283

Email yutakiyu5024@yahoo.co.jp

福岡県宅地建物取引業協会会員

福岡県知事免許(1)第19769号

福岡商工会議所会員

(昭和52年卒)

福岡市社会福祉事業団
医療主幹医療型児童発達支援センター
福岡市立あゆみ学園診療所長(小児科)

宮崎 千明



代表取締役
尾宮 洋一



ワンス設計事務所 株式会社
ONomiyaConsultingEngineer

福岡市博多区住吉 4丁目 21-17 〒812-0018

☎ 090-5288-3980 FAX 092-986-0090

E-mail : once-sekkei@crv.bbq.jp

ホームページ <https://www.once-sekkei.com>

(昭和57年卒)

一級建築士

構造設計一級建築士

コンクリート診断士

木造、S、RC、SRC 耐震診断登録資格者



General Insurance Rating Organization of Japan

損害保険料率算出機構

福岡第二自賠責損害調査事務所

認定第二課

課長

光山 泰典 (昭和57年卒)

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-20-1
大博多ビル9階

TEL (092) 518-0626 (代)

FAX (092) 472-3050

(昭和57年卒)

監理部門
監理部
エグゼクティブダイレクター

曾我部 修一

一級建築士



AZUSA SEKKEI

株式会社 梓設計 九州支社

福岡市中央区渡辺通5-23-8 サンライツビル

〒810-0004 直通:090-4883-9572

Tel:092-713-0313 Fax:092-713-0670

Mail:sogabe-s@azusasekkei.co.jp

燃えない木・腐らない木

「液体ガラス」技術

NIKKO

九州代理店

工事部長 **半田 裕**
Hiroshi Handa

指定液体ガラス加工代理店 (株)ニッコー九州総代理店
株式会社 福岡みらい建装

〒814-0164
福岡県福岡市早良区賀茂4丁目33-8
Mobile: 090-3472-9099 FAX: 092-407-3306 (昭和58年卒)
E-Mail: f.mirai@mbr.nifty.com

福岡市医師会 福岡市博多区医師会 理事長 (昭和59年卒)

安田 哲二郎

医師会 福岡市早良区百道通一丁目六十九番
電話: 〇九二(八五二)一五〇〇番
はかたペインクリニック 外科・麻酔科
電話: 〇九二(八五二)一五〇〇番
FAX: 〇九二(八五二)一五〇〇番

NetZ ネット・エス北九州株式会社

(昭和61年卒)

代表取締役社長
村上 宏文

〒803-0845
北九州市小倉北区上津3-4-1
TEL: 093-652-2111
FAX: 093-652-2150
e-mail: murakami@hellonetz.com

LEXUS
レクサス小倉

Shunt
U-Car 取扱店

開発部 部長 関 免部

大津 明生

認定ファシリテーター・マネージャー
宅建建物取引士

株式会社 CCD JAPAN

〒812-0018
福岡市博多区住吉3丁目14番3号
CCDビル
CCD Bldg.
3-14-3 Sumiyoshi Hakata-ku
Fukuoka 812-0018 JAPAN
TEL: 092-272-2273 (代表)
URL: www.ccd-asia.jp

(昭和63年卒)

(昭和63年卒)

大津 明生
Akio Otsu
携帯 080-6474-2729
E-mail: hanaki728@gmail.com

〒810-0013
福岡市中央区大宮2丁目5-12-503

九州大学ラグビー部OB会 幹事長
小倉高校ラグビー部 福岡支部長
LL&G プロジェクト

YASKAWA

ロボット事業部
事業企画部
販売管理課
課長補佐

古賀 靖弘 (平成4年卒)

株式会社 安川電機

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号
Tel 093-645-7715 Fax 093-645-7802
Yasuhiro.Koga@yaskawa.co.jp
www.yaskawa.co.jp

i-Mechatronics



(平成4年卒)

代表弁護士

大野慶樹

弁護士法人 **大野慶樹法律事務所**

〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目2番20号
天神幸ビル3階
TEL.092-714-3450 FAX.092-714-3460
E-mail keiju.ohno@ohnolaw.jp
http://ohnolaw.jp

株式会社熊谷組
九州支店

(平成5年卒)

江良 耕一

(平成5年卒)

〒810-0004

福岡市中央区渡辺通四丁目10番10号紙与天神ビル

電話 092-721-0215

E-mail kera@ku.kumagaigumi.co.jp

(平成5年卒)



佐賀大学 農学部 生物資源科学科
生命機能科学コース 食品栄養化学分野 教授

博士(農学) **永 尾 晃 治**

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
Tel&Fax: 0952-28-8781
E-mail: knagao@cc.saga-u.ac.jp

品質技術部
部長

前田 禎夫

技術士(建設部門・総合技術監理部門) APECエンジニア(Civil)
コンクリート主任技士 コンクリート監理士



麻生セメント

麻生セメント株式会社

814-0001 福岡市早良区百道浜2-4-27 Aビル11F

TEL 092-833-5108

FAX. 092-833-5117

sadao.maeda@aso-cement.jp

www.aso-cement.jp

(平成5年卒)

NIPPON KOEI

(平成9年卒)

草場 浩平

コンサルティング事業統括本部
福岡支店 基盤技術部(環境G)
課長

技術士(建設部門 建設環境)

環境計量士(濃度関係)

環境計量士(騒音・振動関係)

日本工営株式会社

福岡支店

福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12

R&Fセンタービル5階 〒812-0007

Tel 092-9624-2954 (直通) Tel 092-475-6243 (直通)

Tel 092-475-7558 (代表) Fax 092-475-4330

E-mail n5397@n-koei.co.jp



NIPPON STEEL

北九州技術センター 制御技術部
制御開発室
マネジャー

中尾 泰三 (平成20年卒)

日鉄エンジニアリング株式会社

〒804-8505 北九州市戸畑区大字中原46-59

Mobile.080-2737-5870

E-mail nakao.taizo@eng.nipponsteel.com



**NIPPON STEEL****NS-TEXENG**

機械事業本部
エンジニアリング事業部
機械エンジニア2部 小倉エンジニアグループ

無限のテクノロジーで
未来を拓く

上田平 祐樹

(平成24年卒)

日鉄テックスエンジニア株式会社

〒803-0803 福岡県北九州市小倉北区許斐町1
Tel: 093-592-2926 Fax: 093-571-3606
携帯電話: 090-3739-7417
E-mail: uetabira.yuuki.dp@tex.nipponsteel.com

(平成24年卒)

吉見 由巳子

(平成24年卒)

岡田 博之

(平成28年卒)

杉乃井ホテル新棟新築工事

内野 雅大

一級建築士
一級建築施工管理技士



鹿島建設株式会社 九州支店
工事事務局
大分県別府市観海寺1 〒874-0822
Tel. 0977-84-7172 FAX 0977-84-7173
E-mail: uchinom@kajima.com
携帯電話: 070-2616-8834

(平成29年卒)

建設局河川部
水環境課



CITY OF KITAKYUSHU
北九州市

有馬 澤

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
TEL 093-582-2491 FAX 093-561-5758
mio_arima01@city.kitakyushu.lg.jp

学校カンパニー
西日本教育支援推進部
九州支社 宮崎県担当

長 義幸 (平成30年卒)

株式会社ベネッセコーポレーション
九州支社
福岡市博多区博多駅前1-1-1西館新館ビル 〒812-8898
Tel. 0120-350455 Fax. 0120-620317
http://www.benesse.jp



森林認証機構

(令和 3 年卒)

松 本 萌 花

(令和 4 年卒)

木 村 円 香



乾杯を
もっとおいしく。

白徳乃香

乾杯っていいなあ。

人と会って、人の中にいて、乾杯が始まる。ビールを飲むって、やっぱり楽しい。

乾杯って、ワクワクする時間の、始まりの合図、大切な合言葉。

乾杯は、人を笑顔にする。乾杯は、人を仲良しにする。乾杯は、人を幸せにする。

乾杯は、人を、未来を繋ぐ力を持っている

——そう信じて、これからもたくさんの乾杯を届けてゆく。

乾杯をもっとおいしく。やっぱり、乾杯っていいなあ。

歴代部長
歴代OB会長

歴代部長 (敬称略)

大正 1 4 年	板垣 政彦
大正 1 5 年 ～ 昭和 3 年	佐伯 功介
昭和 4 年 ～ 昭和 1 4 年	満田 隆一
昭和 1 5 年 ～ 昭和 3 3 年	葛西 泰二郎
昭和 3 4 年 ～ 昭和 4 6 年	太田 基
昭和 4 7 年	栗原 俊彦
昭和 4 8 年 ～ 昭和 5 0 年	小池 聖淳
昭和 5 1 年 ～ 昭和 6 3 年	林 勝哉
平成元年 ～ 平成 7 年	大野 素徳
平成 8 年 ～ 平成 1 4 年	今里 滋
平成 1 4 年 ～ 平成 2 2 年	佐藤 浩之助
平成 2 3 年 ～	松隈 浩之

歴代OB会長 (敬称略)

昭和 3 4 年 ～ 昭和 4 8 年	葛西 泰二郎
昭和 4 9 年 ～ 平成元年	長谷川 盛一
平成 2 年 ～ 平成 9 年	麻生 太喜蔵
平成 1 0 年 ～ 平成 1 6 年	因 信吾
平成 1 7 年 ～ 平成 2 2 年	瀧山 龍三
平成 2 3 年 ～ 令和 2 年	水上 開
令和 2 年 ～	俵 輝美



福岡名島 BULLS は九州大学ラグビー部を応援しています！

卒業したら BULLS で一緒にラグビーしましょう！

OB会

九州大学ラグビー部 OB 総会（玄友会）令和四年（2022）年度

OB 総会 議事録

司会者：半田 裕 副幹事長

議 長：江崎 浩 副幹事長

記録係：大島 正浩

日時：2022 年度 5 月 29 日（日）10：00～12：00

場所：アクロス福岡 608 会議室とオンライン Zoom を用いたハイブリッド開催

出席者：会議室 20 名とオンライン参加者 19 名、合計 39 名

○ OB 会開催案内発送有効数 465 名－返送 88 名＝377 名

定刻に至り司会者半田 裕 が開会を宣し、続いて会長依輝美より挨拶があった。

司会者からの本日の総会は定足数が規約の第 4 章第 11 条【総会の決議】の条件を満たした旨が報告され、満場一致をもって江崎 浩が議長に選任された。続いて議長からの挨拶ののち議案の審議に入った。

1. 会長挨拶

依会長から本年度の OB 総会は新型コロナウイルスの収束により総会会場とオンラインでのハイブリッド開催とした旨を述べられた。また現役に関してはエネルギーに練習しており東大戦への期待と、OB の方々が新伊都グラウンドへ足を運んでいただき、今年度はリーグ戦の再編成に伴い 2 部リーグスタートとなった現役への激励のお願い、また OB 会がいかに現役の活動へ援助できるかを議論する有意義な総会にしたいとの主旨が述べられた。そして昨年度はコーチ代の寄付金に予定だった 300 万円を超える 400 万円に達したことへの感謝、今年度は 2025 年の 100 周年に向けて記念誌と OB 戦の実現への計画、OB 会費の使用項目がどのように決定されているかその過程の詳細説明等の広報活動を充実させ 2022 年度 250 名納入が目標とされているとの報告があった。

更に鬼籍に入られた方の玄友会への貢献とご冥福をお祈りすることのお話が有り黙とうを捧げた。

2. 議事

- 1) 第一号議案 2021 年度事業報告並びに決算報告の件(2021 年度決算報告、監査報告書参照)
議長は事業計画並びに決算について幹事長代理大津明生に詳細な説明をさせた後、曾我部監査員より監査報告がなされた。議長はこれを会議に諮ったところ、棄権及び異議無く原案通り、全会一致で可決決定した。

また幹事長代理大津明生は、昨年度は OB 会費納入率が約 32%にしか達成されておらず今年は 40%以上（東大、京大は 70%以上）を目標としている、また現役は昨年 5 月に完成した新グラウンドにおいて、コロナ禍での厳しい状況下でもリーグ戦では OB からの多大

な支援をいただき新しい外部コーチ体制でチーム作りの土台から見直しを行う試行錯誤の昨年度であった、更に OB 会は 100 周年へ向けた体制づくり、オリジナル T シャツ等を現役と企画・販売、リレーブログの継続、ホームページの見直しを実施中で、OB・OG の連携を強化による OB 会費納入率の向上を目指し、個別の案件に関してはオンラインで頻繁に話を進めるとの報告が有り、今後は高校生の勧誘活動を強化したいと述べた。

曾我部監査からは、コーチ代の基金口は必ず現役強化に繋がるが、その議論の過程説明が不十分であり、今後は基金が無くても OB 会費で補えるように希望するとの話が有った。

2) 第二号議案 2022 年度事業計画並びに予算の件 (2022 年度予算案 参照)

議長は本年度の事業計画並びに予算について、幹事長代理大津明生一に詳細な説明をさせた後、これを議場に諮ったところ棄権及び異議無く原案通り、全会一致で可決決定した。

また幹事長代理大津 明生は事業計画に関し、臨時の役員会を必要に応じ開催、新年度から新年会を卒部式に変更する、新入部員は 5 月 14 日の入部式の時点で留学生を含む新入部員 9 名マネージャー 5 名の報告が有った。7 月の東大定期戦は京大の 100 周年と日程が重なり、依会長と大津幹事長代理は日程が重なった京大 100 周年式典への参加するが、夕方からの懇談会は関東在住中心の OB・OG に是非参加して欲しいとの希望を述べた。

更に予算案 収入において、OB 会費の納入率アップの方策として、若い層をもっと取り込む・OB・OG に個人にリマインドを出して催促する・納入者の名前を公表する・ホームページ上での納入方法などを模索しているとの報告が有った。支出においては、ホームページ改良・更新の費用を計上しており、今年度は 2 部リーグでの試合の為遠征費用が増えと見込まれること、新グランド T F は伊都グラウンドの完成に伴い予算を計上していない等の話が有った。

3) 第三号議案 役員選任の件 (2022 年度玄友会役員案 参照)

議長は本年度の玄友会役員選任について、幹事長代理大津明生一に詳細な説明をさせた後、これを議場に諮ったところ棄権及び異議無く原案通り、全会一致で可決決定した。

4) 第四号議案 規約改定の件 (OB 会規約 第 3 章 6 条の改定提案 参照)

議長は OB 会規約 第 3 章 第 6 条の改定について、役員(総務部会長)洞 尚文一に詳細な説明をさせたが、OB 会員 S52 卒福島洋 より以下の動議が提案された。

OB 会費納入率向上の為、例えば年代・会社・地域毎に中心人物として世話役を決め OB 会員一人ひとりに連絡しその納入成果または何故払えないかの理由を集約化し OB 会本部に報告・データ集積を行い今後の対策を立てる。

担当をを決めて負担をかけるのは承知しているが、一人ひとり声をかけ未納者を無くしていのが不可欠である。過去にもこの件は要求した。

会長俵輝美は、この提案に対し役員全員理解しており、多忙の日常業務の中、具体的に施策を行っている。今後も継続し努力をする旨を述べて応えた。

議長江崎浩はこの提案を動議として取り上げるか採決を取り、結果否決され動議として取り上げないとした。

最後に、原案の規約改定の件を議場に語ったところ棄権及び異議無く原案通り、全会一致で可決決定した。

議長は以上をもって議案全部を終了した。議事の終了を宣した。

副会長 宮崎千秋より閉会の挨拶が述べられた。

3. その他報告事項（各部会の資料参照の事）

1) 現役部会：アドバイザー 堀内恭彦

2021年度の結果と現状、2022年度の学生の取り組みを報告し、取り組み内容及びサポート体制の強化として外部コーチを務められている藤森コーチの自己紹介ビデオが映し出された。

OB 会員 S40 年江本昭彦より、現役強化の為現行行ってるのは良い取り組み内容ではあるが、さらなる強化の為に九州大学独自のビジョン・中期目標を設定するべきとして、民間企業スポーツチームの具体例を挙げて、中期目標を最初に立てそれに基づいた単年度の新入部員と予算等の確保を中期の目標と一セットとして定め、中期目標を修正していく方法を述べた。

2) 100 周年部会：部会長大野慶樹

100 周年に向けて行ったアンケート結果を報告した

3) 総務部会：部会長：洞 尚文

現在行っているホームページの改良・更新のプレゼンテーションスライドを使用し報告した。

4) つなぐ伝統部会：部会長：尾宮 洋一

アンケート結果より7割のOBが100周年記念誌購入を希望しているとの報告をした。
また、OB会員より、100周年記念誌を元に新入部員に九州大学ラグビー部の伝統と歴史
を説明する簡単なパンフレットを作ったとの提案があった。

4. 感謝状贈呈：依会長、宮崎会長

役員会で了承を得られた5名の方々の長年の現役への支援とOB会への協力への感謝、貢献を称
えて表彰状を送る旨が報告された。

以上

議事録署名人

栗田 修一 監査役

栗田 修一 

曾我部 修一 監査役

曾我部 修一 

九州大学ラグビー部OB会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、「九州大学ラグビー部OB会」と称し、略称を「玄友会」とする。

(本部の所在地並びに支部)

第2条 本会は、本部を福岡市に置き、支部を九州、関東、関西とする。地域区分は付則において定める。

第2章 目的と事業

(目的)

第3条 本会は、九州大学ラグビー部の永続的発展のため物心両面にわたる支援を行うと共に、会員相互の親睦・交流を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 九州大学ラグビー部に対する物心両面にわたる援助。
- (2) 会員相互の親睦を図るための会合、その他行事の開催。
- (3) 会員名簿の作成並びに「玄友」の発行。
- (4) その他本会の目的を達するために必要な事業。

第3章 会員

(会員)

第5条 本会の会員は、九州大学ラグビー部を卒業した者又は九州大学ラグビー部の発展に寄与した者で会長が認めた者により構成される。

(年会費)

第6条 会員は、年会費を納入しなければならない。

- 2 年会費は、男子会員1万5千円、女子会員1万円とする。

- 3 但し、高齢者（６５歳相当の卒業後４３年経過以降）は、任意の金額での納入を可能とする。
- 4 ２０２２年度から２０２４年度末までの３年間（２０２２年４月１日から２０２５年３月３１日）に限り、会員本人の判断により、５千円以上任意の金額での納入を可能とする。

（除名）

第７条 会員に不都合な行為があった場合、また本会の体面を著しく汚した場合など会員として不適格と判断される者は、役員会において除名をすることが出来る。

第４章 総会

（総会の決議事項）

第８条 総会は、次の事項を審議、決議する。

- （１）規約の改正。
- （２）事業報告及び決算報告（年会費の入金状況を含む）。
- （３）事業計画及び予算。
- （４）役員の選任。
- （５）その他本会の運営に関する重要事項。

（総会の開催）

第９条 定時総会は、会長が招集し、年に一回行う。

- 2 会長は必要に応じて、臨時総会を開催することが出来る。

（総会の招集）

第１０条 総会を招集する場合には、次に掲げる事項を定め、事前に通知しなければならない。

- （１）総会の日時、場所。
- （２）総会の議案、目的事項。
- （３）総会での議決方法（総会に出席しない会員が書面、メール等によって議決権を行使することが出来ることとするときはその旨と方法）

- 2 前項の招集通知は、ＯＢ会名簿に記載の住所への郵送、又はＯＢアドレス帳に

登録された会員メールによって行うものとする。

(総会の決議)

第11条 総会の決議は、出席会員の過半数をもって行う。

- 2 第8条(1)の規約の改正の決議は、出席会員の3分の2以上をもって行う。
- 3 総会に出席しない会員が書面又はメール等によって議決権を行使することが出来ることとした場合には、書面又はメール等によって行使された議決数は出席した会員の議決権に算入する。

(議長)

第12条 総会の議長は、その総会に出席した会員の中から選出する。

(議事録)

第13条 総会の議事録を作成する。

- 2 議長は、出席会員の中から議事録署名人2名を指名する。
- 3 議事録は「玄友」に掲載する。総会終了後は、結果を速やかに会員に報告するため会員メール等で通知する。

第5章 役員他

(役員)

第14条 本会には、次の役員を置く。

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 会長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 1名 |
| (3) 支部長 | 3名 |
| (4) 幹事長 | 1名 |
| (5) 副幹事長 | 若干名 |
| (6) 部会長 | 若干名 |
| (7) 会計責任者 | 1名 |
| (8) 会計監査 | 2名 |

(役員の選任)

第15条 役員は、総会の決議によって選任される。

(任期)

第16条 役員の任期は2年とする（定時総会から2年後の定時総会まで）。但し、総会の決議によって再任を妨げない。

(役員の任務)

第17条 会長は、本会を代表し会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
- 3 支部長は、支部に必要な体制を組織し、支部の運営に当たる。
- 4 幹事長は、会務を企画、執行する。また設置された部会を統括する。
- 5 副幹事長は、幹事長の業務を分担、補佐する。
- 6 部会長は、部会を構成し、委任された業務を自主的に計画し、実行する。
- 7 会計監査は、本会の会計を監査する。

(監督団)

第18条 監督団は、監督、コーチをもって構成し、人選は担当部会が行い、役員会の議を経て決定し、幹事長が委嘱する

- 2 監督団は、九州大学ラグビー部学生の心技両面にわたる指導、育成を行う。

(名誉職)

第19条 本会には、顧問、相談役、名誉会員を置くことが出来る。選任、任期は、役員会において決定する。

第6章 役員会

(構成)

第20条 役員会は、第14条の役員をもって構成する。

- 2 役員会は、テレビ電話、遠隔テレビ会議等のネット会議機能を利用し参加出来るものとする。

- 3 役員会には、オブザーバーとして監督団、部長（大学）、現役（主将、主務、マネージャー他部員）も参加出来るものとする。

（役員会の権限）

第21条 役員会は次に掲げる職務を行う。

- （1）九大ラグビー部の運営、強化に関する事項。
- （2）規約案、事業計画案、予算案、決算案、役員人事案の作成。
- （3）その他総会に付議すべき事項がある場合にはその案の作成。
- （4）細則の作成並びに決議。
- （5）部会、プロジェクトチームの設置に関する事項。
- （6）その他本会の運営に関する一切の事項。

（運営）

第22条 役員会は、会長が招集する。

- 2 役員会を招集するには、幹事長が会長を代理して事前に通知を発するものとする。
- 3 役員会の決議は、出席役員の過半数をもって行う。
- 4 役員会の議事録は、幹事長が作成するものとする。

第7章 支部、部会

（支部）

第23条 各支部は、支部の選考方法で支部長を選任することが出来る。

- 2 支部長は、支部に必要な体制を組織し、支部の運営に当たる。
- 3 各支部は、本部と連携し、本部の活動に協力するものとする。
- 4 各支部は、本部の活動と重複する事項以外は、独自に企画、実行出来る。

（部会）

第24条 役員会は、本会の業務執行を円滑かつ効率的を図るため、目的、業務ごとに部会を置くことが出来る。また当面の重点的対応を要する課題に対しては、期間を区切り特別部会又はプロジェクトチームを置くことが出来る。

- 2 設置された部会の担務業務は細則において定める。
- 3 部会には、業務に必要な員数の幹事を置くことが出来る。幹事は担当部会長が人選を行い、幹事は役員会の議を経て幹事長が委嘱する。

第8章 会計

(経費)

第25条 本会の運営に必要な経費は、会員により納入される年会費と寄附金をもってこれに充てる。

- 2 特別な経費を必要とするときは、役員会で決定の上、会員に要請することが出来る。
- 3 入金、出金は、役員会で定められた会計責任者が行う。

(会計年度)

第26条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とし、年度ごと収支決算を行い、会計監査を受けなければならない。

第9章 会員名簿管理

(会員名簿の更新とメールアドレスの登録)

第27条 会員は、住所、氏名、職業（勤務先）電話番号に変更があった場合には、直ちに本会に通知するものとする。

- 2 運営の円滑化、情報の迅速化、情報共有、通信費減に寄与するため、会員は保有するメールアドレスを「OBメールアドレス帳」に登録するものとする。但し、不慣れでメールを使用していない高齢者などはこの限りでない。

以上

(付則)

- 1 各支部に属する地域は次のとおりである。
 - (1) 九州支部 九州及び沖縄、山口県、四国
 - (2) 関東支部 静岡県、長野県、新潟県以東及び北海道
 - (3) 関西支部 愛知県、岐阜県、富山県以西海外居住者は、留守宅の支部に属する。

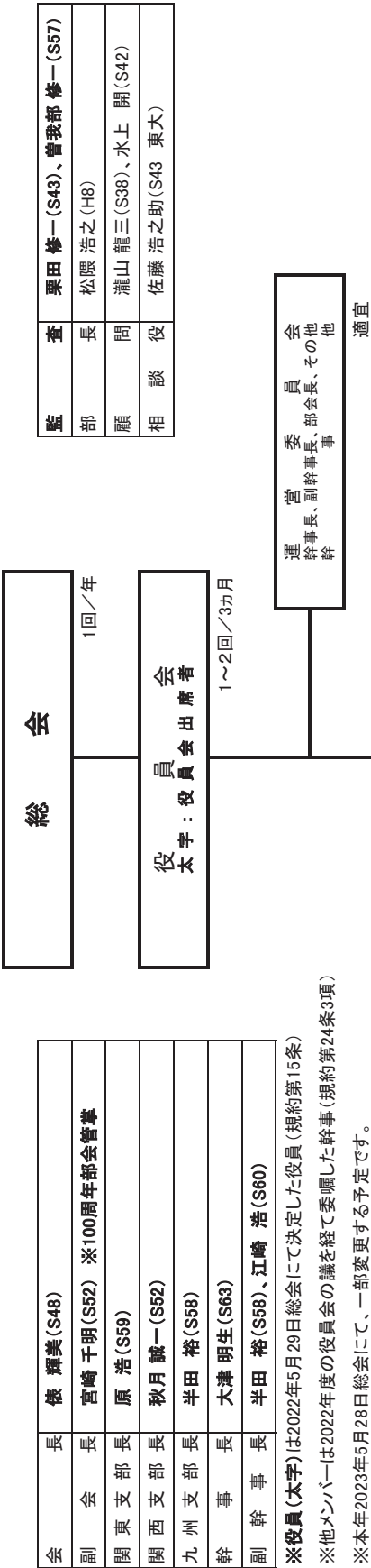
2 旅費規程

役員は以下の旅費を請求することが出来る。九州支部と関東支部の往復は3万円
九州支部と関西支部の往復は1万5千円 関東支部と関西支部の往復は1万5千円

3 本会の所在地は次のとおりである。

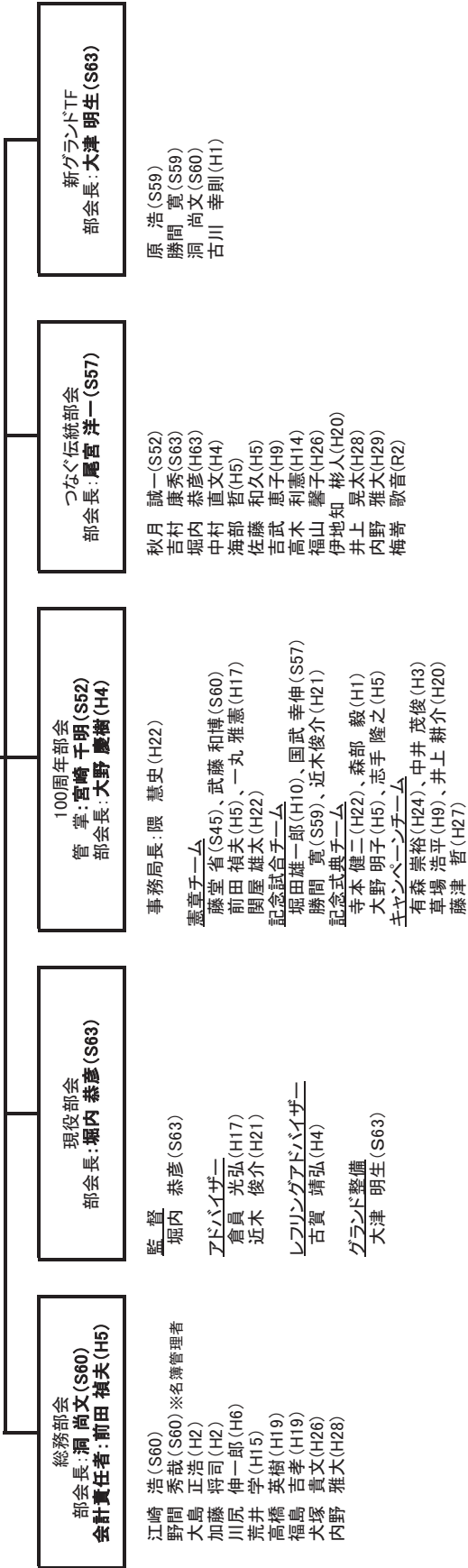
〒812-0018 福岡市博多区住吉4-21-17

4 本規約は、総会への決議を経て発効する。(発効日は令和4年5月29日)



会 長	徳 輝 美(S48)
副 会 長	宮崎 千明(S52) ※100周年都会管掌
関 東 支 部 長	原 浩(S59)
関 西 支 部 長	秋月 誠一(S52)
九 州 支 部 長	半田 裕(S58)
幹 事 長	大津 明生(S63)
副 幹 事 長	半田 裕(S58)、江崎 浩(S60)

※役員(太字)は2022年5月29日総会にて決定した役員(規約第15条)
※他メンバーは2022年度の役員会の議を経て委嘱した幹事(規約第24条3項)
※本年2023年5月28日総会にて、一部変更する予定です。



編集後記

今年度もこうして無事に部誌「玄友」を発行することができました。発行にあたって、ご協賛いただいた企業様、印刷を請け負ってくださった一正堂様、各種広告を載せていただいた OB の方々、原稿を書いていただいた諸先輩方、相談に乗ってくださった OB 役員会の方々、皆様に様々な形でご助力いただきました。心より感謝申し上げます。

九州大学ラグビー部は創立から 97 年を迎えました。すでに、100 周年に向けての活動も始まりつつあり、今の九大ラグビー部の現状を応援してくださる方々にもっと伝えるべきだということを感じました。今年は HP や Twitter、Facebook、メーリングリストなどを使用して積極的に試合結果やお知らせ等を更新しておりましたが、ネットをあまり使わない方にも現役の様子を知っていただきたいという思いで、今回の玄友製作に取り掛かりました。

白黒ではありますが、今年度頑張ってくれた選手たちの写真も随所に載せておりますので、グラウンドになかなか足を運ぶことができない OB・OG の方々にも楽しんで見ていただけたらと思います。

2023 年 3 月吉日

◆ホームページ

URL <http://kyushu-u-rfc.jimdo.com/>

◆公式 SNS

・ Twitter: @kurfc1925 ・ Instagram: @kurfc_mg

◆OB 会費

ゆうちょ銀行 一三八(イチサンハチ)店

普通 2166194 キュウシュウダイガクラグビーブオービーカイ

◆基金口への寄付

西日本シティ銀行 天神支店

普通 2218518 キュウシュウダイガクラグビーブオービーカイ

九州大学ラグビー部部誌 玄友 2022

令和 5 年 3 月 印刷

令和 5 年 3 月 発行

発行者 淡路 翔太

編集責任者 木谷 心美

編集者 三浦 陽菜、重田 みゆ、木谷 心美、黒田 奈央、小野 海咲、白石 知香、
堀田 まる美、村山 歩果

印刷所 一正堂

PRINT SHOP ISSEIDO

◆◆◆印刷・製本・コピーサービス◆◆◆

有限会社

一 正 堂

〒812-0053

福岡市東区箱崎6丁目14-17

TEL・FAX (092) 651-3771

E-mail: isseido@aioros.ocn.ne.jp

2022 会員名簿

九州大学ラグビー部OB会

◆名簿

◆五十音順一覧

◆物故者一覧

部外秘：取り扱いに注意願います

変更や訂正がありましたら本部または
総務部会長までお知らせください。

九州大学ラグビー部OB会本部 大津 明生
〒810-0013 福岡市中央区大宮 2 丁目 5-12-503
TEL 080-6474-2729
E-mail: hanaki728@gmail.com

総務部会長 洞 尚文
〒352-0004 埼玉県新座市大和田 5-4-35
Email: hora.kurfc@gmail.com

OB会員名簿

姓名 /旧姓 学部 出身校

部長

松隈 浩之

九州芸工大 門司

昭和13年

鮫島 八郎

工 台北

昭和14年

井上 道雄

経

昭和15年

林 正美

法 福高

昭和16年

大山 源七郎

法 浪高

土田 庸光

医 四高

昭和18年

岡本 是孝

工 佐高

昭和22年

伊藤 裕成

法 福高

能美 甲子郎

農 三高農

松尾 健次

法 佐高

昭和23年

大庭 忠房

工 佐高

大久保 氏

経 台北高商

藤島 俊治

経 福高

昭和24年

三浦 一郎

工 京城大

昭和25年

渡辺 公弘

工 旅順工大

昭和26年

上田 昭一

工 五高

嶋田 高能

工 熊工専

昭和27年

岩松 貞夫

文 秋工専

久恒 團

工 東農大

昭和28年

浅山 清

農 佐高

田中 覚

経 明善

星野 一也

農 甲南

昭和29年

岡部 俊介

経 猶興館

中谷 三郎

法 佐高

吉田 豊

工 福岡

昭和30年

井上 年弘

法 三養基

大坪 幸彦

工 三養基

古賀 道男

工 嘉穂

永淵 泰清

法 佐賀

早川 恭介

法 筑紫丘

昭和31年

古屋 信二

法 福岡

福本 精

法 福岡

松下 長平

工 出水

昭和32年

大内 徳司

工 若松

姓名	旧姓	学部	出身校
昭和33年			
河原 浩司		法	福岡
永井 武昭		理	新田
昭和34年			
松永 庸祐		工	福岡
山本 司		工	修猷館
昭和36年			
小橋 一彌		薬	門司
鶴田 哲雄		経	松山北
二宮 孝義		法	山田
昭和37年			
小川 勝		農	戸畑
貝原 信明		医	修猷館
昭和38年			
瀧山 龍三		工	修猷館
武末 雄一郎		教	小倉
福田 武郎		工	修猷館
昭和39年			
内村 尚弘		法	川内
甲斐 勲		教	福岡
興膳 克彦		経	修猷館
末広 郁男		経	甲南
中島 鼎吾		農	修猷館
藤野 宏		理	修猷館
大和 博明		工	修猷館
昭和40年			
井上 康昭		農	修猷館
江本 昭彦		工	光
永松 武興		法	修猷館
永山 憲作		理	宮之城

中川 真一	経	修猷館
新田 武明	工	長崎東
広田 隆男	法	修猷館
四谷 弘毅	工	佐世保北

昭和41年		
臼杵 哲	法	修猷館
河野 覚雄	法	高鍋
木原 国男	文	福岡
佐々木 裕	法	小倉
清水 紘行	法	修猷館
水落 昌晴	文	明善

昭和42年		
小川 勝	工	明和
寺田 喜久雄	工	小倉
飛松 省三	法	福岡
古部 浩	?	修猷館
堀内 靖郎	経	修猷館
松角 淳雄	工	長崎東
三浦 義武	工	修猷館
水上 開	工	宗像
山田 成良	文	福岡

昭和43年		
石崎 正典	工	修猷館
大久保 泰憲	工	長崎東
栗田 修一	経	東筑
佐藤 浩之助	東京大学	元部長
塩澤 俊彦	工	福岡
末松 春彦	経	京都
杉 秀浩	工	唐津東
竹崎 史郎	工	鶴丸
諸岡 保和	法	小倉
柳川 春夫	農	修猷館

昭和44年

姓名	旧姓	学部	出身校
池田 洋二		工	熊本
大前 駿二		経	八幡中央
桑野 友博		経	
権藤 和行		農	修猷館
佐伯 忍		農	福岡
原 建一		工	嘉穂
若林 徹		工	小倉

昭和45年

石井 三郎		農	福岡
伊藤 博志		法	筑紫丘
児玉 俊作		農	福岡
財津 雄治		農	福岡
藤堂 省		医	福岡
中村 恒美		法	八幡
中野 厚美		工	小倉
野川 斉一		医	福岡

昭和46年

朝田 泰		工	福岡
石田 安正		工	福岡
佐藤 慶則		法	上野丘
松木 博		経	門司
丸田 堅次		工	明善

昭和47年

池水 直行		工	長崎南
上田 光一		工	修猷館
久我 秀昭		理	修猷館
坂元 哲己		経	熊本
佐藤 徹法		法	上野丘
波多野 博		工	八幡
久野 哲		経	熊本
松岡 繁		理	福岡

昭和48年

石松 隆和		工	宗像
-------	--	---	----

岡田 裕三		理	明石
岡本 安功		工	舞鶴
加藤 直樹		工	福岡
清水 啓一朗		工	豊津
依 輝美		法	長崎南
源 敏徳		工	門司

昭和49年

太田 光宣		法	厚狭
木原 二郎		工	修猷館
黒木 満博		工	福岡
新屋 敏博		工	藤島
本田 敬		経	八幡

昭和50年

江藤 猛		工	日田
川上 龍太郎		農	熊本
田口 幸二		工	諫早
仲野 秀夫		経	福岡
平野 信久		工	福岡
松本 宏一		工	熊本
山本 周一		工	熊本

昭和51年

飯田 治人		工	修猷館
今里 滋		法	
池ノ上 忠弘		農	長崎南
潟山 英清		工	甲南
工藤 雄一		法	熊商大附
園 潔		法	上野丘
徳永 章司		理	広大附福山

昭和52年

秋月 誠一		農	熊本
佐藤 博		工	鞍手
富安 敏昭		工	福岡
樋口 裕二		理	東筑

姓名	旧姓	学部	出身校
福島 洋		経	ラサール
宮崎 千明		医	ラサール

昭和53年

有馬 浩		工	鹿屋
角 克晶		工	佐賀西
福德 賢二郎		経	筑紫丘

昭和54年

合谷 守明		工	門司
田原 義彦		法	嘉穂
田代 博之		農	修猷館
原 善一郎		工	諫早
平兮 一英			
古田 雄司		理	鞍手
松永 裕志		法	上野丘
森田 直弘		工	済々黌
用澤 義則		法	東筑

昭和55年

川添 卓司		工	熊本
久米 秀俊		工	松山東
納屋 健太郎		経	筑紫丘
平山 一敏		工	長崎北
百富 正樹		工	京都
森 一夫		工	修猷館
森 肇		工	筑紫丘

昭和56年

梅本 州一		農	北野
大塚 隆一		農	福岡
尾田 明博		理	八代
加賀美 新一		経	小倉
古場 雄二		工	熊本
末永 博		農	鹿児島中央
津森 登志子	石橋	農	福岡
戸田 和幸		教	大教大附

都合 弘		工	日田
福本 美子		農	福岡
船場 貢		農	佐世保北
宮下 敦典		農	熊本
満塩 勝郎		工	鶴丸

昭和57年

有田 大助		法	糸島
今泉 洋嗣		経	佐賀西
岡村 喜史		農	北野
尾宮 洋一		工	福岡
城戸 寿弘		法	長崎東
国武 幸伸		理	日田
源島 良一		工	人吉
曾我部 修一		工	高鍋
中村 有三		理	大濠
藤尾 正昭		工	八尾
三井 信介		医	大津
光山 泰典		経	明善
毛利 匡		農	長崎南
吉弘 光男		法	福岡

昭和58年

空閑 毅		医	修猷館
兒島 優一		工	鹿児島中央
芝原 林		法	川辺
奈良井 敏宏		工	伊丹
野間 俊哉		薬	松山東
半田 裕		工	修猷館
広島 聖		工	城南
松尾 弘継		工	長崎西
牧野 一郎		医	小倉
三宅 文照	木村	工	筑紫丘
山口 英		工	大濠
横田 俊彦		工	東筑

昭和59年

姓名	旧姓	学部	出身校
相園 米実		農	東筑
勝間 寛		工	京都城南
千葉 胤倫		工	筑紫丘
原 浩		工	両国
波多 智行		法	城南
藤原 雅雄		齒	北野
宮島 哲瑞		農	修猷館
安田 哲二郎		工	修猷館
吉田 真一		齒	長崎南

昭和60年

江崎 浩		工	八女
大野 和夫		経	筑紫丘
亀井 伸一郎		農	三重
川副 剛之		農	佐賀西
黒川 洋一		工	福岡
久米 正二		工	筑紫丘
國武 哲治		齒	日田
神谷 崇		農	修猷館
河野 隆		農	修猷館
杉山 嘉則		工	福岡
田丸 圭一		法	筑紫丘
玉井 徳人		法	松山東
野間 秀哉		医	松山東
洞 尚文		農	糸島
水田 英憲		経	筑紫丘
武藤 和博		工	小倉
吉村 哲也	溝口	工	福岡

昭和61年

井上 博		経	福岡
今村 和之		工	福岡
岡田 誠剛		理	生野
川口 洋充		工	小倉
竹下 淳二		工	八女
辻 豊		理	城南
波多野 巖		工	東筑

藤本 美由紀	理	八幡南
福田 公登志	経	修猷館
前田 満	工	久大附
村上 宏文	工	長崎北陽台
渡辺 秀治	文	福岡

昭和62年

岩田 広長	工	福岡
加茂川 丈巳	工	修猷館
佐伯 先史	工	筑紫丘
角田 徹	工	筑紫丘
田代 博英	農	佐世保南
高畠 由彰	理	修猷館
西町 龍三	工	佐世保北
東田 外史	工	福岡
前田 隆	工	修猷館
榎井 達夫	工	福岡

昭和63年

岩田 徹	工	福岡
内堀 雅和	工	長崎北陽台
大津 明生	工	小倉
黒岩 文晴	工	甲南
黒川 昌子	植松 薬	上野丘
才本 明秀	工	福岡
瀬川 裕正	法	
田中 修	工	上野丘
土肥 秀子	森實 薬	上野丘
中尾 道彰	工	八女
藤野 元	工	修道
古谷 敏之	工	四条畷
福留 孝治	工	甲南
堀内 恭彦	法	修猷館
満保 賢二	経	福岡
築瀬 淳	経	福岡
吉村 康秀	理	小倉

姓名	旧姓	学部	出身校
平成1年			
石松 顕	草場	工	福岡
箴島 修三		経	明善
大坪 剛磨		工	柳川
太田 哲也		理	筑紫丘
大穂 勝也		経	広島学院
掛下 達郎		経	西南学院
河村 真澄	山本	経	福岡
田川 稔		工	舟入
土井 秀智		工	中津南
西元 宏		法	下関西
野島 浩司		法	東筑
古川 幸則		工	川内実業
北條 裕之		工	四条囃
前田 哲		工	修猷館
森部 毅		工	筑紫丘
平成2年			
有吉 崇		工	鞍手
鵜池 雅俊		経	福岡
大島 正浩		工	小倉
河野 智大		経	山門
加藤 将司		理	西南学院
黒田 祥江	岩野	福岡女子大	鞍手
工藤 宗治		工	大分高専
黒瀬 一斎		工	今治西
佐藤 公亮		理	大分南
諸岡 弘文		農	筑紫丘
平成3年			
阪元 洋一		理	日南
園田 英博		工	佐賀西
竹下 和宏		農	筑紫丘
高橋 祥之		理	桐蔭学園
中井 茂俊		経	宇部
中村 成志		工	筑紫丘

樋口 清一	農	大阪清風
日野 貴文	工	松山東
堀内 憲二	経	修猷館
本田 瑞穂	第一薬科大	熊本真和
光安 哲夫	経	福岡
山村 徹	経	筑紫丘
八尋 康徳	工	筑紫丘
吉田 浩二	工	筑紫丘

平成4年			
大野 慶樹		法	修猷館
大野 裕司		工	筑紫丘
古賀 靖弘		理	浮羽
坂口 美哉子	藤井	福岡女子大	修猷館
佐野 多佳子	天野	福岡女子大	修猷館
重松 一郎		農	筑紫丘
藤 隆利		工	筑紫丘
中村 直文		文	熊本
二俣 雄亮		工	伝習館
前田 裕作		工	筑紫丘
水島 智		農	筑紫丘
山口 裕輔		農	明善

平成5年			
市村 理香	中村	福岡女子大	八幡大付属
江良 耕一		工	筑紫丘
奥田 崇之		農	富山中野
大野 明子	本岡	福岡女子大	長崎西
海部 哲		工	加古川東
桑山 尚司		工	佐世保南
佐藤 和久		工	長崎南
島田 稔之		農	龍谷
志手 隆之		経	筑紫丘
田村 聡		工	修猷館
田村 祐三子	高丘	福岡女子大	宮崎北
永尾 晃治		農	小倉
早崎 道人		工	鎌ヶ谷

姓名	旧姓	学部	出身校
日名子 宗晃		法	福岡
前田 禎夫		工	筑紫丘
宮本 久美子	本村	福岡女子大	武雄

平成6年

牛塚 耕治		農	筑紫丘
川尻 伸一郎		農	福岡西陵
窪山 隆典		工	筑紫丘
坂井 孝行		農	筑紫丘
坂口 真司		理	筑紫丘
竹下 明宏		農	筑紫丘
田川 公太朗		工	長崎南
中尾 晴美	牟田	理	小林
宮入 拓		工	仙台第二
三田 雄三		工	福岡
矢野 亮		工	長崎西陵

平成7年

石崎 進		工	筑紫丘
井手 辰乃助		経	長崎西陵
市丸 泰己		工	唐津東
大曲 紀章		工	大濠
桑野 聡		工	東筑
高尾 正樹		農	福岡
多田 裕子	富森	福岡女学院大	福岡西陵
藤 俊和		工	筑紫丘
中村 文生		理	奈良
西 耕一郎		農	筑紫丘
堀江 勲		工	筑紫丘
水島 淳		農	大濠
八木 周		法	三国丘
吉田 智		法	青雲
吉田 秀之進		経	済々黌
吉武 勉		工	筑紫丘
吉武 涼子	上村	福岡女学院大	香椎

平成8年

浦郷 綾		医技短	福岡中央
大野 克哉		工	久留米高専
大隈 亨		工	佐伯鶴城
倉成 拓二		経	明和
坂本 大輔		工	島原
菅原 信孝		工	福岡
永松 文		医技短	東明館
西村 秀樹		工	佐賀西
平賀 紀行		医	九州学院
湯浅 忠		理	佐世保北
弓削 英文		工	長崎北陽台
吉田 信之		理	宇部

平成9年

内山 弘之		工	香住丘
大野 美紀子	奥宮	農	東筑
草場 浩平		工	修猷館
酒井 勇嗣		工	筑紫丘
吉浦 豪		工	筑紫丘
吉武 恵子	鹿村	文	小倉
萬 泰輔		経	明善
和田 英之		工	日南

平成10年

伊藤 茂郎		工	明善
牛丸 晋		経	筑紫丘
武知 正文		理	岡山朝日
成田 修二		工	千種
堀田 雄一郎		農	筑紫丘
松本 和彦		農	熊本
峯 和史		法	筑紫丘

平成11年

伊藤 佳代子	前田	福岡女子大	長崎北陽台
尾野 憲司		工	加古川東
末吉 圭吾		経	東筑
外村 隆志		工	修猷館

姓名	旧姓	学部	出身校
田川 誠		理	長崎南
竹本 寿久		工	森
千葉 文勝		法	桐蔭学園
西村 宗和		工	八幡
羽田野 友香	吉田	福岡女子大	佐世保西
原田 千佳志		経	鹿島
堀江 克尚		法	筑紫丘
森本 剣太郎		工	長崎北
吉田 拓也		工	筑紫丘

平成12年

伊藤 宏介		農	高松
藤本 絵美子		工	
松田 健太郎		法	
宮川 隆弘		法	

平成13年

伊勢 裕基		文	筑紫丘
高月 勇介		法	大分上野丘
遠山 晃広		農	時習館

平成14年

高木 利憲		農	明善
谷口 博基			新宮
西元 誠		工	
畑田 真宏		工	美鈴が丘
畑田 晃宏		工	美鈴が丘
吉田 安宏		工	唐津東

平成15年

青木 秀文		工	宮崎北
荒井 学		農	四日市
松永 直子		法	西南学院
南園 浩二		法	修猷館
村嶋 良太		理	延岡

平成16年

木塚 怜		工	福岡
郡司 智博		工	宮崎北
荒神 佳人		農	修猷館
重永 亮介		工	長崎南
藤山 翼		工	福岡
橋永 牧	藤原	工	ND清心
長谷川 毅		工	修猷館
福山 馨子	中川	理	ND清心
吉次 真一		工	福岡

平成17年

朝比奈 恵史		経	京都教育大附
伊藤 嘉基		工	帯広柏葉
一丸 雅憲		農	福岡
倉員 光弘		経	中村三陽
成田 悠介		薬	筑紫丘
森山 秀一		経工	筑紫丘

平成18年

江村 香泉		法	筑紫女学園
久木原 聡		工	福岡
白葉 義遥		工	新宮
澁田 憲一郎		工	福岡
山川 智己		法	静岡
渡辺 健一		工	

平成19年

岩下 裕幸		理	ラサール
岩本 隆志		工	修猷館
井上 大志郎		農	修猷館
内川 宗幸		工	福岡
神田 賢一		経	甲南
國松 浩志		工	筑紫丘
小林 陽介		工	長崎西
寿福 心洋		農	甲南
高橋 英樹		理	九産大九州
野田 亮		経	福岡

姓名	旧姓	学部	出身校
濱崎 洋志		医	長崎西
福島 吉孝		農	熊本第二
南 優児		経	明善
湯元 孝治		工	福岡

平成20年

伊地知 彬人		経	甲南
井上 耕介		工	福岡
大熊 良典		工	筑紫丘
島田 快		農	筑紫
白石 美由紀		医	京都
中尾 泰三		工	長崎西
森山 恭輔		経	筑紫丘
大和 良輔		経	福岡

平成21年

金光 亮太		法	倉吉東
川淵 雄大		工	修猷館
坂本 泰弘		経	福岡
近木 悠子	福原	工	武田
近木 俊介		経	修猷館
西本 篤史		工	上田
宮地 優樹		理	長崎東
吉永 憲人		工	福岡

平成22年

小野 瑛志		農	福岡
隈 慧史		法	八幡
庄島 雄三		農	修猷館
関屋 雄太		農	修猷館
高良 眞矢		経	福岡
寺本 健二		教	修猷館
中尾 浩平		芸工	福岡
古里 卓也		経	筑紫
山元 昭人		工	福岡
山口 和也		工	修猷館

平成23年

川添 健史		工	福岡
長堀 哲		工	小倉
西井 暖美	江口	医	修猷館
西井 努		工	三島
濱田 貴啓		工	小倉
濱田 洋平		法	熊本
横山 達朗		工	宗像

平成24年

有森 崇裕		文	岡山朝日
足立 康治		工	倉吉東
池田 政昭		文	加治木
岩谷 正義		工	修猷館
上田平 祐樹		工	大濠
岡田 博之		工	熊本第二
沖藤 拓真		工	千種
古賀 脩平		工	東福岡
田畑 克磨		工	甲南
竹田 雄作		理	熊本第二
角振 将平		工	修道学園
吉見 由巳子	松浦	教	福岡雙葉

平成25年

荒牧 奏子		文	春日
岩見 康平		工	神戸
伊藤 大河		法	延岡学園
鹿島 由紀		経	筑紫丘
児島 祐子		工	西南学院
境 祥平		工	筑紫丘
四ヶ所 遼太		工	大濠
高松 直登		工	東筑
竹田 美穂	栗田	教	筑紫丘
鍋島 航		法	弘學館
溝口 豪		法	鶴丸

姓名	旧姓	学部	出身校
平成26年			
家田 大輝		経	萩
犬塚 貴文		工	福岡
池下 純葉		工	明星学園
尾田 宇広		経	西南学院
近藤 貴志		芸工	筑紫丘
小柴 慧太		理	函館ラサール
高濱 将光		芸工	筑紫丘
鶴田 勇気		経	筑紫丘
柘植 和哉		工	奈良高専
中野 仁平		法	佐世保北
中村 俊朗		法	筑紫丘
野間口 侑基		医	灘
野瀬 将史		工	修猷館
藤村 沙理也		医	福岡
山辺 光一郎		工	佐世保北
平成27年			
辛島 大貴		工	明治学院
白石 海月		経	筑紫丘
砂野 真里		医	福岡
武末 力		理	青雲
中里 俊貴			
西村 仁宏		工	長崎西
藤津 哲		農	東筑
水上 友輔		工	福岡
山本 文迅		工	大阪大手前
平成28年			
Thomas Bayer		工	
井上 晃太		医	筑紫丘
石川 達也		農	名古屋
内谷 眞彬		理	熊本第二
内田 詠子メガン		農	岡山朝日
内野 雅大		工	明善
大木 崇裕		農	門司学園

岡崎 弥和	文	呉宮原	
兼久 賢章	薬	福岡	
下田 竜太郎	経	済々黌	
城 慎之介	工	筑紫丘	
鈴木 夏美	梅崎	経	香住ヶ丘
田島 駿介	経	加治木	
寺岡 佳彦	経	筑紫丘	
峯 祥文	法	福岡	
村瀬 蓮一	工	東筑	

平成29年			
有馬 滯	山上	工	東筑
今泉 桃子		教	修猷館
緒方 胤浩		芸工	修猷館
片岡 良介		医	長崎北
門脇 暢平		経	高槻
重元 一志		工	兵庫
高橋 裕太		福岡大	香椎
田代 一馬		農	東筑
中俣 浪漫		文	長崎北
餅原 恵太		工	甲南
山下 茂彰		経	千里

平成30年			
幾竹 賢		芸工	西南学院
池田 僚輔		工	清真学園
入木田 一輝		経	筑紫丘
内之倉 朋紘		理	玉龍
長 義幸		理	大島
川上 祐輝		工	宮崎大宮
松本 直大		芸工	西南学院
三星 諒太郎		理	延岡星雲
山口 樹		法	出雲
吉浦 有祐		農	筑紫丘
若狹 琢也		農	筑紫丘

平成31年

姓名	旧姓	学部	出身校
池田 和輝		農	小倉
伊藤 創哉		農	宇部
入木田 みなみ	上野	法	鶴丸
折居 弘章		経	福岡
柏木 智泰		医	青雲
木下 晃一		法	明善
熊丸 賢也		経	明善
阪口 友貴		工	清教学園
新飼 夏実		法	筑紫丘
藤原 誠		理	江戸川学園取手
三浦 崇太郎		理	東筑
三谷 直輝		経	福岡

令和2年

上野 叡智	理	熊本
梅嶺 歌音	法	筑紫丘
神谷 康平	工	福岡
河野 竜也	工	大分上野丘
熊手 脩仁	21世紀	長崎南山
酒田 康介	薬	熊本
島村 海	法	熊本
仙波 佳樹	工	修猷館
檜原 功太郎	芸術工	明善
渡辺 真澄	工	岡山朝日

令和3年

上原 脩	経	東福岡
植原 大輔	農	小倉
柿本 拓巳	工	筑紫
岸本 侃己	理	八幡
倉永 拓明	工	日比谷
鶴 雄介	工	福岡
鳥越 崇史	工	筑紫丘
中嶋 浩順	工	岡山朝日
松本 萌花	文	福岡
松本 丞平	工	御影

令和4年

内田 詩乃	法	筑紫丘
大久保 隼鷹	法	糸島
北川 堪大	工	長崎東
木村 円香	教育	済々黌
島内 崇太郎	工	長崎北
冨本 友祐	法	大阪府立茨木
濱田 修平	農	真和
宮城 虎太郎	工	東筑
山浦 宗一郎	法	久留米附設
吉原 嵩英	工	浦和

五十音順名簿用

姓名

旧姓

卒業年度

B

Thomas Bayer 平成28年

ア

浅山 清 昭和28年

朝田 泰 昭和46年

秋月 誠一 昭和52年

有馬 浩 昭和53年

有田 大助 昭和57年

相園 米実 昭和59年

有吉 崇 平成2年

青木 秀文 平成15年

荒井 学 平成15年

朝比奈 恵史 平成17年

有森 崇裕 平成24年

足立 康治 平成24年

荒牧 奏子 平成25年

有馬 滯 平成29年

山上

イ

井上 道雄 昭和14年

伊藤 裕成 昭和22年

岩松 貞夫 昭和27年

井上 年弘 昭和30年

井上 康昭 昭和40年

石崎 正典 昭和43年

池田 洋二 昭和44年

石井 三郎 昭和45年

伊藤 博志 昭和45年

石田 安正 昭和46年

池水 直行 昭和47年

石松 隆和 昭和48年

飯田 治人 昭和51年

今里 滋 昭和51年

池ノ上 忠弘 昭和51年

今泉 洋嗣 昭和57年

今村 和之 昭和61年

井上 博 昭和61年

岩田 広長 昭和62年

岩田 徹 昭和63年

石松 顕 平成1年

草場

市村 理香 平成5年

中村

石崎 進 平成7年

井手 辰乃助 平成7年

市丸 泰己 平成7年

伊藤 茂郎 平成10年

伊藤 佳代子 平成11年

前田

伊藤 宏介 平成12年

伊勢 裕基 平成13年

伊藤 嘉基 平成17年

一丸 雅憲 平成17年

岩下 裕幸 平成19年

井上 大志郎 平成19年

岩本 隆志 平成19年

井上 耕介 平成20年

伊地知 彬人 平成20年

池田 政昭 平成24年

岩谷 正義 平成24年

岩見 康平 平成25年

伊藤 大河 平成25年

池下 純葉 平成26年

家田 大輝 平成26年

犬塚 貴文 平成26年

石川 達也 平成28年

井上 晃太 平成28年

今泉 桃子 平成29年

池田 僚輔 平成30年

入木田 一輝 平成30年

幾竹 賢 平成30年

姓名	旧姓	卒業年度
入木田 みなみ	上野	平成31年
伊藤 創哉		平成31年
池田 和輝		平成31年
ウ		
上田 昭一		昭和26年
内村 尚弘		昭和39年
臼杵 哲		昭和41年
上田 光一		昭和47年
梅本 州一		昭和56年
内堀 雅和		昭和63年
鵜池 雅俊		平成2年
牛塚 耕治		平成6年
浦郷 綾		平成8年
内山 弘之		平成9年
牛丸 晋		平成10年
内川 宗幸		平成19年
上田平 祐樹		平成24年
内谷 真彬		平成28年
内野 雅大		平成28年
内田 詠子メガン		平成28年
内之倉 朋紘		平成30年
上野 叡智		令和2年
梅畚 歌音		令和2年
植原 大輔		令和3年
上原 脩		令和3年
内田 詩乃		令和4年
エ		
江本 昭彦		昭和40年
江藤 猛		昭和50年
江崎 浩		昭和60年
江良 耕一		平成5年
江村 香泉		平成18年
オ		
大山 源七郎		昭和16年
岡本 是孝		昭和18年

大久保 氏	昭和23年
大庭 忠房	昭和23年
岡部 俊介	昭和29年
大坪 幸彦	昭和30年
大内 徳司	昭和32年
小川 勝	昭和37年
小川 勝	昭和42年
大久保 泰憲	昭和43年
大前 駿二	昭和44年
岡本 安功	昭和48年
岡田 裕三	昭和48年
太田 光宣	昭和49年
尾田 明博	昭和56年
大塚 隆一	昭和56年
岡村 喜史	昭和57年
尾宮 洋一	昭和57年
大野 和夫	昭和60年
岡田 誠剛	昭和61年
大津 明生	昭和63年
大坪 剛磨	平成1年
箴島 修三	平成1年
太田 哲也	平成1年
大穂 勝也	平成1年
大島 正浩	平成2年
大野 裕司	平成4年
大野 慶樹	平成4年
大野 明子	本岡 平成5年
奥田 崇之	平成5年
大曲 紀章	平成7年
大野 克哉	平成8年
大隈 亨	平成8年
大野 美紀子	奥宮 平成9年
尾野 憲司	平成11年
大熊 良典	平成20年
小野 瑛志	平成22年
沖藤 拓真	平成24年
岡田 博之	平成24年
尾田 宇広	平成26年

姓名	旧姓	卒業年度
大木 崇裕		平成28年
岡崎 弥和		平成28年
緒方 胤浩		平成29年
長 義幸		平成30年
折居 弘章		平成31年
大久保 隼鷹		令和4年

力

河原 浩司		昭和33年
貝原 信明		昭和37年
甲斐 勲		昭和39年
河野 覚雄		昭和41年
加藤 直樹		昭和48年
川上 龍太郎		昭和50年
角 克晶		昭和53年
川添 卓司		昭和55年
加賀美 新一		昭和56年
勝間 寛		昭和59年
川副 剛之		昭和60年
亀井 伸一郎		昭和60年
川口 洋充		昭和61年
加茂川 文巳		昭和62年
河村 真澄	山本	平成1年
掛下 達郎		平成1年
河野 智大		平成2年
加藤 将司		平成2年
海部 哲		平成5年
川尻 伸一郎		平成6年
神田 賢一		平成19年
金光 亮太		平成21年
川渕 雄大		平成21年
川添 健史		平成23年
鹿島 由紀		平成25年
辛島 大貴		平成27年
兼久 賢章		平成28年
門脇 暢平		平成29年
片岡 良介		平成29年
川上 祐輝		平成30年

柏木 智泰		平成31年
神谷 康平		令和2年
河野 竜也		令和2年
柿本 拓巳		令和3年

力

潟山 英清		昭和51年
-------	--	-------

木原 国男		昭和41年
木原 二郎		昭和49年
城戸 寿弘		昭和57年
木塚 怜		平成16年
木下 晃一		平成31年
岸本 侃己		令和3年
木村 円香		令和4年
北川 堪大		令和4年

ク

栗田 修一		昭和43年
桑野 友博		昭和44年
久我 秀昭		昭和47年
黒木 満博		昭和49年
工藤 雄一		昭和51年
久米 秀俊		昭和55年
国武 幸伸		昭和57年
空閑 毅		昭和58年
久米 正二		昭和60年
國武 哲治		昭和60年
黒川 洋一		昭和60年
黒川 昌子	植松	昭和63年
黒岩 文晴		昭和63年
黒瀬 一斎		平成2年
黒田 祥江	岩野	平成2年
工藤 宗治		平成2年
桑山 尚司		平成5年
窪山 隆典		平成6年
桑野 聡		平成7年

姓名	旧姓	卒業年度
倉成 拓二		平成8年
草場 浩平		平成9年
倉員 光弘		平成17年
久木原 聡		平成18年
隈 慧史		平成22年
熊丸 賢也		平成31年
熊手 脩仁		令和2年
倉永 拓明		令和3年

グ

郡司 智博		平成16年
-------	--	-------

ゲ

源島 良一		昭和57年
-------	--	-------

コ

古賀 道男		昭和30年
小橋 一彌		昭和36年
興膳 克彦		昭和39年
児玉 俊作		昭和45年
古場 雄二		昭和56年
児島 優一		昭和58年
神谷 崇		昭和60年
河野 隆		昭和60年
古賀 靖弘		平成4年
荒神 佳人		平成16年
國松 浩志		平成19年
小林 陽介		平成19年
古賀 脩平		平成24年
児島 祐子		平成25年
小柴 慧太		平成26年
近藤 貴志		平成26年

ゴ

権藤 和行		昭和44年
合谷 守明		昭和54年

サ

鮫島 八郎		昭和13年
佐々木 裕		昭和41年
佐藤 浩之助		昭和43年
佐伯 忍		昭和44年
佐藤 慶則		昭和46年
坂元 哲己		昭和47年
佐藤 徹法		昭和47年
佐藤 博		昭和52年
佐伯 先史		昭和62年
才本 明秀		昭和63年
佐藤 公亮		平成2年
阪元 洋一		平成3年
佐野 多佳子	天野	平成4年
坂口 美哉子	藤井	平成4年
佐藤 和久		平成5年
坂口 真司		平成6年
坂井 孝行		平成6年
坂本 大輔		平成8年
酒井 勇嗣		平成9年
坂本 泰弘		平成21年
境 祥平		平成25年
阪口 友貴		平成31年
酒田 康介		令和2年

ザ

財津 雄治		昭和45年
-------	--	-------

シ

嶋田 高能		昭和26年
清水 紘行		昭和41年
塩澤 俊彦		昭和43年
清水 啓一郎		昭和48年
新屋 敏博		昭和49年
芝原 林		昭和58年
重松 一郎		平成4年
志手 隆之		平成5年
島田 稔之		平成5年
重永 亮介		平成16年

姓名	旧姓	卒業年度
白葉 義遥		平成18年
澁田 憲一郎		平成18年
白石 美由紀		平成20年
島田 快		平成20年
庄島 雄三		平成22年
四ヶ所 遼太		平成25年
白石 海月		平成27年
下田 竜太郎		平成28年
重元 一志		平成29年
新飼 夏実		平成31年
島村 海		令和2年
島内 崇太郎		令和4年
シ		
寿福 心洋		平成19年
城 慎之介		平成28年
ス		
末広 郁男		昭和39年
末松 春彦		昭和43年
杉 秀浩		昭和43年
末永 博		昭和56年
杉山 嘉則		昭和60年
角田 徹		昭和62年
菅原 信孝		平成8年
末吉 圭吾		平成11年
砂野 真里		平成27年
鈴木 夏美	梅崎	平成28年
セ		
瀬川 裕正		昭和63年
関屋 雄太		平成22年
仙波 佳樹		令和2年
ソ		
園 潔		昭和51年
曾我部 修一		昭和57年
園田 英博		平成3年

外村 隆志		平成11年
タ		
田中 覚		昭和28年
瀧山 龍三		昭和38年
武末 雄一郎		昭和38年
竹崎 史郎		昭和43年
俵 輝美		昭和48年
田口 幸二		昭和50年
田代 博之		昭和54年
田原 義彦		昭和54年
玉井 徳人		昭和60年
田丸 圭一		昭和60年
竹下 淳二		昭和61年
高畠 由彰		昭和62年
田代 博英		昭和62年
田中 修		昭和63年
田川 稔		平成1年
竹下 和宏		平成3年
高橋 祥之		平成3年
田村 祐三子	高丘	平成5年
田村 聡		平成5年
竹下 明宏		平成6年
田川 公太朗		平成6年
多田 裕子	富森	平成7年
高尾 正樹		平成7年
武知 正文		平成10年
田川 誠		平成11年
竹本 寿久		平成11年
高月 勇介		平成13年
高木 利憲		平成14年
谷口 博基		平成14年
高橋 英樹		平成19年
高良 眞矢		平成22年
田畑 克磨		平成24年
竹田 雄作		平成24年
竹田 美穂	栗田	平成25年
高松 直登		平成25年

姓名	旧姓	卒業年度
高濱 将光		平成26年
武末 力		平成27年
田島 駿介		平成28年
田代 一馬		平成29年
高橋 裕太		平成29年

チ

千葉 胤倫		昭和59年
千葉 文勝		平成11年
近木 悠子	福原	平成21年
近木 俊介		平成21年

ツ

土田 庸光		昭和16年
鶴田 哲雄		昭和36年
津森 登志子	石橋	昭和56年
辻 豊		昭和61年
角振 将平		平成24年
柘植 和哉		平成26年
鶴田 勇氣		平成26年
鶴 雄介		令和3年

テ

寺田 喜久雄		昭和42年
寺本 健二		平成22年
寺岡 佳彦		平成28年

ト

飛松 省三		昭和42年
藤堂 省		昭和45年
徳永 章司		昭和51年
富安 敏昭		昭和52年
都合 弘		昭和56年
戸田 和幸		昭和56年
藤 隆利		平成4年
藤 俊和		平成7年
遠山 晃広		平成13年
藤山 翼		平成16年

鳥越 崇史		令和3年
富本 友祐		令和4年

ド

土肥 秀子	森實	昭和63年
土井 秀智		平成1年

ナ

中谷 三郎		昭和29年
永淵 泰清		昭和30年
永井 武昭		昭和33年
中島 鼎吾		昭和39年
永松 武興		昭和40年
中川 真一		昭和40年
永山 憲作		昭和40年
中村 恒美		昭和45年
中野 厚美		昭和45年
仲野 秀夫		昭和50年
納屋 健太郎		昭和55年
中村 有三		昭和57年
奈良井 敏宏		昭和58年
中尾 道彰		昭和63年
中井 茂俊		平成3年
中村 成志		平成3年
中村 直文		平成4年
永尾 晃治		平成5年
中尾 晴美	牟田	平成6年
中村 文生		平成7年
永松 文		平成8年
成田 修二		平成10年
成田 悠介		平成17年
中尾 泰三		平成20年
中尾 浩平		平成22年
長堀 哲		平成23年
鍋島 航		平成25年
中野 仁平		平成26年
中村 俊朗		平成26年
中里 俊貴		平成27年

姓名	旧姓	卒業年度
中俣 浪漫		平成29年
檜原 功太郎		令和2年
中嶋 浩順		令和3年

二

二宮 孝義		昭和36年
新田 武明		昭和40年
西町 龍三		昭和62年
西元 宏		平成1年
西 耕一郎		平成7年
西村 秀樹		平成8年
西村 宗和		平成11年
西元 誠		平成14年
西本 篤史		平成21年
西井 暖美	江口	平成23年
西井 努		平成23年
西村 仁宏		平成27年

ノ

能美 甲子郎		昭和22年
野川 斉一		昭和45年
野間 俊哉		昭和58年
野間 秀哉		昭和60年
野畠 浩司		平成1年
野田 亮		平成19年
野間口 侑基		平成26年
野瀬 将史		平成26年

ハ

林 正美		昭和15年
早川 恭介		昭和30年
原 建一		昭和44年
波多野 博		昭和47年
原 善一郎		昭和54年
半田 裕		昭和58年
原 浩		昭和59年
波多 智行		昭和59年
波多野 巖		昭和61年

早崎 道人		平成5年
羽田野 友香	吉田	平成11年
原田 千佳志		平成11年
畑田 真宏		平成14年
畑田 晃宏		平成14年
橋永 牧	藤原	平成16年
長谷川 毅		平成16年
濱崎 洋志		平成19年
濱田 貴啓		平成23年
濱田 洋平		平成23年
濱田 修平		令和4年

ヒ

久恒 團		昭和27年
広田 隆男		昭和40年
久野 哲		昭和47年
平野 信久		昭和50年
樋口 裕二		昭和52年
平兮 一英		昭和54年
平山 一敏		昭和55年
広島 聖		昭和58年
東田 外史		昭和62年
樋口 清一		平成3年
日野 貴文		平成3年
日名子 宗晃		平成5年
平賀 紀行		平成8年

フ

藤島 俊治		昭和23年
古屋 信二		昭和31年
福本 精		昭和31年
福田 武郎		昭和38年
藤野 宏		昭和39年
古部 浩		昭和42年
福島 洋		昭和52年
福德 賢二郎		昭和53年
古田 雄司		昭和54年
福本 美子		昭和56年

姓名	旧姓	卒業年度
船場 貢		昭和56年
藤尾 正昭		昭和57年
藤原 雅雄		昭和59年
福田 公登志		昭和61年
藤本 美由紀		昭和61年
古谷 敏之		昭和63年
福留 孝治		昭和63年
藤野 元		昭和63年
古川 幸則		平成1年
二俣 雄亮		平成4年
藤本 絵美子		平成12年
福山 馨子	中川	平成16年
福島 吉孝		平成19年
古里 卓也		平成22年
藤村 沙理也		平成26年
藤津 哲		平成27年
藤原 誠		平成31年

木

星野 一也		昭和28年
堀内 靖郎		昭和42年
本田 敬		昭和49年
洞 尚文		昭和60年
堀内 恭彦		昭和63年
北條 裕之		平成1年
本田 瑞穂		平成3年
堀内 憲二		平成3年
堀江 勲		平成7年
堀田 雄一郎		平成10年
堀江 克尚		平成11年

マ

松隈 浩之		部長
松尾 健次		昭和22年
松下 長平		昭和31年
松永 庸祐		昭和34年
松角 淳雄		昭和42年
丸田 堅次		昭和46年

松木 博		昭和46年
松岡 繁		昭和47年
松本 宏一		昭和50年
松永 裕志		昭和54年
牧野 一郎		昭和58年
松尾 弘継		昭和58年
前田 満		昭和61年
前田 隆		昭和62年
満保 賢二		昭和63年
前田 哲		平成1年
前田 裕作		平成4年
前田 禎夫		平成5年
松本 和彦		平成10年
松田 健太郎		平成12年
松永 直子		平成15年
横山 達朗		平成23年
松本 直大		平成30年
松本 丞平		令和3年
松本 萌花		令和3年

ミ

三浦 一郎		昭和24年
水落 昌晴		昭和41年
三浦 義武		昭和42年
水上 開		昭和42年
源 敏徳		昭和48年
宮崎 千明		昭和52年
宮下 敦典		昭和56年
満塩 勝郎		昭和56年
光山 泰典		昭和57年
三井 信介		昭和57年
三宅 文照	木村	昭和58年
宮島 哲瑞		昭和59年
水田 英憲		昭和60年
光安 哲夫		平成3年
水島 智		平成4年
宮本 久美子	本村	平成5年
宮入 拓		平成6年

姓名	旧姓	卒業年度
三田 雄三		平成6年
水島 淳		平成7年
峯 和史		平成10年
宮川 隆弘		平成12年
南 薫 浩二		平成15年
南 優児		平成19年
宮地 優樹		平成21年
溝口 豪		平成25年
水上 友輔		平成27年
峯 祥文		平成28年
三星 諒太郎		平成30年
三谷 直輝		平成31年
三浦 崇太郎		平成31年
宮城 虎太郎		令和4年

ム

武藤 和博	昭和60年
村上 宏文	昭和61年
村嶋 良太	平成15年
村瀬 蓮一	平成28年

モ

諸岡 保和	昭和43年
用澤 義則	昭和54年
森田 直弘	昭和54年
森 肇	昭和55年
森 一夫	昭和55年
百富 正樹	昭和55年
毛利 匡	昭和57年
榎井 達夫	昭和62年
森部 毅	平成1年
諸岡 弘文	平成2年
森本 剣太郎	平成11年
森山 秀一	平成17年
森山 恭輔	平成20年
餅原 恵太	平成29年

ヤ

山本 司	昭和34年
大和 博明	昭和39年
山田 成良	昭和42年
柳川 春夫	昭和43年
山本 周一	昭和50年
山口 英	昭和58年
安田 哲二郎	昭和59年
築瀬 淳	昭和63年
山村 徹	平成3年
八尋 康德	平成3年
山口 裕輔	平成4年
矢野 亮	平成6年
八木 周	平成7年
山川 智己	平成18年
大和 良輔	平成20年
山元 昭人	平成22年
山口 和也	平成22年
山辺 光一郎	平成26年
山本 文迅	平成27年
山下 茂彰	平成29年
山口 樹	平成30年
山浦 宗一郎	令和4年

ユ

湯浅 忠	平成8年
弓削 英文	平成8年
湯元 孝治	平成19年

ヨ

吉田 豊	昭和29年
四谷 弘毅	昭和40年
吉弘 光男	昭和57年
横田 俊彦	昭和58年
吉田 眞一	昭和59年
吉村 哲也	昭和60年
吉村 康秀	昭和63年
吉田 浩二	平成3年
吉田 秀之進	平成7年

溝口

姓名	旧姓	卒業年度
吉武 涼子	上村	平成7年
吉田 智		平成7年
吉武 勉		平成7年
吉田 信之		平成8年
萬 泰輔		平成9年
吉武 恵子	鬼村	平成9年
吉浦 豪		平成9年
吉田 拓也		平成11年
吉田 安宏		平成14年
吉次 真一		平成16年
吉永 憲人		平成21年
吉見 由巳子	松浦	平成24年
吉浦 有祐		平成30年
吉原 嵩英		令和4年

ワ

渡辺 公弘	昭和25年
若林 徹	昭和44年
渡辺 秀治	昭和61年
和田 英之	平成9年
渡辺 健一	平成18年
若狭 琢也	平成30年
渡辺 真澄	令和2年

物故者名簿

姓名 旧姓 学部 出身校

不明

板垣 政彦 医

満田 隆一

大正15年

早川 昇 工 六高

藤野 賢六 工 五高

昭和2年

秋吉 致 工 七高

小旗 直 工 五高

大島 光義 工 六高

葛西 泰二郎 工 五高

片岡 良太郎 工 四高

佐々木 奥志 工 佐高

下村 博重 工 六高

田中 敬親 工 佐高

高見 康夫 医 三高

寺師 虎之助 工 七高

蓮尾 誌蔵 工 五高

笠 潤一郎 医 五高

昭和3年

飯島 為一 工 三高

京極 奨作 法 大阪高商

坂本 辰馬 工 六高

首藤 謙 法 広高師

富永 忠雄 法 福高

二木 靖 法 大外語

濱 正雄 法 福高

藤縄 啓太郎 法 五高

伏見 治三郎 工

大和 寛一 法 福高

昭和4年

伊沢 栄 法 東京外語

岩月 三郎 経 名古屋高商

上田 万蔵 経 和歌山高商

岡田 元蔵 工 高知

岡部 禎二 法 五高

金子 卯時雨 法 佐高

島村 捷三郎 法 東京外語

松山 堯 法 三高

松崎 敏夫 工 大高

御手洗 秀雄 法 大分高商

森下 弘 経 小樽高商

山田 勇 工 四高

昭和5年

岩水 豊 工 佐高

上野 辰郎 農 佐高

金生 莊路 工 福高

沢 正治 農 島高農

笹川 泰広 法 東京外語

竹内 忠之助 法 大分高商

田代 透 工 佐高

筒井 保雄 農 佐高

西岡 正雄 法・経 山口商

藤縄 郁三 工 松江高

松尾 純雄 法

森田 秀次郎 法・経 東京外語

和田 春彦 工 松江商

昭和6年

川崎 寿夫 法 関西大予

佐々木 駿二 農 佐高

田口 敏郎 法 三高

西村 太郎 農 一高

姓名	旧姓	学部	出身校
林 雅樹		工	山口
広沢 泰雄		工	山形
平野 正美		工	五高
松島 儀一		法	

昭和7年

猪野 忠雄		経	福高
江村 尚		農	佐高
川田 裕		工	
小松 彊		工	松本高
佐伯 憲		法	
浜村 嘉幸		農	大高
三田村 六朗		農	大高
村山 高		法	大高

昭和8年

植木 久		工	成蹊
小野寺 精喜		医	福高
大石 国義		工	佐高
梶原 景光		工	五高
重盛 五六		工	山口高
田辺 龍雄		工	五高
手束 二郎		法	一高
並木 敏三		工	四高
守永 隆一		法	佐高
最上 章		農	福高

昭和9年

今村 嘉蔵		農	佐高
川関 等基		工	福高
高木 健太郎		医	福高
吉田 茂雄		工	五高

昭和10年

狩野 忠雄		法	
近藤 正久		農	佐高
児玉 昌作		法	福高
古賀 欽一		医	佐高

宮原 九州男		工	佐高
森本 憲治		医	五高
森 静太郎		経	福高

昭和11年

内田 進介		医	台北
太田 基		農	五高
大塚 芳男		工	五高
小田切 春雄		法	
大村 宗興		工	台北
亀井 将		医	佐高
竹末 庸夫		医	五高
鶴 賢一郎		工	佐高
土井 滋		医	佐高
永富 正		法	福高
西脇 正		工	五高
古川 通泰		工	五高
山口 宏		医	五高
渡辺 保		経	大分高商

昭和12年

椎島 強一		医	佐高
佐藤 弘		工	佐高
島田 八郎		法	福高
寺岡 逸法		農	岐阜
中村 清		工	福高
森 格		農	佐高
吉田 良直		工	福高

昭和13年

朝倉 武		工	高知
石田 丈夫		工	高知
斉藤 裕		農	成城
竹田 定祐		工	五高
戸伏 直孝		法	福高
長谷川 盛一		工	五高
平川 覚		農	福高
広瀬 頼男		工	佐高

姓名	旧姓	学部	出身校
藤森 正男		工	松本
松本 政威		医	浪速

昭和14年

五十嵐 隆重	工	学習院
江頭 章吾	工	五高
田中 美登	医	佐高
竹尾 達志	法	成城

昭和15年

稲田 裕太郎	工	福高
上野 欣哉	法	福高
斉藤鞆 比古	農	佐高
平田 直行	医	福高
安武 治巳	法	福高

昭和16年

川村 邦男	医	新高
鹿毛 敬介	法	福高
桜井 日出生	医	福高
清水 泰輔	工	福高
島崎 和忠	工	五高
柴田 義衛	医	五高
砂崎 稔	工	佐高
筒井 良一	医	七高
藤井 龍	工	明専
星野 藤六	工	佐高
松浦 隆	医	福高
真名子 武三	農	鹿農
三野原 愛道	医	五高
宮本 直由	法	福高
守田 貞義	工	五高
山本 文男	医	福高

昭和18年

占部 公生	医	五高
小川 徳直	農	東商大
山部 治邦	農	鹿農

昭和19年

小山 利武	医	佐高
野口 信孝	工	佐高
藤崎 茂継	医	佐高

昭和20年

犬丸 健造	医	五高
松隈 喜総	工	五高

昭和21年

栗原 一郎	工	七高
栗原 公足	医	五高
小嶋 秀夫	法	福高

昭和22年

乙藤 憲一	工	福高
小池 聖淳	医	五高
白水 聖親	経	福高
園田 稔	法	福高

昭和23年

栗原 俊彦	工	佐高
高橋 敏夫	文	福高
松田 一夫	医	佐高

昭和24年

石毛 照弥	工	阪大
矢野 一徳	工	台北大予科

昭和25年

麻生 太喜蔵	工	旅順工大
林 勝哉	農	鹿高農
淵上 謙一	工	佐高
村上 友幸	工	福高
八尋 欽二	文	陸士
山浦 秀男	工	福高

昭和26年

姓名	旧姓	学部	出身校
川端 一雄		工	福高
兼沢 勝彦		工	九工専
陣内 昭人		工	五高
半田 義鋪		農	鹿高農

昭和27年

大西 義昭		工	高知
小野 匡美			
岡村 喜八		経	高知
近藤 昭忠	空尾	文	東亜同文
速水 昭		工	福高
升谷 勝彦		経	五高
保田 好春		工	福高
渡辺 精二郎		農	佐高

昭和28年

古賀 正臣		工	明善
椎野 廣		経	海機
中元寺 照翁		経	五高
西村 強三		文	西南
根井 康雄		文	宮高農
樋口 昭一郎		農	福高
森 三郎		理	高知

昭和29年

岡 哲		工	明善
尾家 義弘		理	三高
国丸 昭一		法	福高
野田 勝彦		経	佐高
山本 登		法	佐高
和田 唯志		法	小倉

昭和30年

因 信吾		法	福岡
梅津 利之		経	福岡
大塚 周治		農	三養基
佐々木 正		工	明善
南谷 健一郎		経	福岡

原田 淳一郎	工	嘉穂
丸元 清生	法	福岡
安松 周雄	法	福岡

昭和31年

大野 素徳	理	筑紫丘
重松 喬	農	福岡
富川 昭	工	修猷館
西野 晃	工	福岡

昭和32年

安倍 宗之	経	若松
鶴岡 健	法	修猷館
中村 勇夫	法	上野丘
堀 尚弘	文	福岡
水倉 光慧	経	福岡

昭和33年

上門 林蔵	工	ラサール
古賀 謙二	工	修猷館
長谷川 桂祐	経	福岡

昭和34年

上尾 誠	経	舞鶴
内田 義	工	福岡
島 靖	法	福岡
平田 弘	医	修猷館
吉永 和彦	工	若松

昭和35年

浅山 良吉	医	筑紫丘
城戸 康雄	農	福岡
村上 建	経	小倉

昭和36年

今泉 修一	法	福岡
出田 宏志	農	熊本
久楽 一男	法	徳山

姓名	旧姓	学部	出身校
外田 正和		経	福岡
山田 文生		工	熊本
渡辺 清種		経	熊本

昭和37年

野津 忠弘		工	修猷館
-------	--	---	-----

昭和38年

木下 能明		農	香椎
-------	--	---	----

昭和39年

麻生 宏		経	修猷館
末永 修身		経	下関西

昭和40年

久保 宏行		工	明善
白川 進		農	門司
西村 英俊		経	修猷館
林田 雅博		法	明善

昭和41年

木下 英宣		農	福岡
西元寺 克禮		医	修猷館
佐藤 浩道		医	都立西

昭和42年

越川 勇三		工	修猷館
柴田 直毅		工	福岡
堤 敬基		工	修猷館
永山 勝英		工	玉竜

昭和43年

吉武 宗人		経	筑紫丘
-------	--	---	-----

昭和44年

小林 信一		工	若松
-------	--	---	----

昭和45年

南 健一		経	小倉
------	--	---	----

昭和46年

池田 正二		理	修猷館
-------	--	---	-----

昭和47年

田村 寛		工	門司
------	--	---	----

昭和49年

山口 潔		工	熊本
------	--	---	----

昭和50年

松岡 正博			筑紫丘
-------	--	--	-----

昭和56年

田中 裕三		経	徳山
-------	--	---	----

昭和58年

大坪 治夫		経	筑紫丘
牧原 修一		法	鹿屋

昭和63年

原口 陽裕		工	鞍手
-------	--	---	----

平成3年

金川 琢		工	神戸
------	--	---	----

平成6年

野田 建		理	西南学院
------	--	---	------

平成8年

三浦 慎一		農	大分東
-------	--	---	-----

平成11年

上村 聡		工	修猷館
------	--	---	-----

平成16年

篠原 達		理	修猷館
------	--	---	-----

沖縄県北部（やんばる）へようこそ！



沖縄県北部を舞台に、SUP（スタンドアップパドルボード）
サイクリングなどのツアーを行なっております。
やんばるの青く透き通った海、亜熱帯の大自然を
ゆったりと楽しんでいただける
1組貸切のプライベートツアーです。



Tokonatsu Base Okinawa

SUPツーリング

沖縄県北部の透き通った海で優雅にSUPツーリング。

ローカルスタッフだからこそ知る、シークレットポイントで
やんばるの自然を満喫。



TOKONATSU_BASE.OKINAWA



Jungle SUP Okinawa

沖縄初、ダム湖で行うSUPツアー。

2021年世界自然遺産に登録されたやんばるの森に囲まれた、
ダム湖を優雅に水上散歩。



JUNGLESUP.OKINAWA



E-Bike Adventure Yambaru

E-Bike（電動アシスト付き自転車）に乗り、

やんばるの森や海岸沿いを大冒険。

ガイド付きなので、安心安全。沖縄の自然、文化、など
たくさんのことを学べるツアー。



E.BIKE.ADVENTURE.YAMBARU